建築と社會

地方建築特集

日本建築協会 1956 12



最も新しい

独特の点灯方式！

日立スーパーラピッド螢光灯は……
- グローランプがいりません。
- 多数灯を約1秒で一斉に点灯することが出来ます。
- 低電圧でも点灯します。
- 取付配線は極めて簡単でアース線を取る必要がありません。
- 導電板が不要です。
- ラジオ雑音がほとんどありません。
- 高力率型です。

スーパーラピッド 日立螢光灯

日立家庭電器販賣株式會社　日立製作所

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は30年の経厂を誇る

ドッグ印で!!

ドツグ印	アスファルトルーフィング
〃	アスファルトフエルト
〃	砂付ルーフィング
〃	メルタイトルーフィング
〃	キンマレアタィト（高級瀝青金麻布）
〃	ヘツシヤンファブリツク（瀝青黄麻布）
〃	コツトンファブリツク（瀝青綿布）
〃	白麻ファブリツク（瀝青苧麻布）
〃	ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書
御報呈上

日本工業規格表示許可工場

株式会社 工英社

大阪市西成区橘通9丁目24番地　電話天下茶屋㊻8861・8862番

LIGHTGAGE STELL

軽量形鋼
（ライトゲージ）

簡易鋼矢板
（トレンチシート）

理想的不燃建築材

耐火　耐震・耐久
鋼材使用量の軽減
取扱簡易・工期短縮

我が国唯一の設備
連続式冷間整形
ロール機による優秀製品

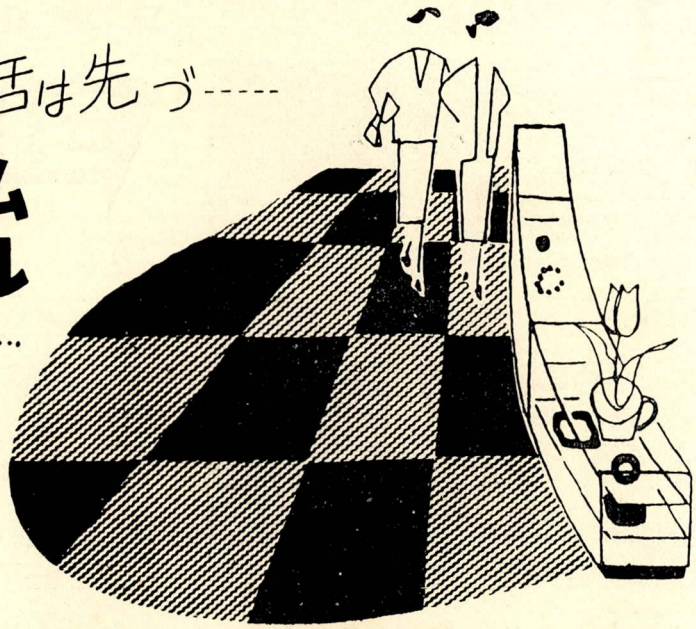
ガス・水道管等の
地下埋設工事の仮土止
河川工事の締切・干拓
及び護岸工事に最適

中之島製鋼株式会社

大阪市東区北天町4番地　TEL東(94)5031～5

文化的な生活は先づ……

リノリューム
リノタイル
の使用から……



東洋リノリューム株式會社

本社工場　伊丹市伊丹五五八電伊丹(代)3531
東京支店　中央区銀座西・三和ビル　電京橋1701
大阪事務所　東区瓦町二・三和ビル　電北浜375・376



テックスを貼るには……

釘を使わない　化粧と実用を兼ねた
特殊強力接着剤
木枠は勿論直接モルタル面に
吸音板 岩綿板 硝子繊維板が
現場で簡単に貼れる

カタログ進呈

サンライト
セメダイン

セメダイン株式会社大阪支店　南区大宝寺町東之丁41　TEL ㉗ 3456～9

Yodowal

琺瑯化粧板



平板・事務所外装に使用例

ヨドウオル

波・平・厚・黒板

特徴
- 軽くて美しい
- 耐火・耐水で永久仕上
- 汚れはすぐ取れ衛生的
- 施工迅速で経済的

用途
- 平板は建築物の外装・間仕切・天井壁庇下及家具・船舶・車輛に
- 波板は工場・倉庫・プラットホーム等の屋根・壁に
- 厚板はサンドイッチパネル等としてビル等の外装仕上材に
- 黒板は学校・事務所・官公庁・家庭用に

（カタログ御希望の方は誌名御記入の上御申込下さい）

カクラ印 ヨドコウ

株式会社 淀川製鋼所

本　社　大阪市東区博労町4の30　電話㉕0351
東京支社　東京都中央区西八丁堀3の8　電話㊺1171

白蟻退治に!!

化 マルカ



ANTOX

アントックス

白蟻駆除剤



コンクリートでも

穴をあける白蟻……

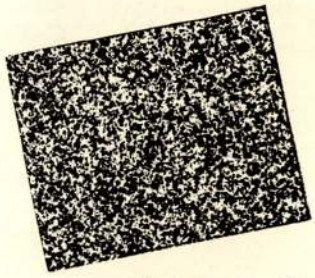
葉書にてカタログ呈

家が倒れるまで被害に気づかない，おそろしい白蟻に対して，アントックスは絶大な偉力を示します。アントックスはペンタクロロフェノール，多塩化ベンゼン，γ，BHC などを主成分とし防腐・忌避剤を配合したものであります。
無色の油剤で，使用法も簡単，効果は長時間持続し，変質もなく，防蟻，殺蟻，防腐などの作用を強力に兼備しております。価格も低廉です。

大阪化成株式会社

本社・大阪市南区心斎橋北詰 電 (25) 631～635
支社・東京都中央区西八丁堀1の3
電(55)2300・5055

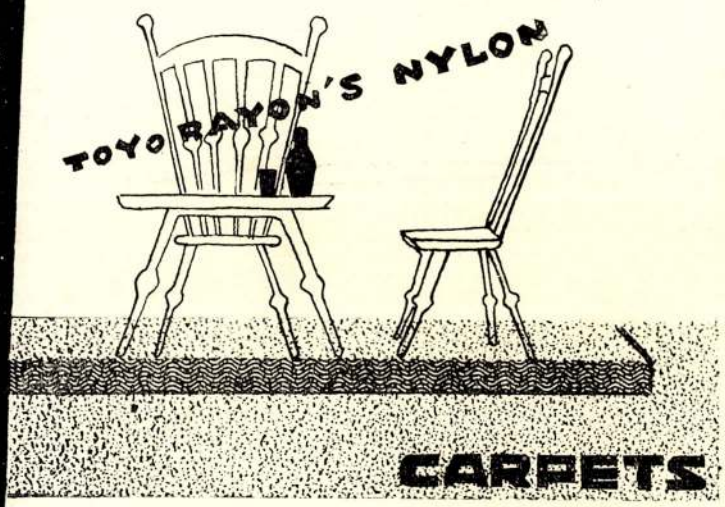
ビニアスタイル アスタイル





藤森工業株式会社

本　　社　東京都中央区日本橋通1－5(中内ビル)
専用電話 東京 (28) 6271～2番
大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1丁目1番地
大同ビル709号室
電話 土佐堀 (44) 0225・7569 (直通)
3131 (ビル交換)



ナイロンで出来た
新しいカーペット！

東洋レーヨンの
ナイロン 緞通・絨氈

東洋レーヨンのナイロン緞通・絨氈は100％スパンナイロン糸を使用したもので

☆弾力性に富んでいます
☆驚く程摩擦に強い
☆吸塵性が非常に少ない
☆虫の害を全く受けません

東洋レーヨン株式会社
発売元 亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町心斎橋筋 TEL(25)1353

TOKI TOYO CO.,LTD.
（衛陶マーク）

東洋陶器の衛生陶器と附属金具

Toyotoki
（金具マーク）



新製品
S—170
スミ付ロータンク

弊社は本社・茅ケ崎の各衛陶工場及び金具工場共にＪＩＳの指定を受けた唯一の衛生器具総合メーカーです

品質管理の優秀な
東洋陶器製品をセットで御使用下さい

東洋陶器株式會社

本社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤2481～5

大阪営業所
各地営業所
大阪市東区伏見町5の3 TEL ㉓4518～9
東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市
TEL 2105～8

会館の各室使用規定

蔵書閲読について

会館の各室使用規定の制定

このたび理事会の決議を経まして，会館の各室の使用規定を下記の通り制定致しましたので御通知申します。

会館談話室使用規定

1　会館の談話室の使用は，次の各会の会員またはその同伴者に限るものとする。

日本建築協会
日本建築学会
大阪府建築士会
日本建築家協会
関西建材協会
大阪建設業協会

1　談話室の使用時間は，次の通りとする。

自　午前九時　　至　午後五時

1　使用者は，備付けの帳簿に記名するものとする。
1　使用者は，同室者に迷惑を及ぼさないように注意されたい。
1　談話室は，関係者の夜間の会合のため，規定の料金を徴してその使用に供することができる。

会館集会室その他使用規定

1　会館の集会室，会議室，談話室は，これを本会および友好団体の関係者の使用に供する。
1　前記の室を使用しようとする者は，所定の用紙によつて予め本会庶務係まで申込むものとする。
1　室の使用者は，別表の使用料を支払うものとする。但し本会内に事務所を有する各会が，定例の役員会，委員会などの会合のために使用するときは使用料を要しない。
1　特別に前記の関係者以外の者が使用するときは，その使用料は，規定料金の二割増の額とする。
1　使用料は，使用の目的，使用者の事情などによつて特にこれを割引または免除することがある。
1　使用料表に記載のない連続または一時間以内の短時間使用の場合は，料金を割引きすることができる。

使用料表

室別	使用料 午前	午後	夜間
4階集会室	500	800	1,200
	1,000	1,500	
3階集会室	400	600	900
	800	1,200	
地階談話室			800

午前は正午迄，午後は5時迄，夜間は9時迄とする。

本会蔵書の閲読について

本会には御承知のように，先輩諸氏が多年苦心の下に蒐集せられた建築関係の多数貴重な図書，それも外国版のもの大部があり，従来朝日ビルの事務所に於て一般会員の閲覧に供しておりましたが，このたび会館の開設に伴いこれらも当然会館内に収むべきでありましたが，如何せん狭隘な現在の会館内に全部収容の余地なく，已むを得ず一般図書はこれを一時大阪市立大学理工学部にその保管を委託しました。閲読御希望の向は何卒同学部において御覧願いたく，なお「建築と社会」「建築雑誌」その他外国雑誌の旧刊合本は従来通り会館に備えてありますから何卒御諒承願い上げます。

会　員　の　褒　章　受　賞

会員の褒章受賞

このたび下記の通り，本会々員が，建設関係功労者として褒章を授与されました。茲に録してその栄誉をお祝し申し上げます。

黄綬褒章　　松井貴太郎君（K.K.横河工務所）
藍綬褒章　　浅沼猪之吉君（K.K.浅沼組）

「都市の宅地再開発に関する具体的方策」の懸賞論文募集

懸賞論文募集

社団法人都市不燃化同盟では，関係諸団体の後援のもとに，既成都市を不燃防災都市に改造するための根本方策の一環として，標記懸賞論文を，下記の要領で募集しております。本会もこれを後援しておりますので，ふるつて応募されんことを希望いたします。

記

1. **枚　　数**　400字詰20枚以内（氏名・住所・職業明記）
　別に400字詰2枚以内の梗概を添付すること。
1. **締切期日**　昭和32年2月28日（〆切当日郵便局の消印あるもの有効）
1. **賞　　金**　1席1名　2万円。
　2席2名　各1万円。
　3席5名　各3千円。
1. **発　　表**　昭和32年「3月発行」の主催者(後援団体を含む)機関紙上
1. **論文提出先**　社団法人　都市不燃化同盟
　（東京都中央区銀座西3－1　建築会館内）

なお詳細については，主催者である都市不燃化同盟に問合せられたい。

社団法人　日本建築協会

本　誌　へ　の　投　稿　歓　迎

投稿を望む

「建築と社会」誌もいよいよ来春より第38集を迎えることになりました。及ばずながら，今日まで微力をつくしてまいりましたが，なお，会員諸兄のキタンのない御意見，御要望に沿つて，より充実させていきたく存じております。毎号，一応，特集形式をとります関係上，すべての会員の方々に満足いただけるような原稿依頼ができえないこともありますので，この際，広く会員諸兄の御投稿をお願いし，できるだけ掲載させていただきたく存じます。

内容は，「紫煙室」向きのような「随筆」（1,000字または2,000字）でも結構です。

また，「建築の眼」のような短い感想文（400字）でも結構です。

さらに，まとまつた論文でも結構です（非常に長い場合は，短縮をお願いすることもあります）。

作品の場合は，写真，プラン（黒インキング），概要，設計者・施工者のことば（400字）をつけて下さい。

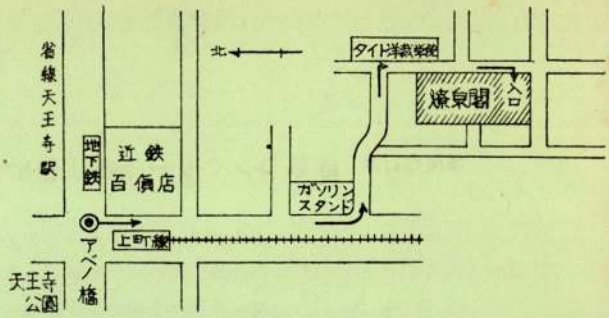
投稿期日は自由です。掲載号および割付については編集委員会に御一任をお願いします。

以上，ふるつて御投稿下さいますようお願い申しあげます。

昭和31年11月10日

社団法人　日本建築協会編集委員会

忘年懇親会
会場案内



12月　会と催

0氏三家族の住い見学

15日　午後2時

忘年懇親会

18日　午後6時

0氏三家族の住い見学会

とき　12月15日（土）午後2時集合
ところ　南海電車羽衣駅前集合（なんばより急行乗車が便利です）
申込　10日までにお申込み下さい。但し定員（50名）に達した時は期日前でも〆切ります。

建物概要

設計	日建設計工務株式会社
施工	株式会社　大林組
敷地面積	741.9坪
建築面積	本館　96.5坪　　延坪　119.2坪 別館　19.8坪　　延坪　19.8坪
（主体）	本館　鉄筋コンクリート2階建，一部平家建
（基礎）	鉄筋コンクリート造
（外装）	柱型コンクリート打放し，シリコン吹付け スチールサッシュ
（屋根）	陸屋根，防水モルタル塗

アデュー1956年忘年懇親会開催

本会が年に一度，会員各層多数のものが相共に一夜を楽しく，忙中の閑を得て歓談裡に懇親を交わすべく，一昨年より新しい装いで忘年会を催してまいりましたところ，年々多数の（昨年160名）参加をみております。

本年も昨年よりは一段と内容の充実を図り，本会ならではの企画を10月末より樹て，数度の打合せ会をへて下記の通り開催いたすことになりました。例年御申込みが遅れて，不本意ながら御断りする方々多数をみますので，何卒お早くお申込み下さるよう御案内申し上げます。

記

1. **とき**　12月18日(火)午後6時開会―8時半閉会
1. **ところ**　お座敷日本料理**燎泉閣 和楽殿**（あべの交叉点南1丁半・トキワ通・ガソリンスタンド東突当り南・電話 天王寺 ㉗ 0204，5570番）
1. **会費**　500円（別に補助あり）
1. **申込**　13日までに，会費を添えてお申込み下さい。但し定員（150名）に達した時は期日前でも〆切ります，御諒承願います。

（お願い）
(イ) 準備の都合上会場でのお申込みはお断りいたします。
(ロ) お申込みになつた方で，当日不参になられても15日までに取消しのお申出の無き場合は，会費の御負担をお願いたします。

- 出席者全員及び抽せん当せん者に粗品及び賞品贈呈（会員有志の寄贈品）
- 出席者有志ののど自慢及び隠し芸の披露
- 本会独自の企画（当夜までのお楽しみ）

増補改訂版　鉄筋コンクリート施工指針発刊

鉄筋コンクリート施工指針発刊

最近の鉄筋コンクリート工法は著しい進歩を呈しているが，一般の知識が充分これに追随していると云い難い現状である。

そこで本会では，正しいコンクリートの施工と新しい知識の普及を目的に，昭和29年8月以来毎年大阪に於て「コンクリート技能講座」を開催，多大の好評を得，西日本各地でも催したが，そのテキストとして編纂されたのが「コンクリート施工指針」である。本年は去る11月26日より第3回を催すに当り，さらに内容を充実させ，学会ＪＡＳＳ5の改訂にも照して，改訂増補を加え「鉄筋コンクリート施工指針」として再編した。コンクリート施工に携わられる会員各位の良き座右の書としてお奨めする次第である。

定　価　**1部　330円**（会員，300円）送料　32円

内　容
1）材　　料（益尾辰雄氏，谷口尚武氏）
2）試 験 法（奥島正一氏）
3）調　　合（谷口尚武氏）
4）工　　法（菅田豊重氏，近藤芳美氏）
5）特殊コンクリート工法
　a,軽量コンクリート（菅田豊重氏）
　b,P.S.コンクリート（海上秀太郎氏）
　c,プレパクトコンクリート（久良知丑二郎氏）
　d,特　殊　型　わ　く（菅田豊重氏）
附録　日本建築学会建築工事標準仕様書（ＪＡＳＳ5）
　ＪＩＳ建築材料規格抜萃

○**表紙**ファイバー製，○本文9Ｐ横組，
○約 290頁

社団法人　日本建築協会出版委員会

第1回建築写真コンクール

写真コンクール

事業委員会では，かねて全会員の御参加を願うような事業の企画を研究致しておりましたが，今般"建築写真コンクール"を催すことに致しました。つきましては，腕によりをかけて続々傑作を御送り下さるようお願い申上げます。締切昭和32年1月31日。（詳細は，10月号，会告をお参照下さい）

近畿建築会館　御製品御寄贈（追加分）

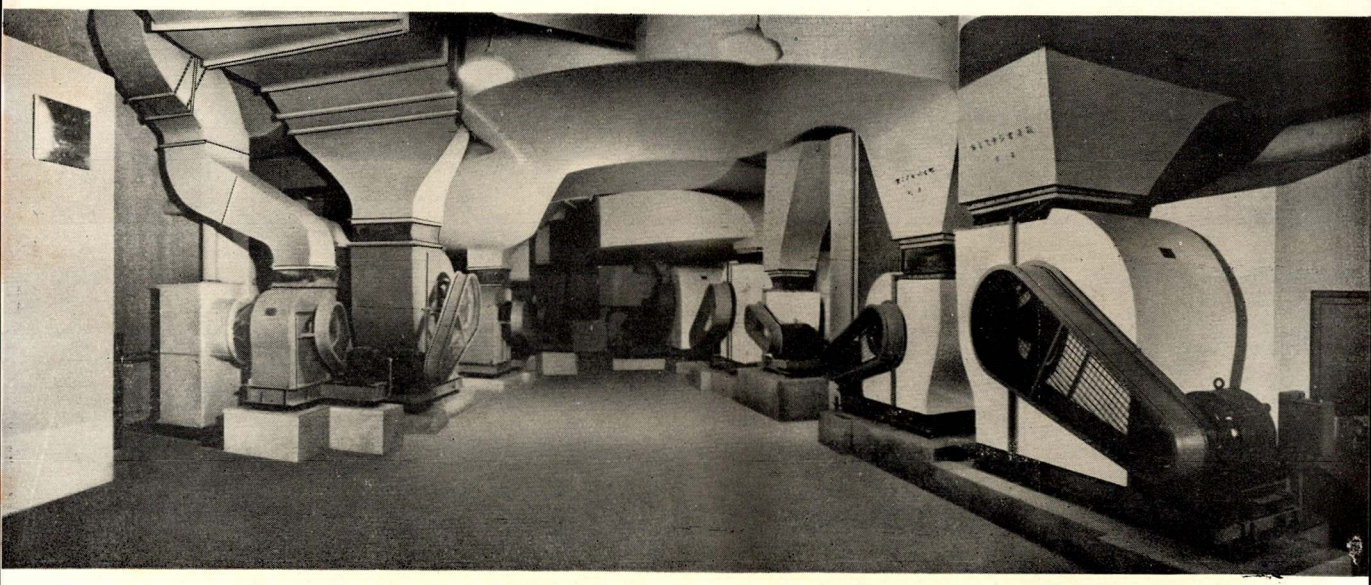
各　階　NEWSTARドアーチェック
　　日本ドアーチェック製造株式会社
一　階　神田式軽便シヤッター
　　株式会社　日本シヤッター製作所



大阪テレビ放送株式会社

設計施工　　清水建設株式会社

大阪テレビ放送株式会社



給排水衛生

須賀工業株式会社

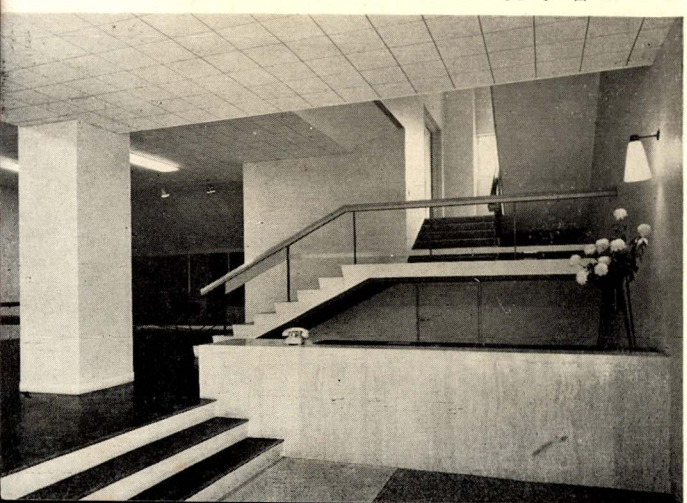
正面玄関天井
製品「ヨドウオル」



株式会社　淀川製鋼所

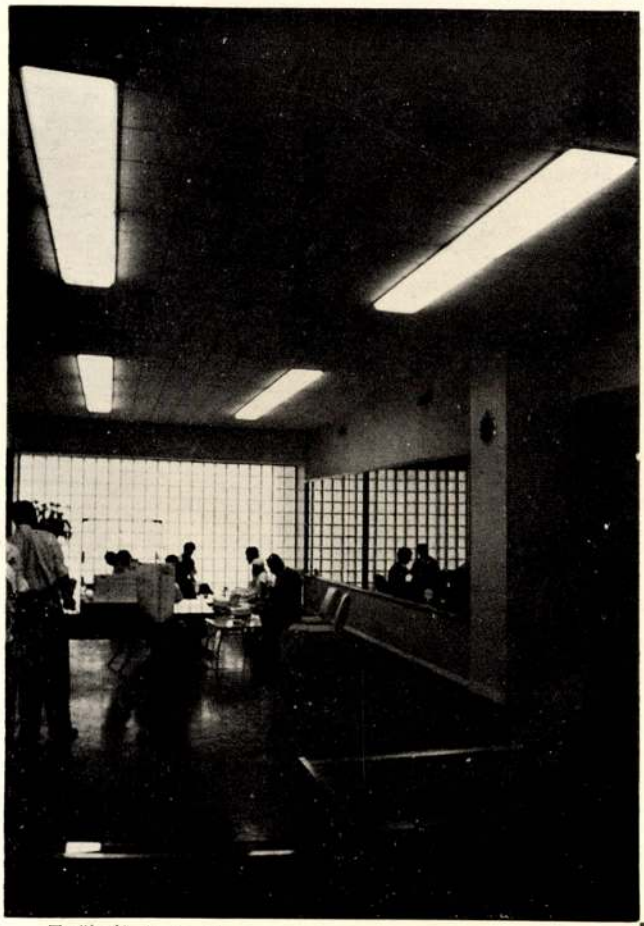
株式会社　龜井組

見学者ホール



外部色モルタル掻落し
内部天井・壁・漆喰塗

大阪テレビ放送株式会社



見学者ホール



正面玄関ロビー



編成室

ナショナル螢光灯照明器具

ナショナルFLM螢光ランプ（メタルライニングタイプ）使用，ラピスター（即時点灯式）螢光灯器具

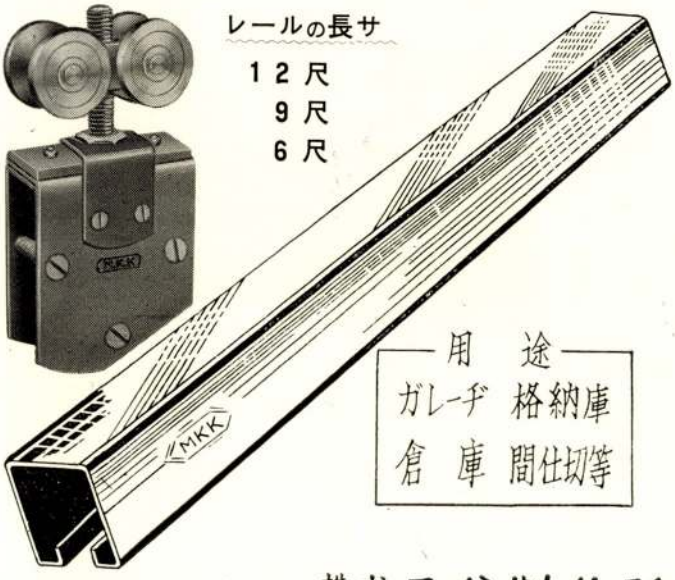
松下電工株式会社



大阪テレビ放送株式会社　窯業セメント使用

大阪窯業セメント株式会社

設計の時からドアーハンガーは　M.K.K



レールの長サ
12尺
9尺
6尺

用途
ガレージ　格納庫
倉庫　間仕切等

★御用命は下記代理店へ
お願いします

株式会社　石倉商店
小野藤金物株式会社
合資会社　和田末商店
月虎金属株式会社
株式会社中村多喜弥商店
松本金物株式会社
株式会社　丸喜商店
深見金物株式会社
湯浅金物株式会社
清水金物株式会社
株式会社　日垣本社
株式会社　平尾商店

東京　株式會社三谷製作所

建築と社會

12

地方建築特集

1956年12月号目次

作品作風

大阪テレビ放送株式会社社屋……14

兵庫支部：兵庫県立姫路南高校体育館兼講堂……22

京都支部：裏千家茶道会館……24

中国支部：地御前逓信病院……26

中国支部：島根県警察本部庁舎……28

九州支部：石橋文化センター……30

第2回工高生デザインコンクール入選作品……32

課題：観光案内所

建築の眼……36

本文……37

兵庫支部

兵庫県における戦後の建築活動…森田　康次……37

書写山円教寺の古建築……野地　修左……40

京都支部

京都の最近の建築について……井手　正雄……44

温故知新——京蛙の話——……池田総一郎……47

技術講座：禅宗の伽藍配置……北尾　嘉弘……51

和歌山支部

技術講座：和歌山市における襖材……竹本　説夫……52

中国支部

中国地方における戦後の建築情勢……葛西　重男……54

広島の建築点描……曽根田　彰……58

技術講座：畳表について……佐藤　重夫……61

九州支部

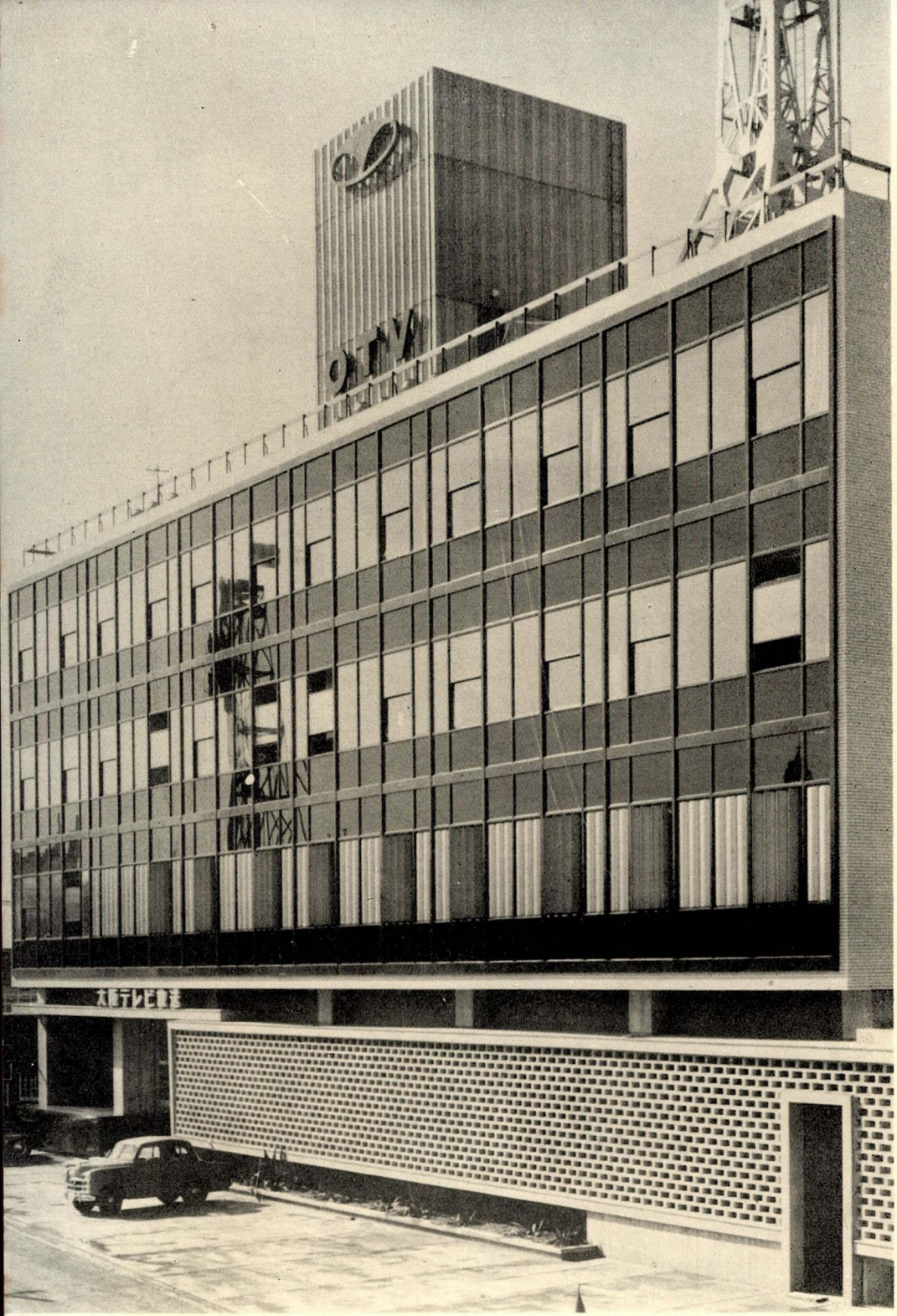
長崎の建築今昔……丹羽　漢吉……62

郷土色の建築漫談……薄　抱月……66

会合便り……69

お断り　東海連絡所よりの原稿は都合により締切に間に合わなくなりましたので，今回は，東海地方方面の紹介は残念ながら見送らせていただきましたことを御了承下さい。（編集委員会）

建築と社会
第37集・第12号
売価1部130円・送料共
昭和31年12月20日印刷
昭和31年12月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 北浜㉓9648•9649•9640番
振替口座 大阪39975番
発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話 ㊱2091～3番
印刷者　網野栄



東面外観

大阪テレビ放送株式会社社屋



外観詳細

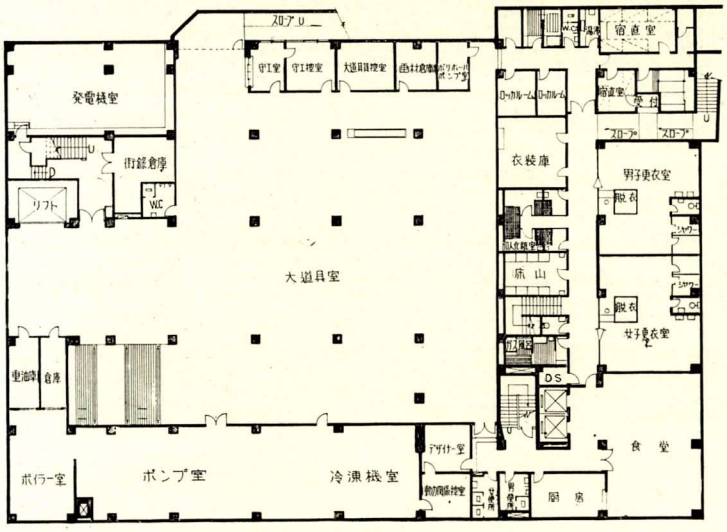
設計施工　清水建設株式会社



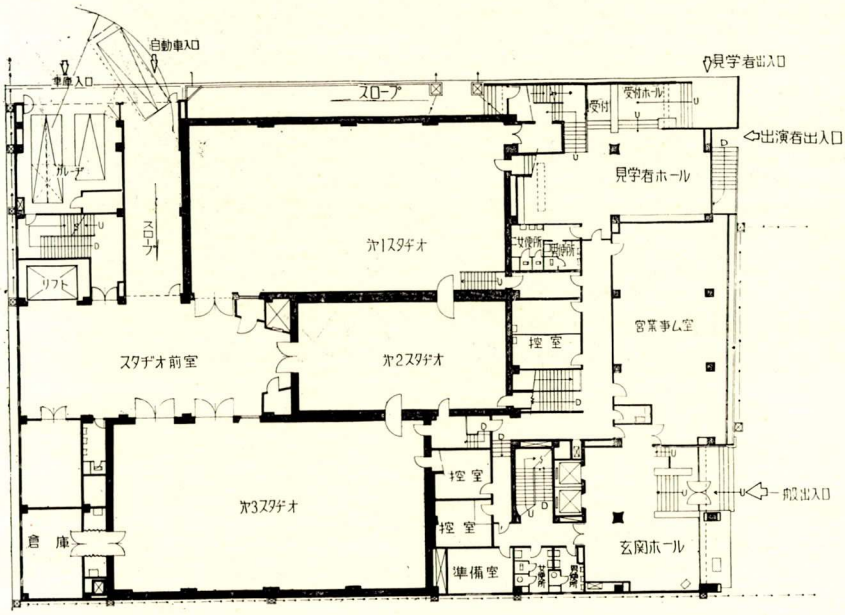
玄関入口



見学者出入口外観

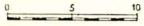


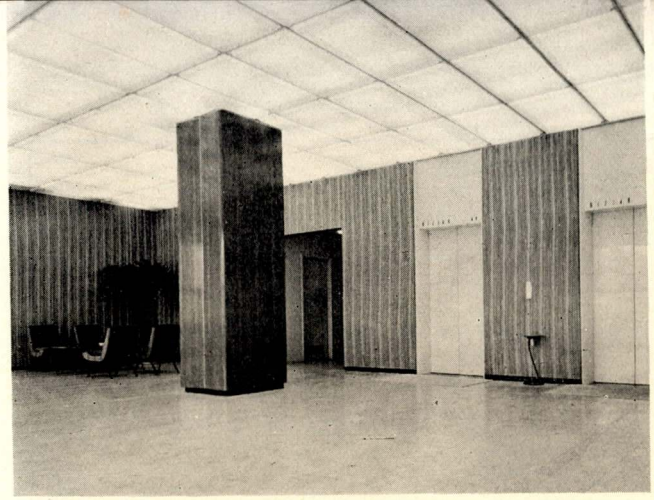
地階



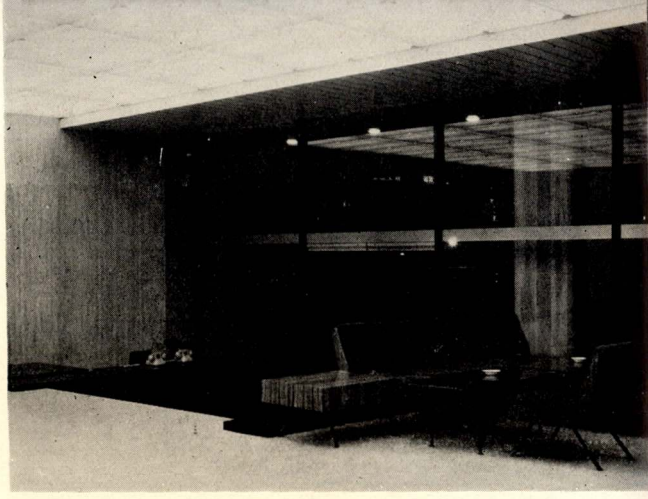
1階





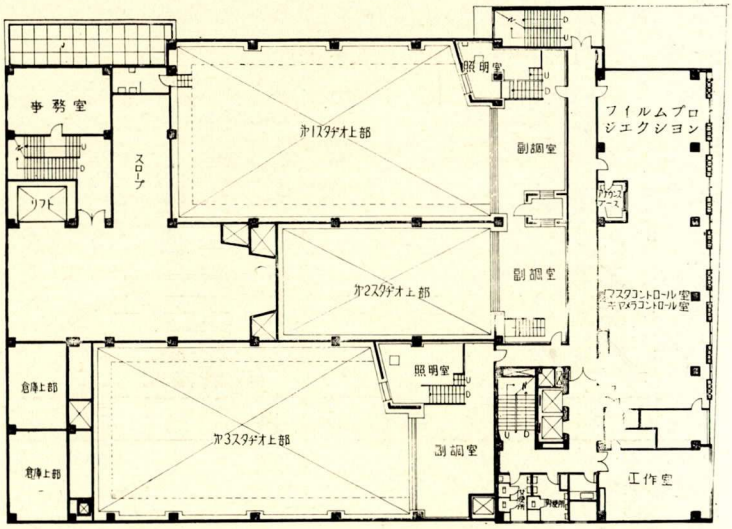


玄関ホール・エレベータホール

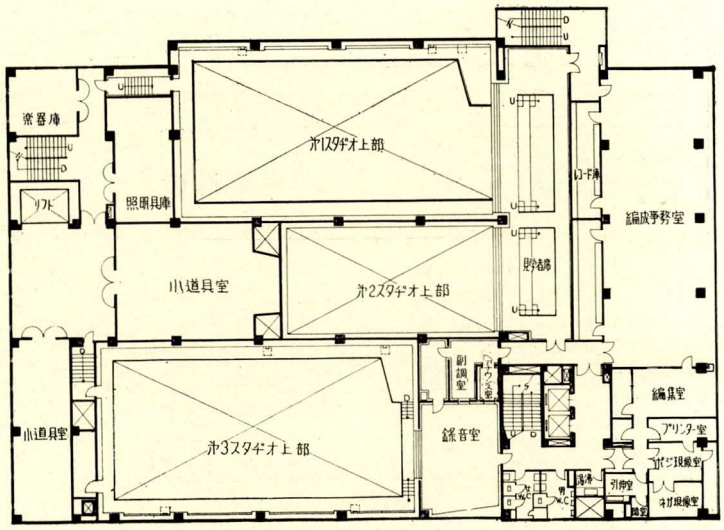


玄関ホール

建築地　大阪市北区堂島中1丁目13番地
工　期　着工 昭和30年6月　竣工 31年7月
建築規模　階数　地下1階　地上4階
建坪　2,023.53 M²
延坪　8,191.00 M²
軒高　パラペット上端迄 16.98 M
鉄塔上端迄 57.97 M
建物用途　民間テレビスタヂオ及事務所，中継及プログラムを作製し生駒送信所へマイクロウエーブにて送る機能
仕上外装　事務館　外装タイル貼，窓ピルキントン硝子及サーモペン硝子入全面サッシュ一階テラコツタホローブロツク積
スタヂオ　外壁色モルタルスプレー仕上
仕上内装　・玄関エレベーターホール
床　ゴムタイル貼
巾木　浮金石本磨
壁　イタリー産トラバーチン及ゼブラウツド練付
天井　全面ルミー硝子光天井螢光灯40W100本入れ
・見学者ホール
床　アスタイル貼
巾木　テラゾー研出し
壁　イタリー産トラバーチン及モルタル下地ゾラコート吹付け
天井　吸音テツクス貼一部ホモトーン
・スタヂオ
床　浮床プラスタイル貼
巾木　杉ペンキ塗
壁　浮壁ビニールレザー及綿布をクリンプネツトをさえ
天井　浮天井セメント木毛板及ドンゴロス張り
・事務室
床　アスタイル貼
巾木　杉ペンキ塗
壁　しつくい塗
天井　吸音テツクス貼
・リハーサル
床　浮床ビノリウム貼
巾木　杉ペンキ塗
壁　セメント木毛板二重貼
天井　セメント木毛板打込

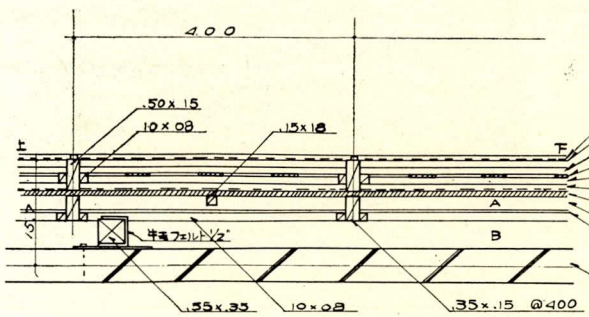


2　階



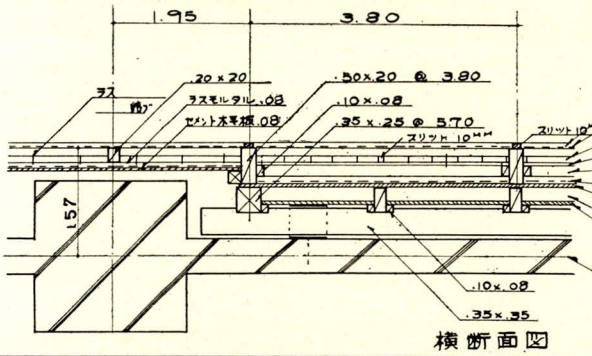
3　階

第一スタヂオ 東西南面壁　キャットウォーク下部　及　第二スタヂオ壁



縦断面図

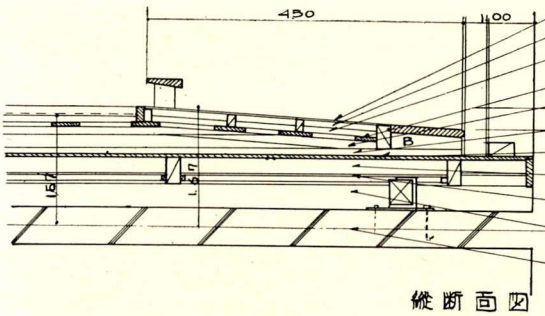
クリンプ網　45MM ピッチ
活手ビニールレザー ホハ布（場所ニヨリ枕料ヲ渡ヘル）
ロックウール紙貼フェルト 25MM厚 半分ハ紙面ヲ表ニスル
貫　間隔 200MM アカレ
空気戸．出来ルダケ大キクトル（50MM）
ラスモルタル　24MM厚
セメント木毛板　12MM厚
空気戸（A+B 100MM以上）
ロックウール紙貼フェルト 10MM厚　全壁面積ノ½ニ分散シテ入レル 紙及ロックウールヲ半分ヅツニシテ10MMノスリットヲ
コンクリート壁 150MM厚



横断面図

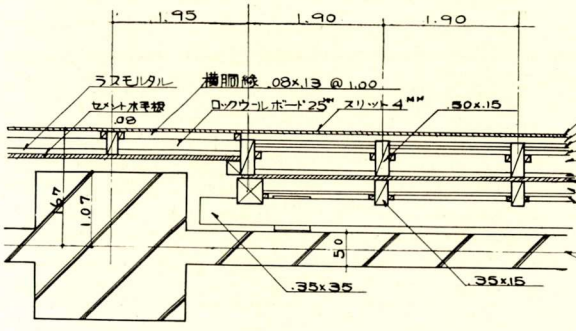
クリンプ網　45MM ピッチ
活手ビニールレザー　及　布（場所ニヨリ枕料ヲ渡ヘル）
ロックウール紙貼フェルト　半分ハ紙面ヲ表ニ取付 -角ベニヤ板打 25MM厚
貫　間隔 200MM アケル
空気戸　（50MM 以上）
ラスモルタル　24MM厚
セメント木毛板　12MM厚
空気戸
ロックウール紙貼フェルト 10MM厚 全壁面積ノ½ニ分散シテ入レル 場所ハ最南図ニヨル
コンクリート壁　150MM厚

第一スタヂオ 東西南面腰　及　第二スタヂオ腰



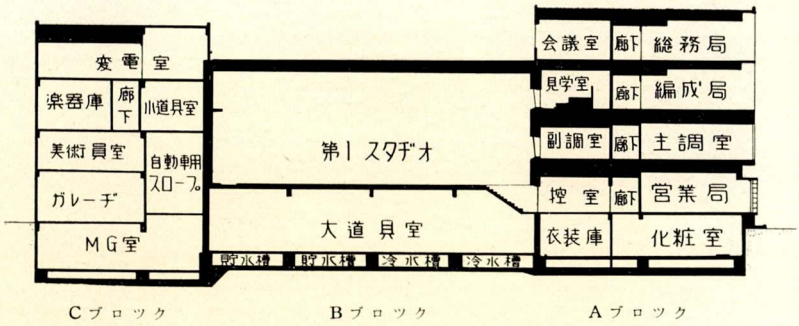
縦断面図

ベニヤ板ペンキ塗　12MM厚 スリット4MM
空気戸
ロックウール紙貼フェルト　25MM厚
貫
空気戸
ラスモルタル 24MM厚
セメント木毛板 12MM厚
空気戸
ロックウール紙貼フェルト 10MM厚
空気戸
コンクリート 150MM厚



横断面図

ベニヤ板ペンキ塗　12MM厚 スリット4MM
空気戸
ロックウール紙貼フェルト 25MM厚
貫．間隔 200MM アケテ取付
空気戸
ラスモルタル 24MM厚
セメント木毛板 12MM厚
空気戸
ロックウール紙貼フェルト 10MM厚
コンクリート 150MM厚



大阪テレビ放送株式会社社屋を設計して

越山欽平

31年7月28日，堂島川畔，元駐留軍敷地跡に大阪テレビ放送株式会社のスタヂオと社屋が完成した。

設計者の立場から計画の概要とスタヂオについて若干述べて見たい。

1. はじめに

28年4月から始められた計画は数十回の検討を重ねて30年6月に完了した。

30年4月試案をたづさえ渡米し NBC，CBS，ABC，DuMont 等米国の4大ネットワークの中央局を訪問し，試案に対し各々の専門家から忠告を聞き，まとめあげたものである。

技術，編成等あらゆる面で日進月歩しつつあるテレビジョンの世界の事であるから，この OTV の局舎が最新のものであると断言は出来ない。しかしながら少くとも現在考えられる最も新しい技術を取入れた，完成されたテレビジョン局舎のスタンダードであるということは出来る。

2. ブロツクプランと動線

この敷地は大阪における報道，文化の中心地であり，まさにTV局舎としては，うつて付の場所であつた。慾をいうなれば，将来拡張の為の敷地が若干ほしい処である。

ブロックを大別して3つに別けた。これを A,B,C とすると

A：主として事務および技術関係

B：主としてスタヂオおよび大道具関係

C：主として倉庫群および機械室関係

である。

ブロックプランの決定にあたつて最も重要なのはトラフイツクすなわち動線である。

動線は次の5つに分けた。

1. 職員，一般外来者動線
2. 出演者動線
3. 見学者動線
4. 大道具動線
5. 中継車動線

がこれである。

これ等の動線が平面交叉する事なく各々独立していなければならないが，特に出演者，見学者，大道具のそれは完全に分れていなければならない。

Aブロックに一般出入口，出演者出入口，見学者出入口

Bブロックに大道具搬出入口

Cブロックに大道具搬出入口および中継車出入口

を設けると共にA,B,C各ブロックの床高を変える（Section 参照）事によつて，この問題を解決した。

3. スタヂオとコントロールルーム

スタヂオは100坪のもの2つと60坪のもの1つ，計3つである。

100坪の内1つは公開用として使用が出来る。

60坪のものは主としてコマーシャル番組（スポット）用として計画した。

100坪のものは全く同型である。この事は連続放送を行う場合全く有利に利用出来ると信じている。大スタヂオは巾45尺，長辺80尺であるが，巾45尺は両側にセットを組んだ場合の最少限で50尺は慾しい処であつた。

地階に冷暖房機械室，大道具室等騒音源となる諸室を取らざるを得なかつたのでスタヂオは全部浮構造を採用した。更に諸機械は全部防振ゴム台を使用した。

スタヂオの主な吸音材はロツクウールで，これに穴あきベニヤ，ビニールレザー，木毛セメント板を使用し残響時間の調整をはかつた。

特に，各周波数に渡つて均一な残響時間を必要とし，その上ラヂオのスタヂオの如くポリシリンダー，レゾメーター等を使用出来ないので，調整には数々の苦心がはらわれている。

音響問題についてはこれを担当された東芝の島原技師が専門誌に発表されるので参照されたい。

残響時間は各周波数に渡つて

第1スタヂオ（第3共）　0.6秒

第2スタヂオ　0.5秒　である。

TVスタヂオとしては稍々長目の残響時間であるが，音楽効果と，セットが組まれた場合を考慮した上，決定されたものである。

スタヂオには各々2カ所にガス，給排水の設備があつて料理放送は勿論の事，その他多角的な目的に使用されるよう計画されている。

コントロールルームは A,B ブロックの高低差を有効に利用し，スタヂオ床と約5尺の差がつけてある。スタヂオとは直通専用階段で連絡が出来るのと同時にコントロールルームよりオペレーターの指揮が極めて，容易に出来るようになつている。

又1スタ，2スタのコントロールルームは一体となつているので両スタヂオを同時に使用する事が可能である。マスターコントロールルームは，東京名古屋等の局とネツトワークを組む為充分な広さを持つている。プロジエクションエリヤ，アナウンスブースが同一プランの中に設けられ，カメラコントロールもこの室で行われる。これ等諸室に設けられる機器の調整修理の為の工作室も同一階に計画され，高度の精度を要求される機器の調整に，その機能を充分発揮出来るものと信じている。

4. 大道具室および小道具室，倉庫

スタヂオを大きく充分に利用する為にはこれ等のスペースを出来るだけ大きく取らねばならない。米国の規準ではスタヂオ1に対しこれ等の合計が2である。

大道具室は1スタ，2スタの下にあつて，大道具は日本最大のエレベーターでスタヂオ階に運ばれる。

大道具，小道具の社外よりの搬入はスロープに依つて，直接大道具室へ，あるいは又直接スタヂオに搬出入する事が出来る。

大道具室はヒル石モルタルおよび木毛セメント板によつて騒音を防ぐよう計画された。

更に一つの特徴は書割製作の為の昇降装置を設けた事である。通常書割（背景）は平に置いたりあるいは立てかけて，脚立を使用して彩色をほどこしていたが，時間と場所を取るばかりでなく非常に非能率であつた。この昇降装置を利用する事によつて，今迄の少くとも3倍の能率があげられると考えている。

5. メイクアツプ室とリハーサル室

出演者出入口を降りて，受付の前を通り抜けると廊下をはさんで衣裳庫，メイクアツプ室，床山等がある。

男女別のメイクアツプ室は，各々27個のロツカー，化粧台と2つのシヤワーおよび便所を持つている。

外に個室の化粧室，日本間化粧室があつて，ここで化粧をすませると専用階段を利用して，1階の控室へいく事が出来る。控室は各スタヂオに対し1個以上設けられ，ここにも化粧台およびロツカーがあつて簡単な化粧直しを行う事が出来ると同時に，本読みの室としても利用出来るようになつている。この外，スタヂオで出演中のクイツクチエンヂ（早変り）の為にスタヂオに接して，同様の化粧室が設けられている。

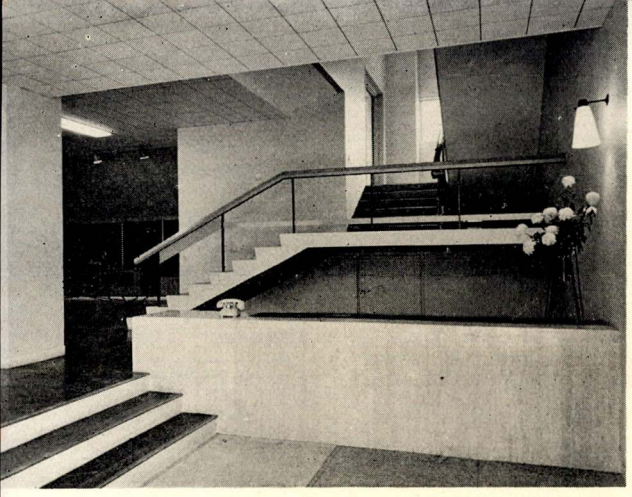
4階にあるリハーサル室は大スタヂオと同型で約100坪の面積を持つているので，キヤメラ・リハーサル以外のリハーサルは，全部ここで行う事が出来る。従つて，スタヂオの利用価値は倍するものと信じている。

6. むすび

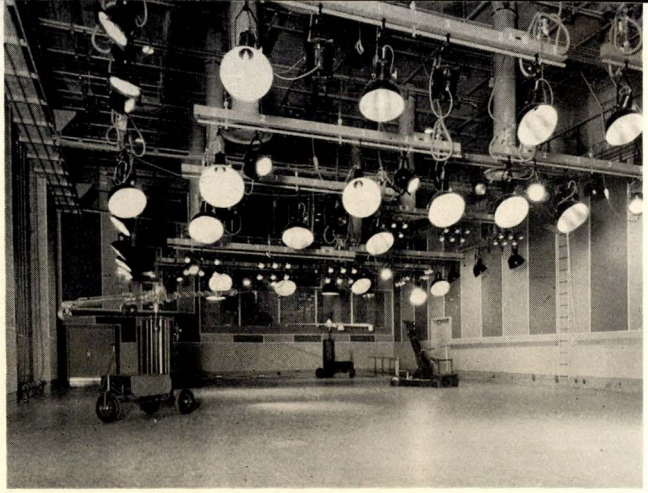
前後4カ年を要したこの局舎は，予算や立地条件等の範囲内で考えられる最高のものであると自負している次第である。

しかしながら，日本のテレビジョンは未だその緒に着いたばかりである。前にも述べたようにその技術は相当なスピードで前進しているのが現状である。すでに米国で考えられている放送技術も年を経ずして，日本に持ち込まれてくるし，又日本の技術も進歩していくであろう事は疑うべくもない。

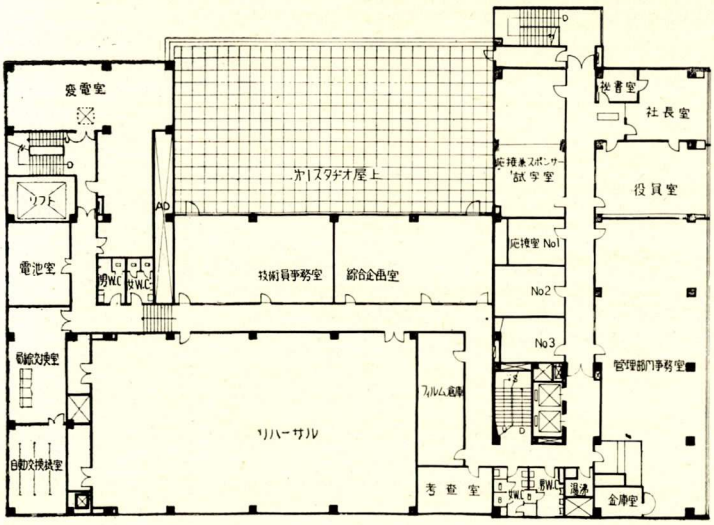
テレビジョン放送の為の種々の設備を持つた基本型の一つとして，この建物を見ていただければ私にとつてこれ以上の幸はない。最後に，28年の始めから御指導を賜つた，大阪テレビ放送株式会社の諸先輩並に音響担当の島原正男氏，NBC，CBS，ABC，DuMont 各放送会社の方々に心からの感謝をささげるものである。



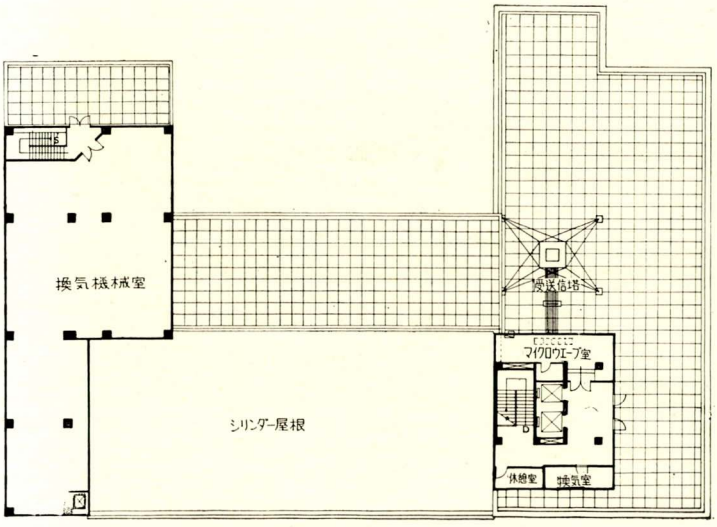
見学者ホール



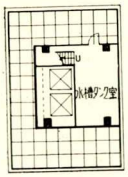
第1スタヂオ内部



4　階



屋 1 階



屋2階



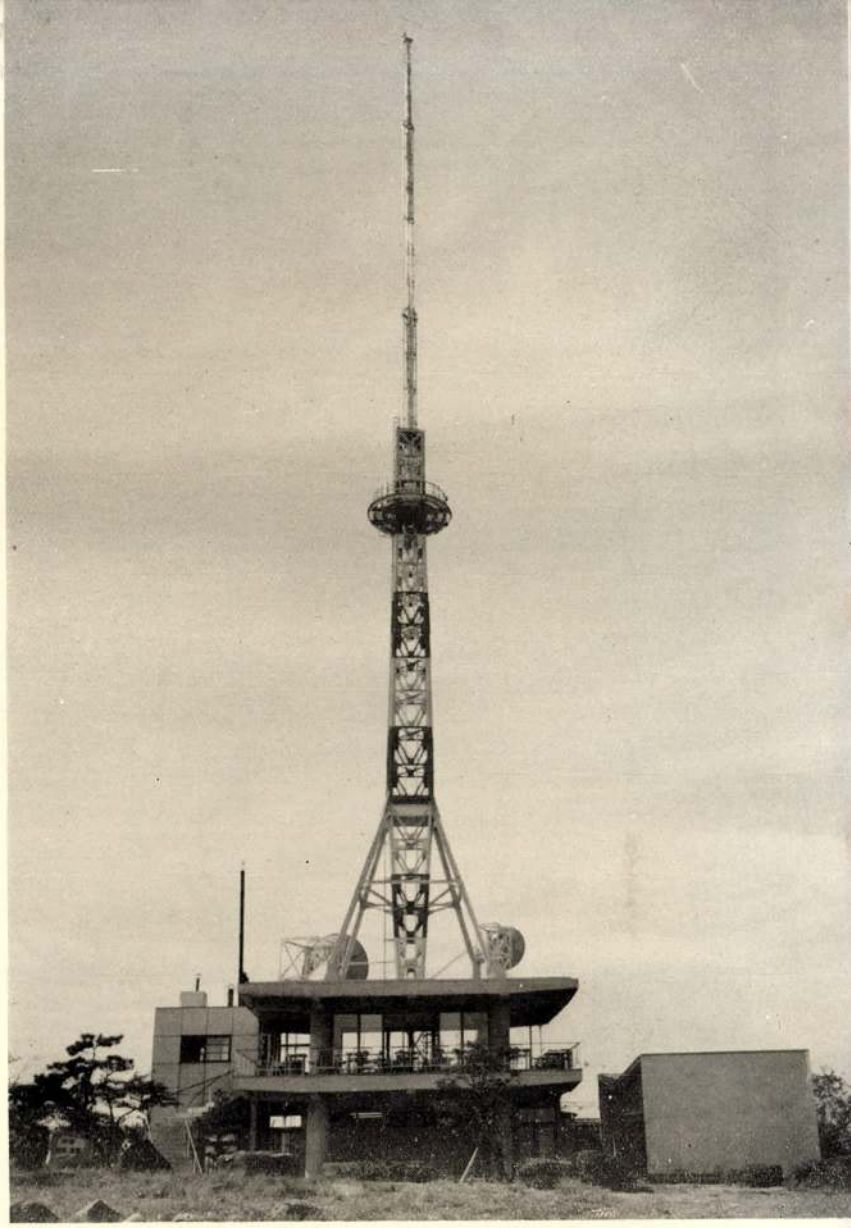
屋3階

施工者としての言葉

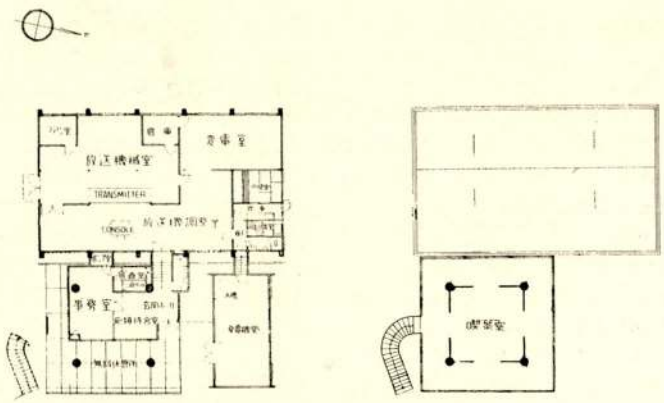
テレビスタジオとして一つの建物内にあらゆる設備を完備し，かつ将来カラーテレビ時代に対しても十分な備えを持つ当建物は日本は勿論世界的にも類の無いもので，施工する者にとりましては，これが完成に粗漏のないよう覚悟をした次第であります。当建物は一部事務系統の諸室を除いては甚だ複雑な構造体を要求されております。これに対する諸設備も亦複雑かつ精密を要しますので，施工に先だち構造施工図を全面的に詳細に作成しました。これはテレビ用機械設備，附帯設備，等に必要なインサート類を一括した総合構造施工図ともいうべきもので，要所は現寸図をもつて示し，これはテレビ技術陣，設計者，附帯設備技術者，および工事技術者の充分なる検討をへて，構造体施工に着手しました。これがために工期は短縮され，かつ正確な構造体を得ることが出来，従つて仕上工事期間を充分に取り，なかでも心臓部のスタジオの仕上工事には一つ一つの工程に充分の期日を取り所期の仕上ならびに音響効果を得ることが出来ましたことを喜んでおります。完成にあたりまして大阪テレビの皆様の御指導，附帯設備諸氏の御協力に感謝致します。　（長坂記）

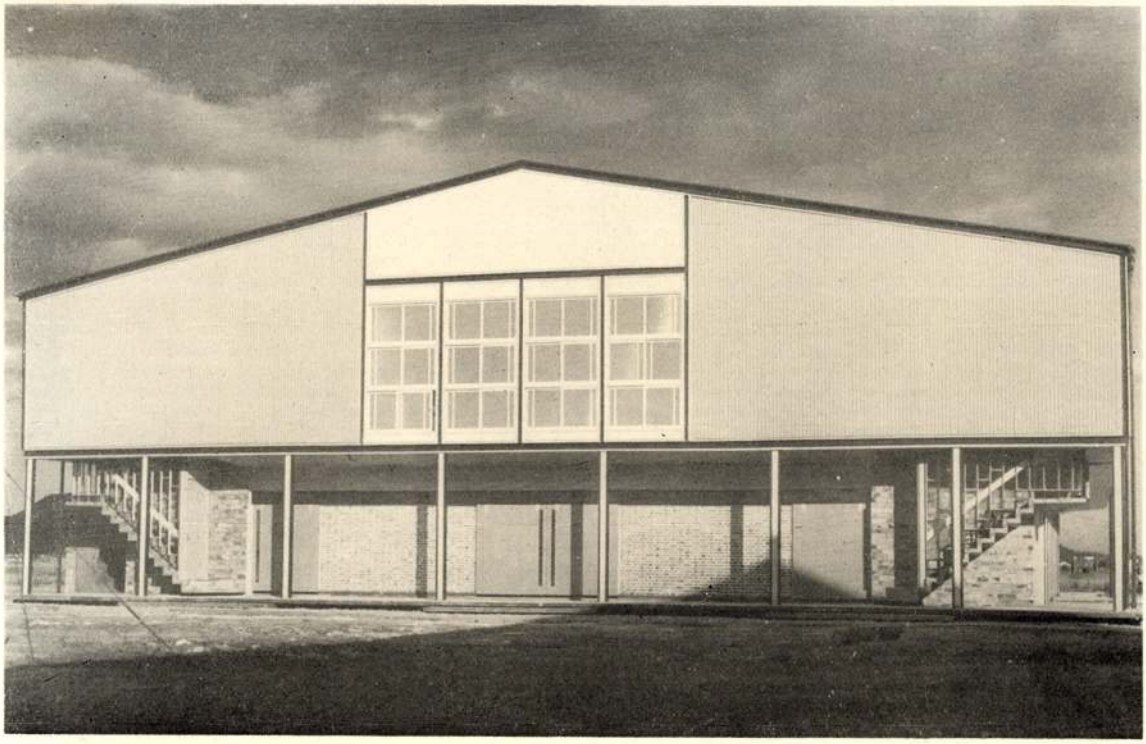
生駒山送信所

建物用途	本館よりのマイクロウエーブを受信し放送電波に増巾送信する
建築位置	奈良県生駒郡生駒町生駒山頂
建築規模	送信所鉄骨鉄筋コンクリート平屋建 224.53M² 事務室，喫茶室鉄筋コンクリート2階建放送鉄塔付 94.31M² 発電機室 木造平屋建 43.33M²
鉄塔高	送信塔 29.997M
	アンテナ上部迄 54.240M



外観





兵庫支部

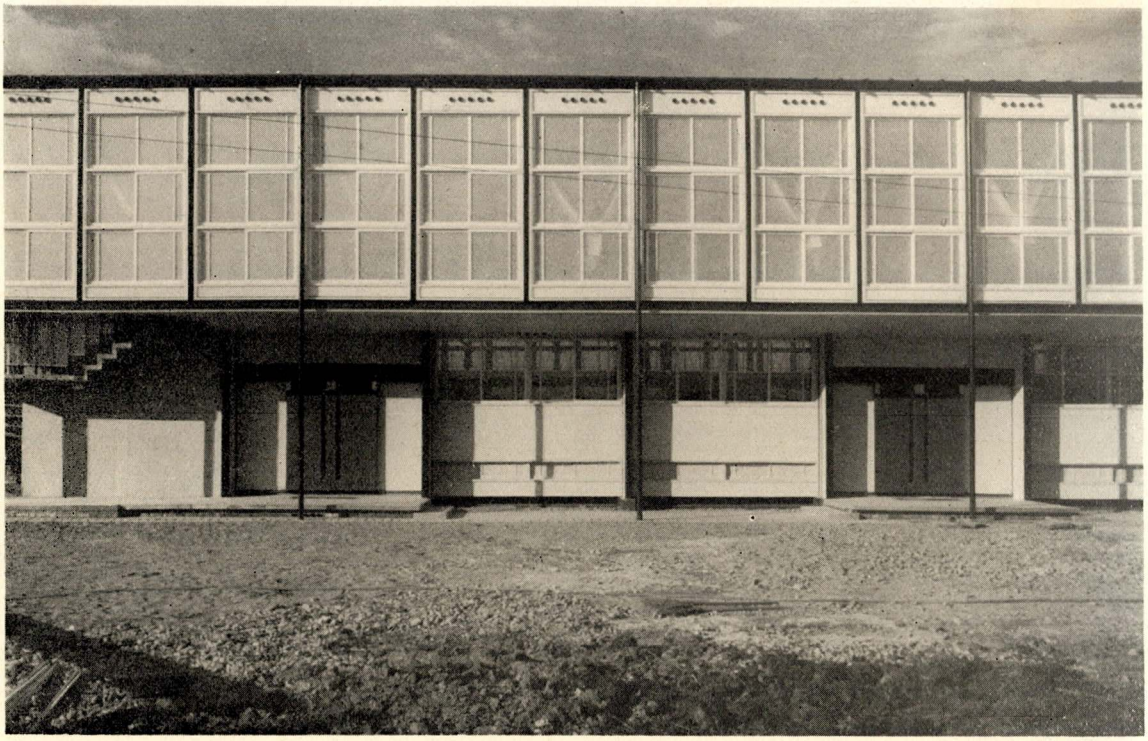
兵庫県立姫路南高校体育館兼講堂

基本計画としては非常に単価の安い体育館であるので，主体構造計画は鉄骨に木骨を並用したバランス方式ラーメン構造とし，荷重計画は総て材料質感の表現と鉄骨ラーメン素材の露出表現により荷重の軽減に留意したので，鉄骨は坪当り重量1分6厘5で以て設計出来た。その他基礎費用が従来の設計より応力の合理性により，相当額を節減出来，設計の全体が有効かつ重点的に出来た。

外部仕上としては，構造的に持出されたギヤラリーは一階の有効なアーケード通路として活用すると共に，軒樋から垂直に直結排水溝に突立つ竪樋によつて，従来の廊下とは別な雰囲気を表現する事に注意した。尚屋根仕上としては耐雨および軽荷重の意味で三晃式真木なし瓦棒葺とし塗装としては下地鉄板処理の上光明丹ペンキ塗をしてから所定の油性ペンキを塗る事によりペンキの寿命の延命策を講じた。又外壁仕上は体育館の様に大梁間を鉄骨と木造とで行う場合の致命的研究課題である亀裂に対し建物の固有振動は止められないから，使用材料に伸縮自在で耐久的で軽量荷重な表現材料として主として三晃式長尺波型鉄板にペンキ仕上をもつて，幕などの持つフレアーの様な表現を外壁に試みました。尚正面には両側の打放コンクリート階段と調和させ粗野な感じを表現する為にヤキスギ煉瓦を化粧に積み費用工期短縮の為，構造体としても有利にあつかつた。又本体育館設計に当り特にマドの合理的な工法の一試案としてラーメン構造部材である⊏型鋼の材質感をそのまま表現すると共に，竪及上下に組まれた⊏型鋼に直接木製マド仕上枠をビス止めで取り付ける為に，特別なビスしめ工具を工作して，これにより完全に⊏型鋼と木枠を取付ける事が出来た。尚マドは体育館の主条件である採光換気を充分に満足させる為に，連窓とし三段になつた。マドは単価を安くする為に硝子寸法である2尺×3尺を基本として表現したが，こと建具金具に関しては維持経費を充分に考慮して出来るだけ最高品質の物を採用した。

外部出入口は特に体育館として，相当強いボールが出入口建具に直接当つても安全で且耐風に対する「アオリ」により建具の損傷および内部の大人数の非常の際の避難を考慮して，総て引分戸又は引戸とし，建具金物に付ては強さ，盗難に対しても考慮した特別設計品で一流メーカーで工作されたのを採用した。

内部仕上としては，本建物の主体性はあくまでも体育競技場としての適当な場として，又学校教育上文化活動としても適切な場として最大公約数的な観点より設計を進めたので，一階は競技場の場としてギヤラリーは観

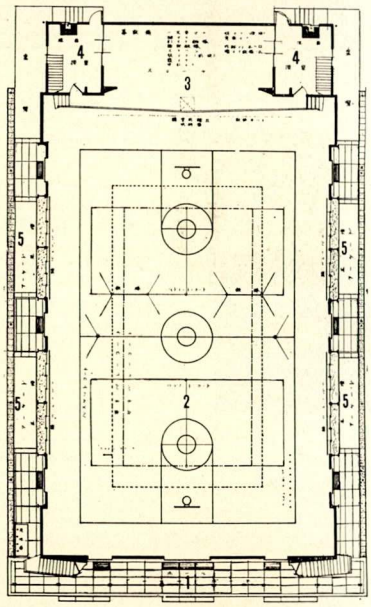


建築設計　兵庫県土木建築部建築課

構造設計　兵庫県土木建築部建築課

施　工　建築　株式会社永井組

　　電気　株式会社ミナト電気



平面図 1階

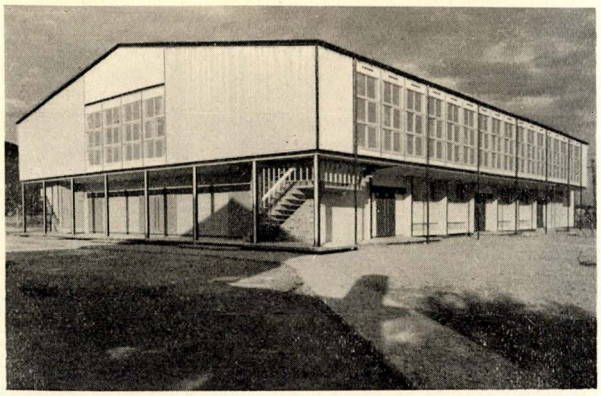
1. アーケードポーチ
   ホール
2. 競技場
3. ステージ
4. 控室
5. 花壇

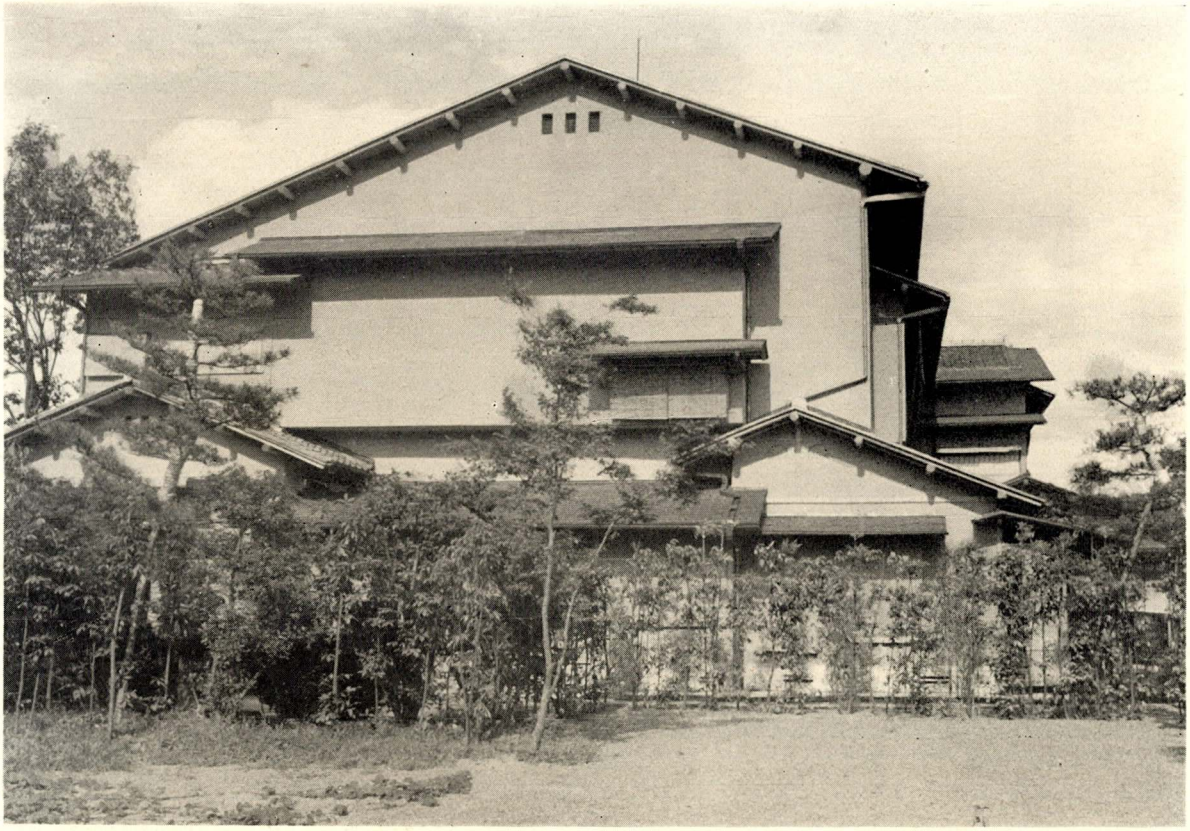
なお，2階にギャラリーあり。

覧の為の場として多人数収容出来る様にした。天井仕上としては吸音効果を上げる為に細目高圧厚さ8分木毛セメント板を貼りエマルヂヨンペンキを吹付け，一部換気の為にパンチングフレキシブルシートを使用して越屋根との排気連絡を考えた。尚天井には体育諸器具の取付がある為に，架構鉄骨を露出してペンキ仕上とした。又壁仕上は強さ吸音の条件を満足させる為，主として下地板相決貼の上に厚8分細目高圧木毛セメント板貼の上エマルヂヨンペンキの吹付仕上の他，一階は竪羽目板を目透底目地に貼り吸音効果を考えた。尚ギャラリー連窓および一階マドは防毯網を貼り硝子の破損を防いだ。

競技場床は音響，強さの為に，下地板は傾斜に6分の本実板を貼り仕上は競技上梁間方向に貼られる方が有効であるので，総て梁間方向に貼り，仕上は電気サンドで充分平滑な仕上に留意した。尚床下の換気に関しては側面に大きくマド5寸×12尺を各4カ処対面に配し，出入口部下は鋼管埋により補助的に取付ていき，特に充分なる換気口を取つた。本設計は先般朝日新聞社主催のスポーツ芸術に本県より出品し入選した作品である事を附記す。

（村上常一郎，猪沢徳忠記）



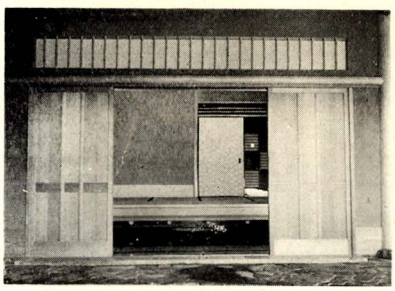


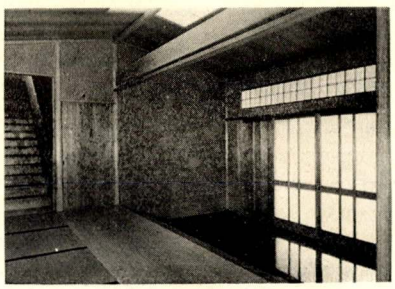
京都支部

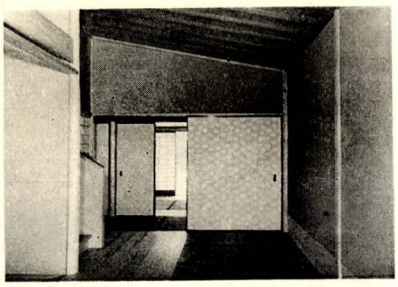
裏千家茶道会館

設計者　茶道裏千家家元（施主）
施工者　株式会社 竹中工務店
担当　中村四十三

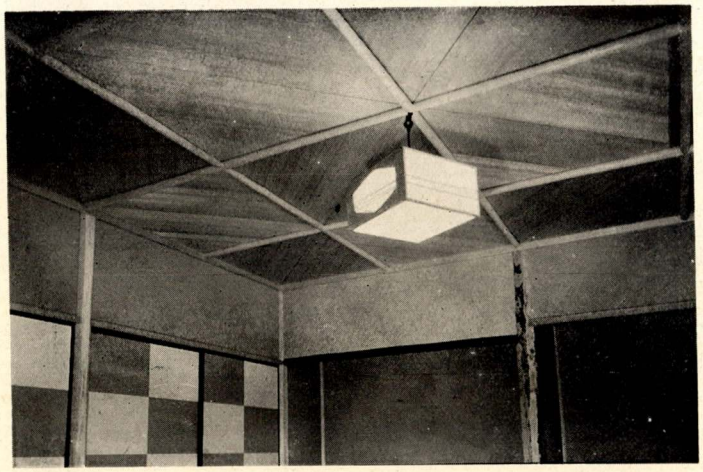
建築地	京都市上京区小川通り寺の内上る本法寺前町
着工	昭和30年7月30日
竣工	昭和31年5月11日
敷地面積	487.30坪
建築面積	1階 100.96坪　2階 67.27坪
延面積	168.23坪
構造規模	木造2階建日本瓦葺一部鉄筋混凝土造
照明	螢光灯及白熱灯
給水	市水道
衛生	浄化槽（50人槽）







裏千家茶道会館

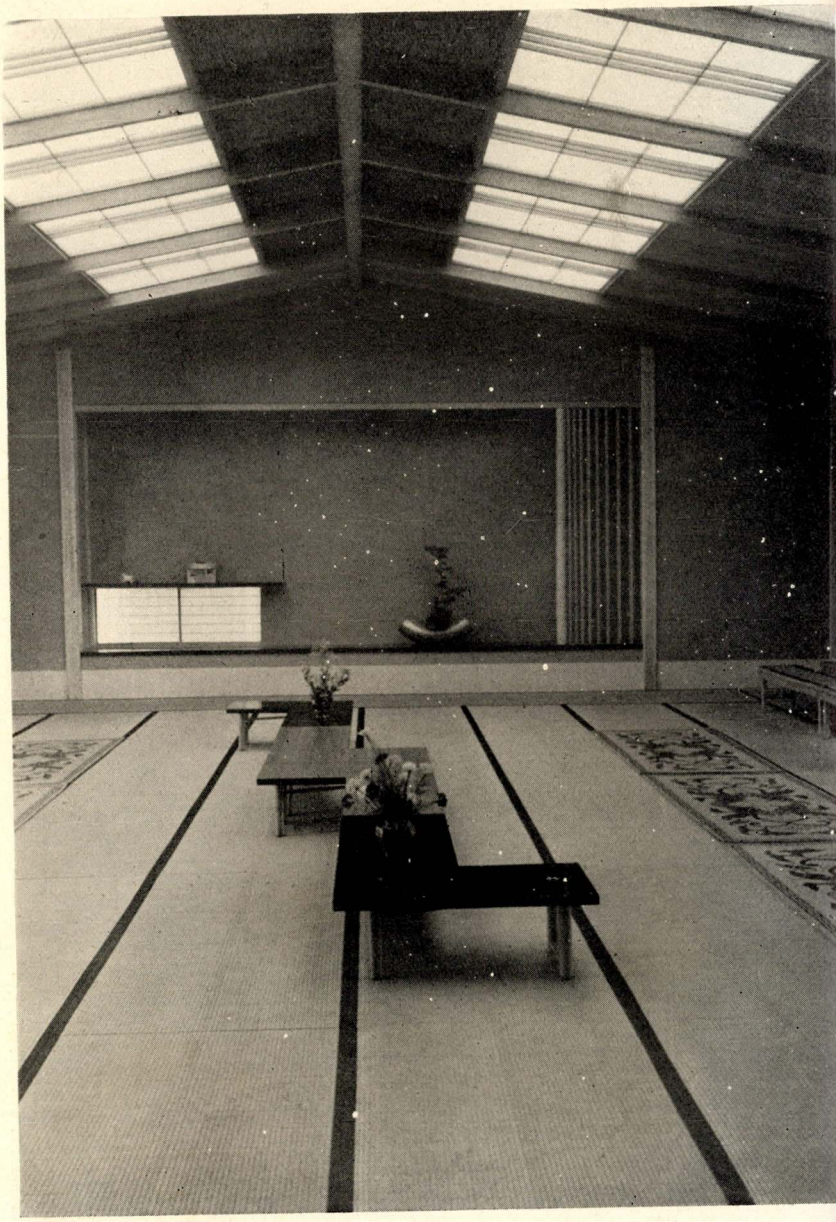


新装成つた茶道会館は「京都市上京区小川通り寺の内上る本法寺前町」にある。

京都の旧市街の西北部，道巾のひろくなつた堀川通りから寺の内を少し東へ，小川にかかつた古びた石橋を渡つてすぐ北へ二丁ばかり行くと，史蹟「今日庵」のある，裏千家家元の門前に出る。

茶道会館は，この裏千家家元と道を一つへだてた真向いにある。路に立つと，東側に兜門のひわだ葺の屋根越しに，亭々と高くそびえる銀杏の大樹が見える。これは，三代宗旦が植えたとつたえる名高い宗旦銀杏である。西に眼をやれば，ここにも又銀杏の大樹が，木の香も新しい茶道会館のかたわらに碧空につつ立つている。銀杏の木は裏千家ゆかりの樹である。

ここは，御所の西北に当り，西陣織で名高い西陣の織場が南西に隣接する。ここらあたり，宝鏡寺，妙顕寺，本法寺，妙覚寺など一帯の寺域が広々とつらなり，もの寂びた京都の古い姿をとどめる閑静の地である。都会のもろもろの騒音も遠のいて，ただ前を流れる小川のせせらぎの音が，風と共に，その折々の風情をそえている。



ここ，裏千家家元は，流祖である宗旦居士の創建になる茶道祭祥の史蹟であり，家元の中でも最も古い建物である。最近は茶道の隆盛に伴い，内外同好の士，或は門下の来庵するものがおびただしく，名席の損傷の事もあり又修錬道場としても，甚だしく狭隘を感ずる様になりこのゆかりの地に，新しき時代に即応したこの茶道錬成道場の計画を見るに至つたのである。

去る昭和29年早春の佳き日に地鎮祭がとり行われた。

家元淡々斎宗匠並に嘉代子夫人の，伝統とゆたかなる経験による設計指導の下に，幾たびか案が錬られ，漸く，昭和30年夏，設計の完了をみて着工の運びになつた。

清新なる席，能率的な水屋，随所に新しき感覚をもり，特殊の装置を試みて，錬成道場の名にふさわしくあらゆる点で茶道の綜合的研究に便利なる様，建物の細部の一つ一つにも行き届いた細心の配慮がなされてある。又四百年に近い伝統に沿いつつ併せて，昭和時代の茶道文化を現しこれを後世にのこそうとする家元の心魂がこめられてある。

着工以来９カ月半，家元夫妻の熱心なる設計並に工事現場への専門的な御指導により，又現場担当者の日夜に亘る努力によつて，この種建築物としては驚くべき短期間の工期を以て，昭和31年５月11日完成した。

高松宮，同妃両殿下をお迎え申上げて竣工式が挙げられ「花心」と命名された。

この会館が，この道に志す人々の中心となつて流儀のいかを問わず広く斯道に活用され，茶道の精神を通じて，社会文化の高揚に寄与されることは勿論であろうが，又春秋を経る毎に，落つきとさびを加え，益々よき錬成道場として「花心」の名と共に，いつまでもいとしまれることであろう。

尚，第２期工事として，鉄筋コンクリート造２階建，延80坪の建物がこの会館に隣接して，家元夫妻の設計により近く着工されることになつている。

（竹中工務店設計部　久保田彦雄）

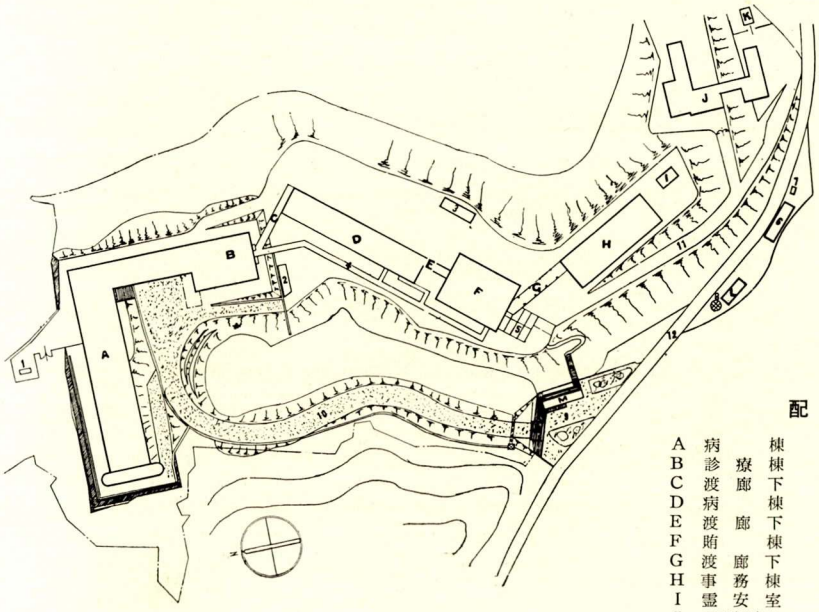


中国支部

建築位置	広島県佐伯郡廿日市町地御前
敷地面積	7,026.00坪
建築面積	新病棟延　965坪 看護婦宿舎　114坪
構造	新病棟：鉄筋コンクリート造2階建1部地階並びに3階付 看護婦宿舎：コンクリートブロック造2階
病床	200床
工期	昭和30年2月 ～昭和31年10月
外装	壁：モルタル塗エマルリシン吹付 屋根：アスファルト防水，モルタル防水

地御前逓信病院

設計監理	日本電信電話公社 中国電気通信局建築部
設計協力	河内義就設計事務所
施工	株式会社銭高組



配置図

A	病棟	1	汚物焼却場
B	診療棟	2	防火用水槽
C	渡廊下	3	〃
D	病棟	4	暖房用ピット
E	渡廊下	5	貯炭場
F	賄棟	6	汚水沈澱槽
G	渡廊下	7	汚物焼却場
H	事務棟	8	集水井戸
I	霊安室	9	正門
J	看護婦宿舎	10	道路
K	官舎	11	〃
L	ポンプ舎	12	村道
M	看視員詰所		



設計者のことば

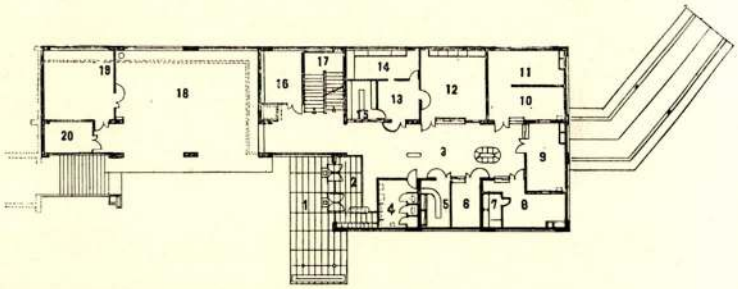
地御前通信病院は，広島市の南西，日本三景の一，宮島を指呼の間に望み，厳島神社の外宮，地御前神社のある佐伯郡廿日市町地御前の小山の上に建つ結核治療専門。病院であり，且つ日本電信電話公社及び郵政省職員を対象とした病院である。本病院の計画は戦前に遡るが，その後戦争と共に一時中止となつていたのを戦後木造で建築せられ，今回紹介の分はそれに伴う増築である。

敷地が何分にも狭い山の屋根であるので，配置計画は充分と言えず，いろいろ問題もあるが，その高低差のあることが構成上には面白さを加えていると思う。設計の上で特に述べれば，診療棟の手術室のある階は，新病棟の一階にあたり，この北側には手術直後の患者を収容し，この部屋には手術後患部にたまる汚物を吸引するための低圧持続吸引機の空気パイプを配管し，その吸引ポンプは地下室に装置してある。

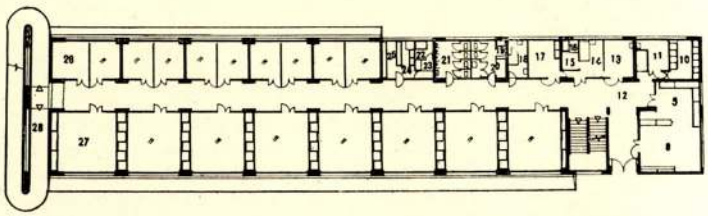
手術室は，最近の病院にみると同じく温湿度調整装置等を設備してある。ただ，電気床については輸入品のタイルは成績がよいように聞いているが，経費の関係もあつて，現場調合としたので，その結果については，更に調査の上御報告致したく思う。

病室は六床室と四床室とあるが，それぞれパーテイションは，戸棚兼用とし，患者の性質上入院期間も長いので，戸棚の容積は出来るだけ大きいものとしてあり，パイピングは殆ど露出としてある……等々であるが，幸にも各建設業者の方々の並々ならぬ努力で，附近の風光と相和して，落付いたよいものが出来たことを感謝し，且つ喜んでいる次第である。

（中国電気通信局建築部）



診療棟1階平面　1 車寄 2 玄関 3 廊下 4 W.C. 5 売店 6 会計受付 7 技工室 8 歯科 9 外科 10 内科診察 11 内科処置 12 薬局 13 薬局事務 14 製剤 15 薬品倉庫 16 理髪室 17 階段室 18 車庫 19 変電室 20 運転手控室



病棟1階平面　8 配膳室 9 食器消毒室 10 リネン室 11 医師室直診療記録室 12 廊下 13 診療準備室 14 看護婦宿直控室 15 更衣室 16 浴室 17 看護準備室 18 職員便所 19 カクタン処理 20 女子便所 21 男子便所 22 浴室 23 脱衣室 24 洗濯室 25 洗面所 26 病室（2床） 27 病室（6床） 28 スロープ階段



外観：外装モルタル塗，着色セメントガン吹付。腰は人造石洗出。

島根県警察本部庁舎

設計監理　島根県土木部建築課
施　工　株式会社　鴻池組山陰出張所

設計者のことば

松江城の足下，島根県庁に隣接したこの敷地は，旧藩時代の三の丸御殿跡の一部であり，明治の初期に建築された木造二階建の庁舎が，古色蒼然として建ち残り，旧警察本部庁舎として使用されていたのです。

当時の名建築であつた旧庁舎も，近代建築の情勢からは，安全と能率化のために解体も止むを得ずとし，その跡に鉄筋コンクリート造三階建の新庁舎を計画した。

当市に於ける鉄筋コンクリート造の建物は極めて尠く，贅沢なもののように偏見視されている向きもうかがわれ，殊に県有建物としては規模からいつても初めての試みであつた為，一般の関心も非常に深いので今回の計画に当つては，公共建物としての実質性に沿うべく特に留意し，簡素の中にも新鮮味といつた方針をたてた。

この敷地及び附近一帯の地盤は，宍道湖北岸の神積層で，その深さは約12Mこの下に松江層（水成岩）があるので，鉄筋コンクリートパイルをこの層に達せしめて上部構造物を支持するように計画した。

本庁舎は，単に警察活動の指揮機関であるので，平面的には特殊な計画を必要とするような部分は殆んどなく，大体において一般の官公署建築と大差のない平面をもつている。従つて，警察本部長室を機能的中心として，各課室及びこれらに従属する各室を有機的に結合して動線の単純化と縮少を計つた。然し乍ら平面形は，その敷地の大きさと，既存建築物及び将来計画との関係で稍々複雑となり，従つて建物の規模の割合に比して，構造的にも複雑なものとなつた。

外観については，古都松江とは対象的に，新しい息吹を盛り込んだ明るい，落付いた感じのものをと心掛けた心算であつたが，諸種の事情のため，至極平凡なエレベーションと仕上げとになつてしまつた。ただ色彩調整については，相当考慮したので，内外部ともに大体において成功したように思う。

これらはひとえに関係者の協力と，建築，電気，衛生給水及び暖房等の各種建設業者の努力によるものと感謝している。

施工者のことば

湖都松江のシンボルである松江城の聳え立つ城山を背景に南面して建つ県内初の鉄筋庁舎の施工であり，施主側の期待も非常に大きくこれに充分応えるようあらゆる方面に細心の努力を払つたが，十二分の出来栄えとは思えない迄も設計監理の側からも御好評を得，まず上位に数えられる建物であると思います。

工事に当つては地質調査の結果，城山より湖岸に流れて居る通称松江層という硬質地盤が，深さ14米に達する地点に在り，径300粍，長さ7米のコンクリート杭二本継ぎの打込みを最も的確に施工するのに，従来の工法を改良実施した結果，殆んど完全に施工理想を達したことと，骨材に恵まれない当地では，粗骨材は砕石を使用するの外なく，コンクリートの施工については，格別の研究と努力を以つて比較的良好な結果を得，打上りも予想に叶い良く出来たと思う。仕上に於ては外部はエマルリシン吹付，玄関廻りテラゾ貼り，床，階段，廊下等研出し，壁プラスター及一部コンビネーション等工事担当労務者も良心的な研鑽と協調とによつて相当の仕上げとなり，亦事故も皆無という喜ばしい結果であつて施主側にも満足して戴けた事は衷心喜びに堪えず，又着工以来終始熱心な御指導と御協力戴いた県関係各位に深く感謝する処であります。



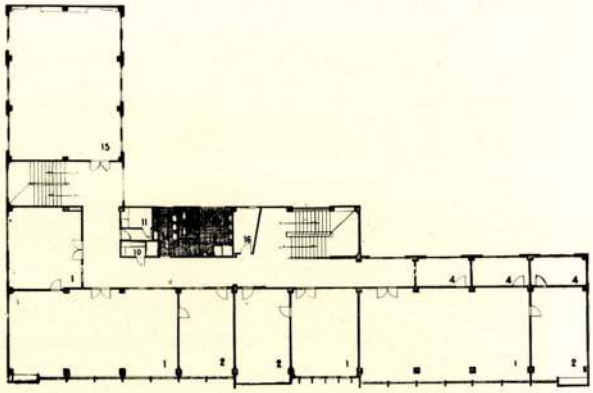
全　景（南・西面）



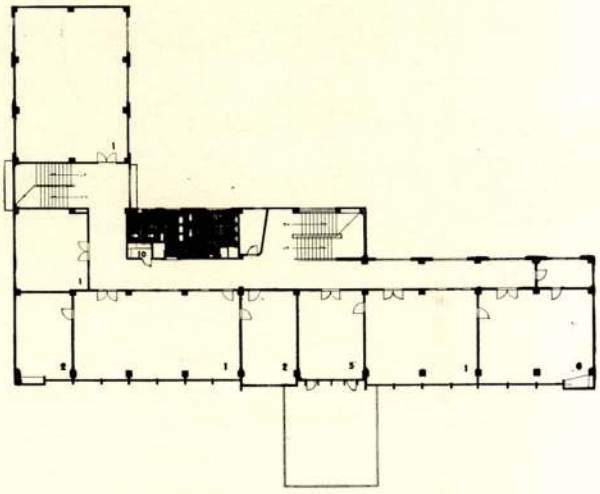
2階階段前ホールより廊下を望む



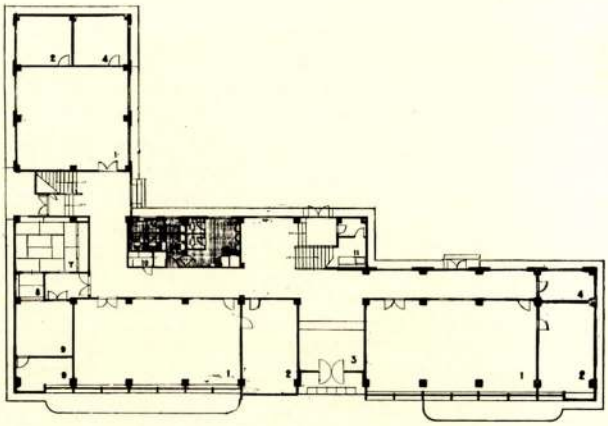
会　議　室



3　階



2　階



1　階

建築地	松江市殿町	
建物面積	延坪	2,285.82 M²
	1階	772.66 M²
	2階	716.76 〃
	3階	716.76 〃
	屋階	64.73 〃
構造	鉄筋コンクリート造　地上3階　塔屋付	
	高さ　パラペット迄	12.300M
付帯設備	電気設備，給水衛生消火設備，炊房設備	
工期	昭和30年3月～昭和30年12月	
工費	建築工事	33,780,000—
	電気設備	2,210,000—
	給水衛生消火設備	1,800,000—
	炊房設備	3,700,000—

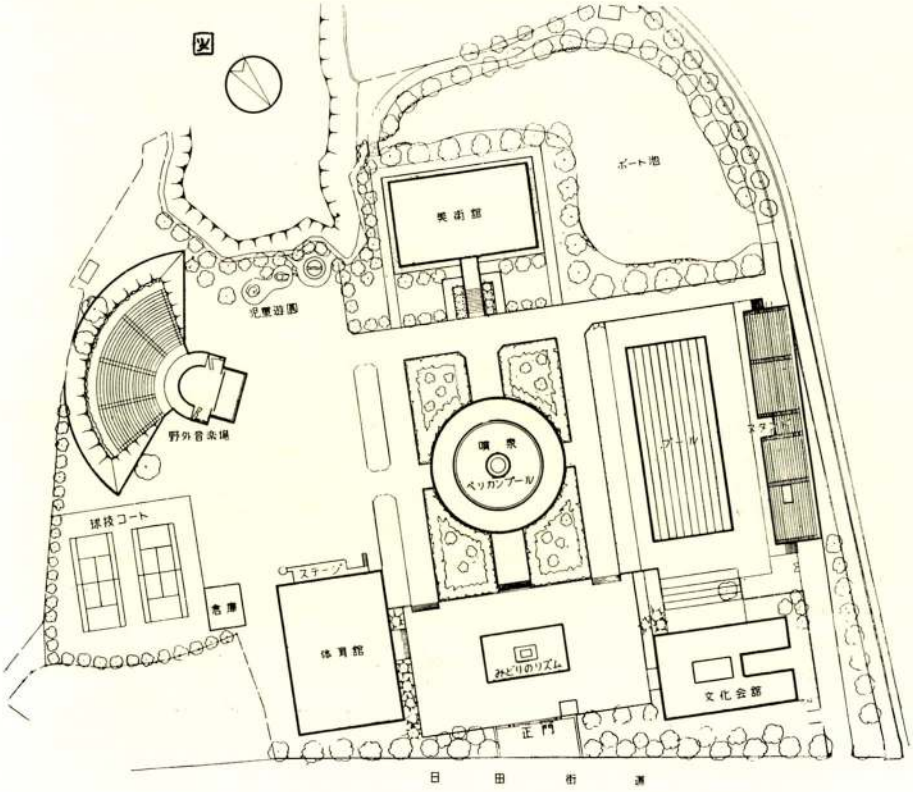
平面図説明　1．事務室　2．課長室　3．玄　関　4．予備室　5．公安委員室　6．本部長室　7．宿直室　8．控　室　9．通信室　10．湯沸場　11．暗　室　12．男子便所　13．婦人便所　14．洗面所　15．会議室　16．物置倉庫



石橋文化センター（久留米市）

美術館

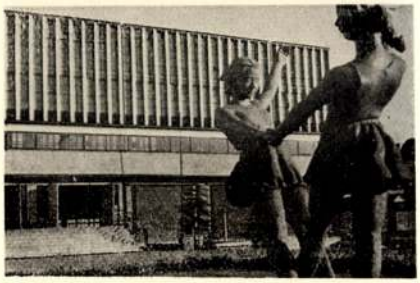
設計	菊竹建築計画研究所
施工	八千代建設株式会社
構造	鉄筋コンクリート造　2階建
延坪	510坪
竣工日	昭和31年4月25日





体　育　館

設　計　菊竹建築計画研究所
施　工　株式会社　高　松　組
構　造　鉄骨造平家建　1部2階
竣工日　昭和31年4月25日



石橋文化センターを設計して

菊竹清訓

この建設は一人の力だけによつて生れたものではない。現実をはつきり体で感じとつている人々が，みんなで創り上げたものである。だからここには気どりも，見栄も，威厳も，背のびもない，唯たくましい筑後平野の生活が静かに息吹いているに過ぎない。このしたしみやすさ，素朴さ，安らかさこそみんなの努力の結集から自然に生みだされたものであり，又みんなの力によつて始めてかちとられるものでもあろう。だから私共の設計も，みんなの支持と主張の中で進められたものであり，そうすることが「コミュニティ」の建設に最も適わしく思われた。こうしたことのために計画の完成をまのあたりにみたとき，建設にたづさわつたみんなの心のなかに，新しい市民生活にこの施設がきつと反映せずにはおかないだろうという確心が潮のように満ちていつたのである。

（菊竹建築計画研究所長）

美術館の施工者として

田中　清

中学を卒業して十年間ほど油絵具をいじつていた関係で，石橋文化センター美術館の施工に当つては感慨深いものがありました。設費と徒労に終つた私の画業の償いといつた気持も手伝つて，最初から体当りでぶつかつていつた工事です。主体工事をウインドーまで含めて坪当り2万5千円弱で請負つたことも私の自慢の一つです。勿論設計も極めて要領よく出来ていたのですが専門家でもそんな安い単価で出来たとは御気付きにならぬようです。

美術館建設の計画がありながら資金面で足踏みでもされている向きは再検討して貰つて，踏み出して戴きたいものです。美術品を安全に保管し，展示する建物が出来れば，自然と立派な作品も集り，その地方から優れた美術家も生れて来るものだそうです。

（八千代建設KK社長）

体育館施工に参加して

高松　隆之助

当社の担当したのは，石橋文化センターの内，体育館のみであるが，工事施工はBS建築課の懇切な指導の下に，頗るスムースに進行したので業者として取立てていう程苦心したことはない。唯設計について感じたことは次の通り。

先ず体育館については，色彩感を効果的に考慮してあること。建物がスポーツをして楽しむ人のためということを主眼として，合理的に設計され，営業的，観客本位ということは第二次とされ，且成功していること。次にセンターを全般的に見て，体育館を含めて，美術館，音楽堂，プール，クラブハウス等が，それぞれその所を得て，その特徴を持ちながら，全般として一つの渾然たるハーモニーをかもし出していることである。西日本随一の文化センターを誇るのも当然と思われる。

（高松組工務部長）

第 2 回
工高生デザインコンクール
入選作品

設計課題　観光案内所
主　催　日本建築協会

応募は鹿児島，熊本，大分，徳島，松江，津山，宮津，神戸，大阪，京都，宇治山田，大垣，名古屋，静岡，横浜，東京の各地から21校計94点。今年は関東の初参加があり，範囲が広くなりつつあるのは結構なことである。事務局から新会館開所時に作品を展示したいという希望が出て来たため，急に審査日を繰上げたので審査員中御都合の悪い方ができ，結局9月27日午後から夜にかけて浅尾，笹川，竹内，宮脇，吉田，足立の諸氏によつて行われた。若い生徒諸君の作品であるから細部の技術的欠陥よりもアイデイアや意欲に将来性の感じられるものを採り，製図力も考慮する方針で，二回にわたり荒選びを行い約¼の作品を残し，それより入選候補の投票をして，得票下位のもの即ち当落境界範囲の約10点について討論採決，入選作を決定した。昨年同様審査員各位から御批評をいただきましたので次に要約します。

設計要件

㋑ 敷地　駅前角地
㋺ 建築面積　70平方米内外
㋩ 所要室　客溜（展示を含む）案内所，売店，公衆便所，電話，控室，その他

短評

審査委員会

短い教育期間にもかかはらず一般に良く括めてあり，昔の悪達者な作品が影をひそめ，素直な作品が多くなつてきたように感じられた。出題した教育委員会では，現地に即した所謂地方性を生かし得るように，そのような現実の摑み方を学んでもらいたいと云う意図があつたかに聞いていたのであるが，前年同様今回もその点に特色のある作品は少かつた。学び初めの人には無理ではないかという審査員のもつともな御意見もあつたが，表現まで持つてゆくのは仲々難しいと思うが，そのような眼のつけ方は着実な勉強方法でもあるから，今後共せいぜい心掛けていただきたい。全般的に角地，壁面の展示利用，公衆便所等の取扱いに課題の分析不足が感じられ，欲をいえば少し若々しい自由な発想があつてよいと思う。

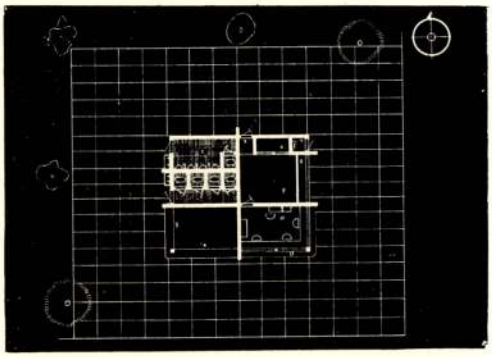
昨年は大阪以西，今年は大阪以東の作品が入選した。特に昨年は津山，松江，今年は宇治山田から入選作を出しているが，今迄の大都会の生徒に限定され勝ちであつた傾向を打破する事は全国的なレヴエルの向上を意味するのであるから，地方都市在住諸君の一層の勉強を期待したい。平凡に過ぎ，または比較的大きな欠陥があつて，選には洩れたが，

大阪市立工芸高校	3年	井上晴雄
西野田工業高校	〃	掃部厚夫
都島工業高校	2年	渋谷皓夫
宇治山田商工高校	3年	黒井弘紀
熊本工業高校	2年	岡野暢徳
都島工業高校	〃	飯田博
静岡工業高校	4年	馬場毅
名古屋市立工芸高校	3年	好永弘宜
神奈川工業高校	〃	岡田康司

の諸君の作品は入選圏内にあつたことを附記する。

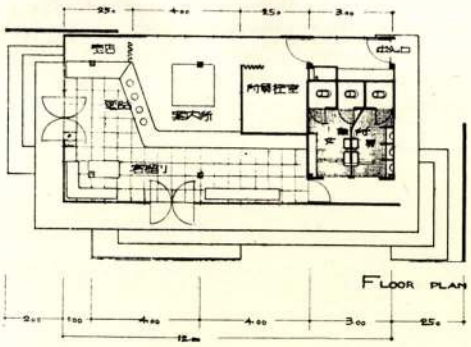
以下に，入選作10点を紹介し（順序不同）それぞれの短評を附記します。　（文責　足立）

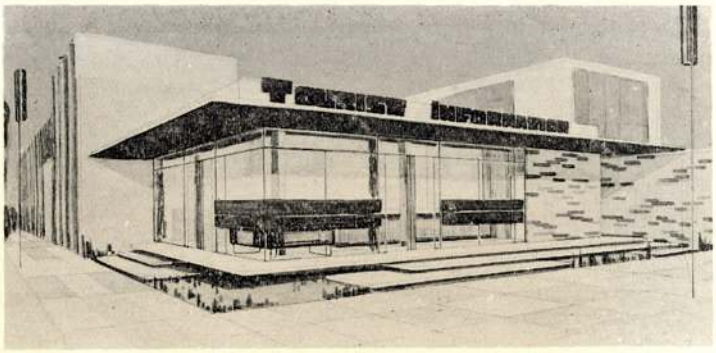




観光客に直接することを意図して客溜りを外に押しやつた大膽なアイデイアは実際にも適切。但しベンチか何か一服し得る場所を考慮していただけたら，なおよかつた。

三重県立宇治山田商工高校　3年　西村昭六

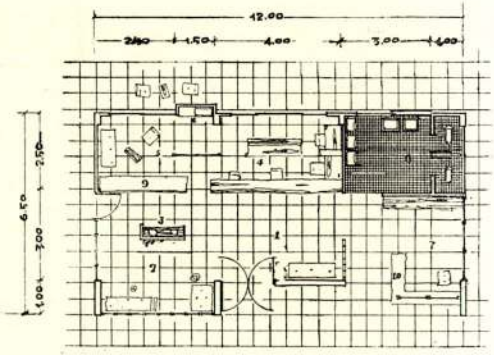




階段を上つてはいるのはこの種建物ではマイナスであろう。電話も所員溜場際の方が良くないか。描法はよろしい。

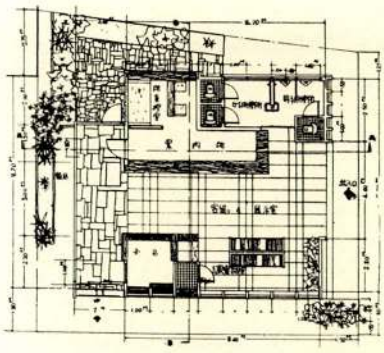
神奈川県立神奈川工業高校　3年　清原　暢

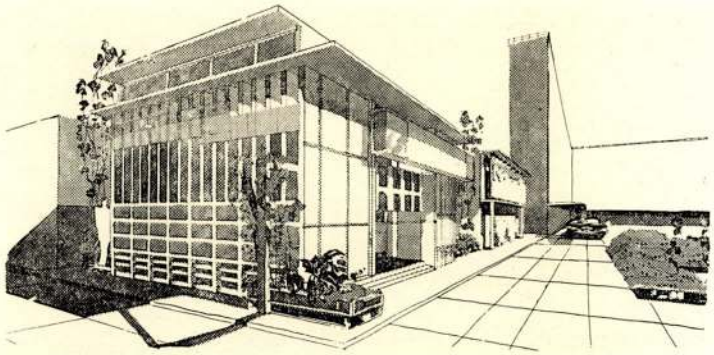




フアツサードはも一つ。平面図の描法も諸君の時代は素直に適確に書くことがのぞましい。公衆便所の性格が薄れている。

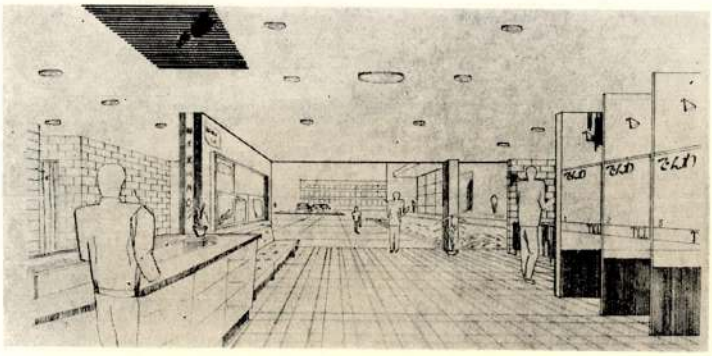
大阪府立西野田工業高校　3年　西川正興

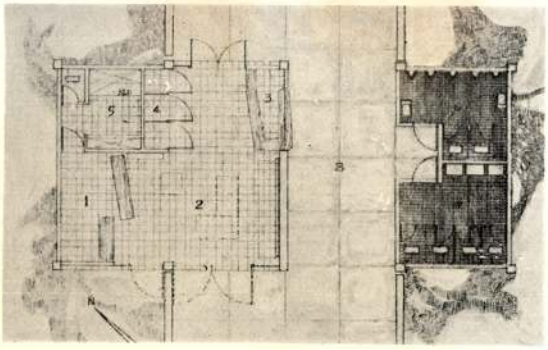




地方的性格を意図したデザインが商店的に過ぎた。建物の持つ目的を適確に表現することが大切。色調，図面効果は達者でよろしい。やはり公衆便所の性格が欠除している。

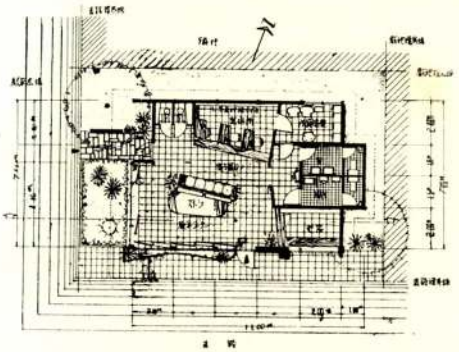
大阪市立都島工業高校　3年　弘瀬敏男

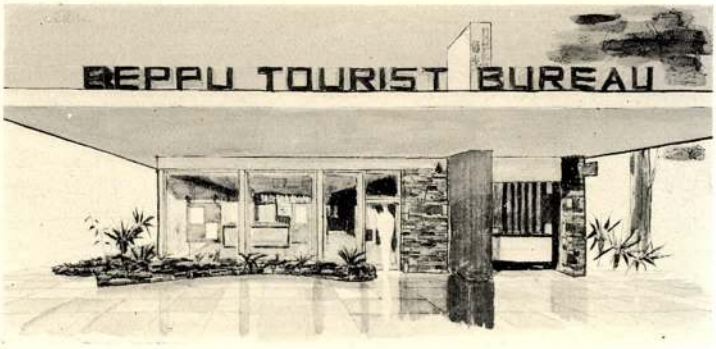




伸び伸びした良い平面。描法もよろしい。

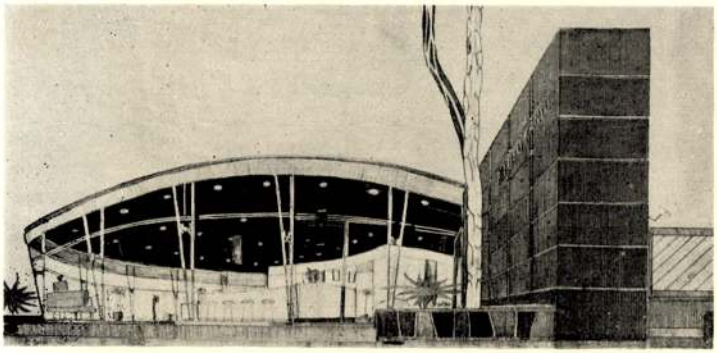
大阪市立都島工業高校　3年　　西口邦彦

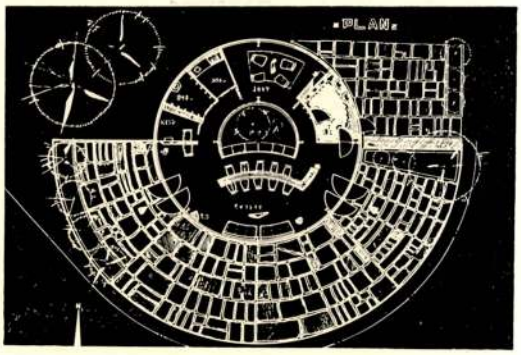




一生懸命書いているが，透視図特に色に統一がない。努力を買う。

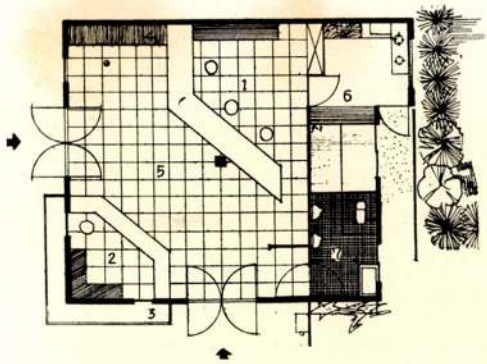
大阪市立都島工業高校　3年　　井上純一





円形におさめるための無理がある。透視図も実際より誇張され辻つまの合わぬところがある。も少し堅実さに注意しながら意欲を伸ばされんことを。

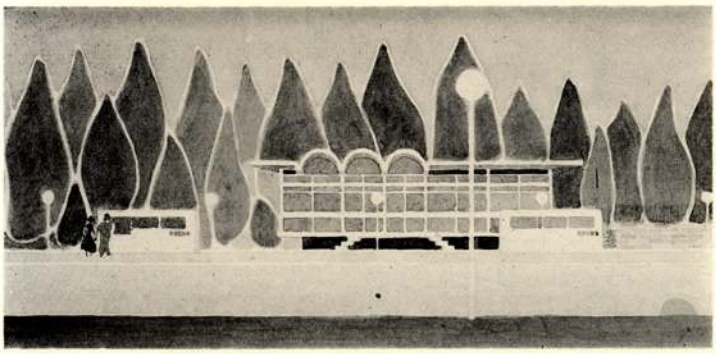
京都市立伏見高校　3年　　酒井賢治

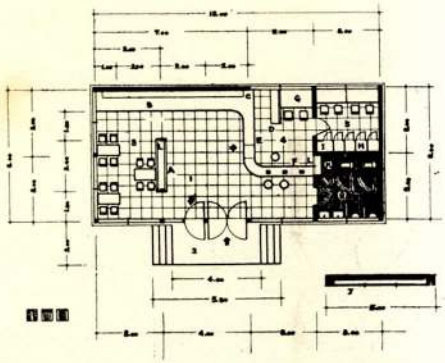




素直な平面だが立面効果が悪い。描法の勉強をして下さい。

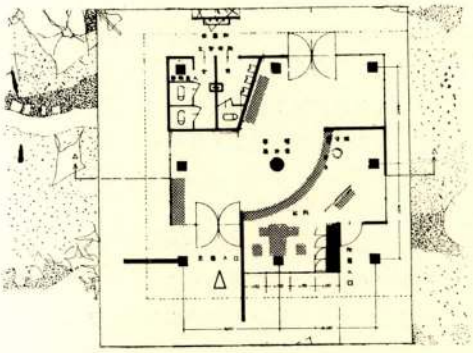
名古屋市立工芸高校　3年　村上祐也

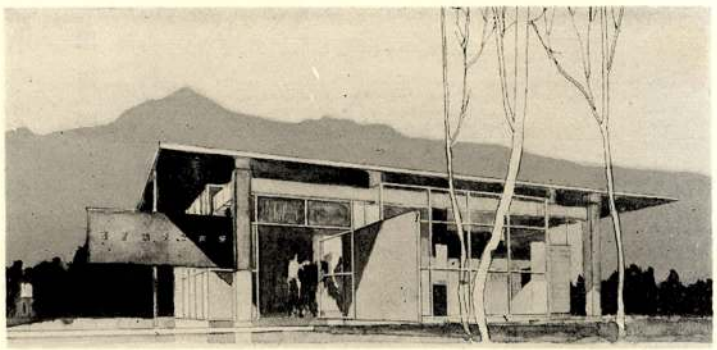




階段を上る点，建物のスケールを無視した表現，配置図の疑問など異論の多かつた作品だが，その意欲と描法を買う。将来図案にならないよう充分戒心してほしい。

神奈川県立神奈川工業高校　3年　塚田明





立面とくに入口附近はうまい。平面も面白いが案内の家具配置にやや無理があり，売店ももう少し手を入れてほしい。

東京都立小石川工業高校　3年　小倉一彦

馬　　籠

建築の眼・担当五十音順・足立孝・岡橋作太郎

くすんだ家並は雨に濡れ人影も疎らである。ゴロゴロ石の登りが少し大儀になる辺りに，不似合に新しい藤村記念堂の黒門と素木の案内所が道を挟んで向い合つていた。記念堂も案内所も開いたまま，寂として人影がない。仕方なく無断で門脇のくぐり戸をはいると，雑誌でお馴染の白い壁，その上に柿の木の黄葉が鮮やかさを添えている。あちこちと眺め，歩いていると，隅の土蔵から娘さんが丸い顔を出した。

案内所に戻ると，その娘さんが熱いお茶を入れてくれた。茶碗のぬくみを掌に感じながら雨音を聞いていると，物情騒然の頃読んだ「夜明け前」滝沢修の扮した半蔵が浮んできた。伊藤熹朔の写実的な舞台装置，その舞台での婚礼の夜の木曽節の哀調，律気で誠実であつたが故に歴史に流される善意の人の傷しさは昔も今も変りはない。不図，その頃清潔な冷さのある画を描いていた島崎鶏二を思い出した。

「鶏二さんは？」と娘さんの横顔に訊ねたら，伏目の儘，顔を向けて「お父さんと御一緒です」と教えてくれた。

(TK)

名　　作

設計と施工の期間の長短は必ずしも建物の優劣とは正比例しないようだけれども，短い場合の方に失敗作の多いことは確かなようだ。今年から去年をふり返つてみると，仕事は多いし，一件当りの工事費も，戦前以上の大物も相当な数だが，名作の生れる機会は極めて稀なことを発見した。この理由，期間の問題に関係ありはしないかと考えてみたわけである。

施主の要求の通りに設計と施工をアンバイして企業計画に相応させるのが建築やたるものの努めだと説く人もある。それも一理である。昔とは違うからそれくらいの企業センスはないと話にはならない。しかし建築はランニングではない。スピードも理想だが一年経つか経たぬかで雨漏れがしたり，企業の本質に案外添はなかつたことがわかつたりしたら，全然イケナイことを知るべきである。勿論名作とはスピードの早いものに与えられる称号ではない。

(SY)



消防員宅から出火

佐野正一・深尾実郎・陶浪貞彦・建築の眼

〝消防員宅から出火〟という新聞記事があつた。私も，そして恐らくこの記事を見た人の殆んどが，なにか漫画を見たような皮肉さを感ぜられたことと思う。しかしよく考えてみると，これは消防員やその家族の人達には非常に酷な考え方であつて，この人達が充分注意したとしても少しの，人間ではどう仕様もない不運とか，手違いによつて火災は起り得るのである。本来火を消す役目を持つた人が火災を起こしたということになにか皮肉を感ずるというのは，実は我々の錯覚であつて，いやしくも消防員たるものは失火をしてはいけないというのであれば，彼等を燃えない家に先ず入れてやるべきであろう。人間の過失や不運を，その意志や注意力によつて無限に償なえると思うのは過信である。我々は我々の生活の場所をもつと積極的に造り上げる努力，少くともこのような考え方が一般の常識になる様にならなくてはなるまい。

(JT)

建　築　的　職　業

学界70周年祭典の末席にて住宅総裁加納氏の御講演を拝聴し，先生は良い地位におられることを羨ましく思つた。実は私が建築を志望したのは社会主義的見地からであつたことを想起したからである。銀行屋の父を持ち，このような環境にあつた自分に対して父は色んな人を頼んで反対したが，Aガラス社の技師長N氏は建築は技術でなく芸術だといつて反対理由にされたりしたのであるが，私としてはブルーノ・タウトの die Siedlung のような社会主義的計画の施設を拡めることにあつた。しかし建築的職業は多岐多様で，その内容の研究は不足であつた。先生は住宅を造り国家経済のバランスにも役立たれ，また建築あるいはその部品の製造業を起されると聞いて，かく考えたのであるが現在の自分としてできることもあることに気付いた次第である。

（余談であるが就職される方は建築と職席の内容について，または官庁の内容，会社の内容について研究されたいと思う。給料と地位の問題も御多聞にもれない。）

(SD)

兵庫縣における戦後の建築活動の概観

森田康次

兵庫支部

兵庫県における戦後の建築活動は，終戦直後の空白時代から，やがて，戦災都市はその復興に動き始めたこと資材統制による制約，それも廃止になつて，漸く都市農村共，建築が活潑になつて来たこと，朝鮮ブームによる資材不足，それによる建築費の高騰，それも又，常態に復し，建築活動が再び，いや今迄以上盛になつたこと等々，わが国全体における建築活動の傾向と同じ様な状態を示している。

又，兵庫県は近畿地方の，所謂，京阪神地方を形づくつてはいるが，大阪と比較して，量質共に，一段劣つていることは否めない。しかも，これといつて特別のものも，さして見当らない。

しかし，とに角，一通り概観し，主として，昭和26年以後のものについて述べ，与えられた課題に対する責を果したい。

先ず，用途別の状況を年次別に示すと，**第1表**の通りである。

居住用が2割減つて来ている。公共用，農林水産用も減少しているが，公益事業用，商業用，鉱工業用等は増加している。

年次別，構造別の推移は，**第2表**の通りである。

なお，新設住宅の建設状況は，**第3表**の通りである。

これを，各用途の建物について，個々に見ていくと，県下全体を通じて，目立つのは学校である。戦災都市はその復旧と，学制改革の為に，その他の市町村では学制改革の為に，更には生徒数増加による教室不足も加えて学校の建築は，毎年活潑である。いずれにおいても，新らしいものは，いわゆる新制中学である。

構造は，神戸，芦屋，西宮等の各市は，当初は，木造であつたが，最近では，殆んど鉄筋コンクリート造である。これらの地以外では，姫路西，明石の両県立高等学校が，鉄筋コンクリート造の校舎の新築を見た。後者のColour Conditioningは，一つのTest Caseとして，新らしい試みがなされているが，将来，この問題に対する一つの示唆を与えている。円型校舎も，御多分に洩れず，採用されている。神戸市摩耶小学校，西宮市今津中学校美方郡温泉町小学校の校舎の一部が，それである。

体育館，講堂兼体育館，講堂も，ぞくぞく建設されたが，国民体育大会が開始された関係もあつて，今年は特に多く見られた。鉄筋コンクリート造は，私立学園に多く，武庫川学園，山手学園，親和学園等のそれが，これで，殊に，武庫川学園の体育館は，規模，構造，意匠共に注目を浴びている。鉄骨造としては，県立高等学校，神戸市立学校等の体育館，又は講堂兼体育館に多く，而も，鉄材の節約等の為，各種の構法が採用された。例えば，赤穂，福崎，明石の各高等学校におけるV—トラス，兵庫，篠山，津名各高等学校のP・D式トラス等がそれである。その他，神戸，姫路南，葺合，神戸商業各高等

第 1 表

着工建築物用途別総括表(延べ面積)　　単位 坪

	昭和 25	昭和 26	昭和 27	昭和 28	昭和 29	昭和 30
			97.4	98.7	83.3	83.6
居住用建築物	310,906	308,536	300,422	304,421	256,997	257.952
公共用 〃	90,133	92,501	92.438	61,355	80,592	49,374
公益事業用 〃	6,272	7,823	6,520	22,367	22,961	9,385
商業用 〃	42,653	69,859	42,125	53,103	57,572	54,547
鉱工業用 〃	73,403	87,352	71,665	90,469	64,904	74,894
農林水産業用 〃	39,834	44,135	34,020	23,990	20,949	19,485

第 2 表

着工建築物構造別延面積の推移表

年度別 / 構造別	昭和 26 年		昭和 27 年			昭和 28 年			昭和 29 年		
	延面積	%	延面積	%	指数	延面積	%	指数	延面積	%	指数
総計	610,206	100	547,214	100	89.7	562,162	100	92.1	503.925	100	82.5
木造	502,660	82,4	459,004	84.0	91.3	456,453	82.0	91.2	378,622	75.2	75.3
鉄筋コンクリート造	79,472	13.0	54,829	10.0	68.9	69,926	12.4	87.9	99,123	19.6	124
鉄骨造	23,792	3.9	30,629	5.5	128.7	31,983	5.6	134.4	21,170	4.3	88.9
その他	4,282	0.7	2,752	0.5	64.2	3,800	0	88.7	5,010	0.9	117.0

(注) 指数は昭和26年を100として算出した。

第 3 表

新設住宅延べ面積の推移表　　単位 坪

年度別	昭和 26 年	昭和 27 年		昭和 28 年		昭和 28 年	
		延べ面積	指数	延べ面積	指数	延べ面積	指数
延べ面積	220,606	230,150	104	227,210	103	193,954	88

学校の体育館も，夫々鉄骨構造に，工夫をこらし，併せて，デザインの上にも，深い考慮が払われている。

特殊なものとしては，西宮市の修道院，芦屋市の田中千代洋裁学園，西脇市の幼稚園等が注目されてよい。

学校に次いで，目立つものは，アパートである。

住宅不足については，既に，各所で述べられているが現在の経済状態では，まだまだ貸家事業は事業として成立たないので，一部，木造アパートとして見られる以外には，殆んど取上げられていないので，住宅建設について，一般庶民にとつての唯一の望みは，公営住宅の建設である。昭和30年度までに建設された公営住宅の戸数は，県，市町村を合せて，木造21,637戸，特殊耐火構造1,431戸，耐火構造 2,399戸，転用3,139戸，計28,606戸である。その他に，住宅金融公庫融資住宅，住宅公団の住宅，厚生年金の融資による住宅等によつて，各種の住宅が建てられつつあることは，重要なことの一つであり公営住宅のそれと相まつて，一団地の住宅，鉄筋コンクリート造アパートが，県下あちらこちらに，徐々に数を増していることは，嬉しいことであり，実に好ましいことである。

この中で，鉄筋コンクリート造アパート，ブロック住宅，テラスハウス等が集団的に建てられている所は，西宮市西宮北口（各種約40棟），甲子園，上甲子園（国鉄関係のものが多い），尼崎市センタープール西（住宅公団），伊丹市寺本（住宅公団），神戸市住吉，鷹取，垂水，高羽、明石市藤江，高砂市，姫路市広畑（富士製鉄関係），三菱鉱山明延等である。なお，神戸市内，阪神間には，随所に１棟或は２棟，或は数棟と建つている。

木造住宅の団地としては，公営として神戸，西宮市（甲東園，門戸厄神），伊丹市，姫路市，赤穂市，西脇市等に見られるが，宝塚，仁川等の各会社開発の住宅地には，新らしい構法，意匠の住宅が沢山見られる。

兵庫県において，多少共，特徴ありとみられるものは，酒蔵であろう。昔は木造であつたが，最近は，鉄筋コンクリート造のものが多い。菊正宗，白鶴，日本盛，大関，松竹梅，白雪等々が増築されている。白鶴の立体流れ作業式は，従来の醸造に対する新らしい試みであり，注目されている。

病院の新築としては，労災病院（尼崎市），公立学校共済組合近畿中央病院（塚口），神戸市民中央病院（布

引），県立淡路病院（洲本市，一部鉄筋コンクリート造伊丹市民病院等がある。なお増築としては，県立各病院の病棟，日本赤十字病院，健康保険中央病院等がある。

特殊なものとしては，円形病院がある。神鋼病院（ドーナツ型），豊岡組合病院（豊岡市）がそれで，殊に後者は平面計画，内部の意匠等によつて，地方の人に親しまれ，好評を博している。また衛生行政の強化から，各所に設けられた保健所建築も，新らしい用途の建築であつて，神戸市内は殆んど，鉄筋コンクリート造，西宮，福良，相生，神崎，北条等の各県立のそれは，木造であるが，平面，意匠等に，新らしい試みがなされている。

市町庁舎の新築も活潑になつて来て，しかも，殆んどが鉄筋コンクリート造という傾向であつて，一種の流行とはいえ，行政の中心となる建物が，災害時，住民の信頼感等から，耐火構造であることは，非常に望ましいことであるから，この傾向は，大いに歓迎されてよい。出来上つたものでは，伊丹，宝塚，赤穂の各市役所，新宮町役場等であつて，工事中のものは，神戸市，高砂市，北淡，南淡，津名の各町役場（何れも淡路）である。その平面は勿論，意匠においても画期的であつて，構法に新らしいものもある。南淡町のそれはP・Sコンクリート造である。

会館建築は，昭和25年位までは，資材統制の関係もあつて，みなと会館，飼料会館，社会事業会館等木造であつたが，煙草会館，自転車会館，真珠会館，水産会館等は何れも耐火構造で，意匠の上においても，大いに注目を惹くものがでて来た。更に，尼崎文化会館，神戸新聞会館，神戸国際会館等々，ホール，劇場をもつた大規模な多彩な内容をもつものも現われて来た。

銀行，ビルディングとしては，神戸銀行，住友銀行の新築の他に，各無尽会社の，組織，名称が共に変つた各相互銀行の新築が，随所に目立つ。神戸市内居留地には他に各種の，いわゆるビルの建設を見ている。

どうしても，派手に目立つのが，デパートで，明石市に一つ，姫路市に二つ新築されたが，百貨店法の施行に当つて，大丸，十合，やまとやしき（姫路市）山陽デパート（姫路市）は増築した。

工場は，名古屋製糖神戸工場，富士製鉄薄板工場，近江絹糸，関西電力姫路火力発電所等が特筆すべきものであろう。

なお，伊丹市と，西脇市に無窓工場が出来た。全部ライトゲージで仕上げられた工場も神戸市内にある。又，小野田セメント会社のサイロと，コンクリートブロック工場も特殊なものとして興味があるものであろう。

倉庫も，各突堤又はその附近に新らしいものが見られる。三菱，名糖，澁沢，森本，辰巳等がそれであるが，又第七突堤上のサイロは，その施工において，移動式仮枠でコンクリートを打ち継いでいつたもので，斯界の注目をひいた。

映画館等は，ますます数をまし，とつくに戦前をしのいで，現在では，300 を数えるに至つた。シネマスコープ，ビスタビジョン等の関係から，規模が大きくなつて来たことと，一つの建物に数個の映画が集められるか，附近にかたまつて建てられる傾向が強くなつて来た。

阪急ビル（三宮），神東会館（新開地），新興会館（加古川）等がその一種で，前者は4，5館集められ，後者は重層となつている。なお，宝塚撮影所は，兵庫県では初めての建築物である。

いつの時代にも，全国的に意匠においてイニシァティブをとつている郵政省，電々公社の建築物は，神戸市内尼崎市等においても，やはり秀でた作品を建てている。

その他のものとして，アメリカ領事館，姫路市の中央卸売市場，戦災都市慰霊塔，阪神競馬場，ゴルフクラブハウス（西宮市，川西市）等があり，また戦後の特殊なものとして，競輪場（甲子園，神戸，明石），中心的商店街の道路上のアーケード，アーチ等がある。

城崎，洲本，有馬には，大きな旅館建築が，次から次へと，増築，改築されていく。がその殆んどが，木造である。

国宝，重要文化財として，鶴林寺，円教寺の修理もつけ加えておこう。

ここに特筆すべきは，国宝姫路城の修理であつて，いよいよ今年から，天守閣の解体に着手する。目下，素屋根を建築中である。

なお，兵庫県においては，現在建築士事務所の数は，1級が261，2級が352であり，又，建設業者で，大臣登録のもの218，知事登録のもの2,879である。

最後に，若い建築家のグループが，数少い乍ら自分達の会合をもつて，シンポディウムに，習作に，ひたぶるな熱情を傾けて，研究しあつていることをつけ加えて，筆をおこう。（1956—11—11）

（筆者　兵庫県建築課長）

× × ×

強くて優雅な
リグノイド床
テックス
フローリング
気光式通風器
責任施工
田辺工業株式会社
大阪市西区江戸堀上通一丁目五　電話土佐堀㊹7437～9

書写山円教寺の古建築

—「兵庫県建築の歴史性と地方性」に関連して—

野地修左

書写山円教寺は一条天皇の永延二年（９８８）性空上人の草創したところと伝え，天台宗の霊場としてひろく知られている。古建築も少くない。しかし不便な山上にあるためか建築のことはあまり知られていないようである。筆者のみるところ，密教伽藍としての大講堂，特異な常行堂・食堂の構成，寿量院の住宅史的意義などの諸点において山内の建築かならずしもみのがし得ぬものと信ずる。ここではそれらの諸堂を簡単に紹介しがてら，与えられた課題のありかをさがすよすがとしたい。古建築研究の一資料として一般の参考ともならば幸である。

大講堂

常行堂•食堂に並列するいわゆる「三之堂」の一つで，七間六面，重層本瓦葺の大堂宇である。寺記によれば，元徳三年（１３３１）の雷火に常行堂・食堂・五重塔・経蔵とともに罹災したあと，元弘二年（１３３２）に復興したものと伝えられている。が，それでは七間二階の大堂がわずかに一年四カ月で竣工したことになつて，そういうことも全然あり得ないことではなかろうが，常識的には多少無理があるように思われる上に，様式上からも疑問の点がないでもなかつた。しかるに今次の修理に際して発見された初層隅繋肘木の墨書銘に

永享十二年申二月十九日組物事始卯月廿六日巳時上畢（下略）

とあり，また上層束妻の扠首束に

奉作寛正三年午辰三月十日始之同八月廿八日棟上（下略）

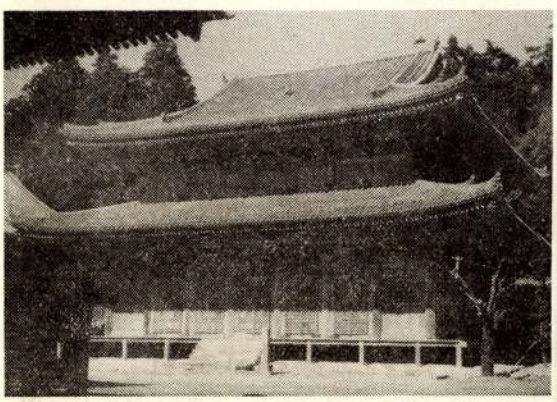
とあるので，これらの墨書銘によつて，現存する講堂の建立は，永享十二年 (1440) に先立つ頃から寛正三年 (1462) 直後にかけての二十数年間にわたるものであることが証される。それでさきの疑問もおのずから氷解するのである。

なお蔭涼軒日錄寛正四年十二月八日の条に

播磨国書写山講堂造営勧進奉加帳。御判被遊也。禁裏様御判有之。守護山名入道証状有之。

とあるが，これでみると，二十数年を要して工事はなお完成をみなかつたことになる。そしてそれが今の姿でもある。げんに二階の腰に腕木を出しながら縁を欠いているのは，這般の事情を語るものとして歴然たるものがある。前面から側面南三間へかけて，当初扉構えとする計画であつたが，これも未完成で，暫時外陣は吹き放しのまま放置されていたと解される節があるから，やがて前面中五間を桟唐戸とし，両脇間を連字窓に改め，両側面前より二間を板壁としたのであることが想測される。外陣に間仕切を設けたのもこれと同時かも知れない。

つぎに平面であるが，とくに天台伽藍独自の構成を有していることは注目に価する。すなわちぬれ縁は前面および両側面の一部外陣に相当する部分にこれを設けているが，これは延暦寺の根本中堂や釈迦堂内に相連るもの



大講堂



常行堂

である。また内外陣を厳重に区劃したことも，内陣の一部が土間であることを考え合わせて，やはり右の中堂の直系かつ無二の様式継承者であり保持者であるというべきである。しかもこの種の遺構中もつとも古いものの一つであることが，他から自身をぬきんでさせ特異づけている点でもある。この意味から天台伽藍の研究には是非とも除外視することのできない資料であることを認めなければならない。

常行堂

大講堂の南に中庭をはさんで位置している。方五間，本瓦葺の建築で，北に桁行十間梁間二間の舞台を附属せしめている。舞台を中門と呼んでいるが，平面構成の類推から，寝殿のそれを移して，東に突き出た部分に当てた名義なのであろう。

その造営年次に関して，寺記には大講堂と並んで，これも元弘年間に建てられたと書かれてい，これがながく事実として信奉されてきたが，小屋組内にみられる墨書銘中に

当堂上棟享徳二年酉卯月四日申時云々

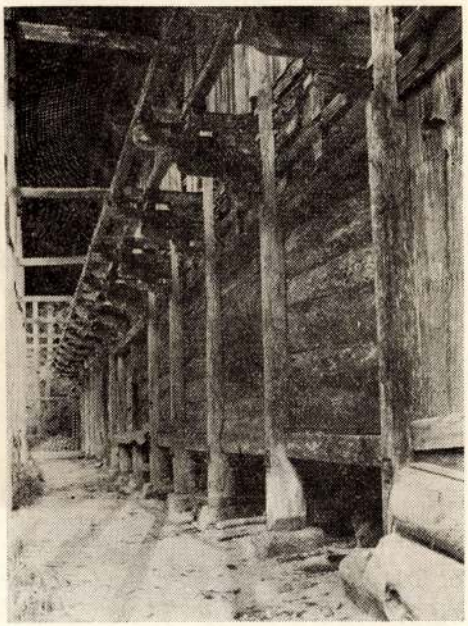
とあつて，その上棟が享徳二年 (1453) であつたことを示している。寺記とは一致しないが，講堂のことに考え合わせてみると，永享十二年の講堂の造営に引き続いて工が起されたことになつて，順序としても矛盾がない上に，両者はその様式を同じうしているのでもあるから，右の享徳二年をこの堂の再建年次とみるのに何の不自然さもない。

さてこの堂の形態的特性はどこにあるであろうか。この問題に関連して最初に考えられることは，冒頭にも指摘したところであるが，舞台を附加した平面にある。ところで，かような構成はどこから出てきたのであろうか。寺記に散見するところからまず読みとられるものは，供養の際の一行事としての能や舞楽の舞台のことである。だが，問題はこれだけの用だけからは，このような構成を意図させるモチーフは出てこないと思う。大講堂を中心に食堂をも含めた「三之堂」そのものの全体的な構想に支えられて生み出されたのに相違ない。私はそう考える。

ついでに主屋の平面についてであるが，仏壇の後に来迎壁が定着してい，一面阿弥陀堂的色彩がこく出ているところに，常行堂の後世的特色がみられることを注意したい。文献によると，来迎壁が定着したのは平安末鎌倉初期の頃かと考えられるが，古い遺例がないから，時代は下るが，常行堂の推移を知る上に好箇の資料ということができる。

細部をみよう。南東の二面には今格子戸を建てているが，当初は蔀とする計画であつたことが長押の痕跡について断じ得られる。格子としたのはいつ頃からであるか明白でないが，裏面の年記中に天文十六年とあるのをみ出すから，一旦入れた蔀を格子に変えたとすると，二十年足らずで変えたことになつて，そういうこともあり得ないことではなかろうが，便宜何かの都合でもあつたのでなければ，常道ではないように思われる。そこで蔀が計画だけであつたというのであつたら，常行堂もやはり未完成のままで，しばらくは講堂と同じ運命をたどつたと推定するほかはないことになるのである。内部の勾欄が他からの転用材であることをみただけでも，その一斑は窺知せられるであろう。

食堂



が，当初の計画が改変されているといつても，それは一部のことで，当初のままでちよつと目につくような細部が二三無いでもない。たとえば，妻飾りや唐破風や懸魚やで，いずれも当時の技法の研究に資するところが多い。

食堂

寺記に暦応年間の造営とあるが，これも従いがたい。建立年次に関連して想起されるのは，北妻の扠首束にみいだされる「天文十丑八月廿日」とある年記のことである。しかしこれは直接関係はなさそうである。というのは，これを棟札に類するものであるとみるのには内容上疑義があるからである。のみならず，天文十年 (1541) といえば延徳四年 (1492) の兵火に本堂と五・六の塔頭を焼亡した後のことで本堂さえもがまだ復興をみていなかつた際のことでもあるから，その間に本堂をおいて食堂の再建が企てられようとも思われないのである。こうした寺運の大勢を考え合わせると，全然造作を欠き，今に半作なのは，わずかに建前を終つたばかりで本堂の災にあい，爾後工事を中止するの止むなきにいたつた結果であることが想測される。そしてそうならば，年次はあきらかでないがまず延徳四年をへだたる遠からざるころの建立と認めて大過ないはずである。その際食堂の復興が他の二堂に優位することを考える理拠はほとんどないのである，と考

えたい食堂の性格解釈から，他の二堂の造営経過をかえりみるときは，それが一層無理でなく容認されるように感ぜられる。しかも以上の推論は様式に照して事実として十分に肯定せられねばならない。細部を三堂について対比すると，あきらかな親近性が認められる反面に，あらそいがたい変化のあとがあり，講堂から常行堂を経て食堂へと移つていく史的推移を否定できないからである。



鐘　楼

堂は二層から成る。桁行十五間梁間四間，軒二重，入母屋造本瓦葺，組物二手，二層の腰に挿肘木（四手先）の持送りで支えられた縁をめぐらす。柱の仕口からおすと，当初は上下層とも前面から側面前方第一間にかけて蔀戸，側面前方第二間板戸，他は，板張りの計画であつたとみてよいであろう。まことに堂々たる偉容である。が，まるで半作で，ためにいちじるしく外観を損じているのはおしい。

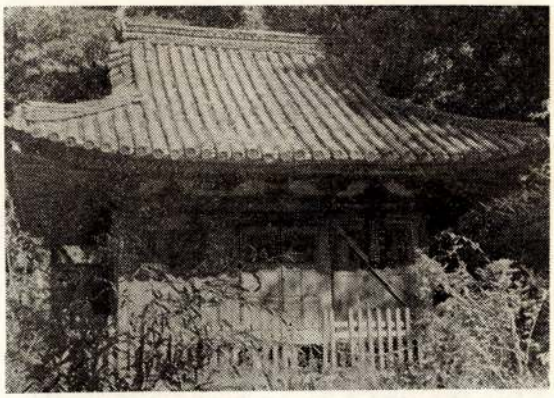
では，この建物の意義がどこにあるかといえば，それはもちろんその構成にある。二階であることにおいて，はたまた規模の大なることにおいて，それが仏堂であるとしてはまことに稀有の存在である。かねて僧房にでも用いられるというのでなければ，さまでの構成はむしろ不自然であるといつてもよいであろう。それについて連想が第一にはしるのは，やはり三ツ堂全体の釣合のことである。と同時に，二階であるところに，食堂本来の用の外に，何か僧房といつた居住的な面を想像してみることによつて，一層うなずけるふしがあるのではなかろうか。とまれこの建築は半作ではあるが，特異な一遺構として注目を逸することができない。

鐘　楼

建立年代は寺記によると大講堂と同じく元弘二年 (1332) の再建とあるが確証はない。形式からはやや下げて室町初期とみるのが妥当のように思う。袴腰のある普通の鐘楼である。各所に後世補修の跡はあるが，姿体は比較的ととのつている。

金剛堂

かつては塔頭寺院に属していた小堂宇で，天文十三年 (1544) の建立であることが，西妻の羽目板の墨書銘によつて知られる。蟇股，組物，仏壇などよく時代の特色をあらわしているが，残念なことに各所に改修の跡がある。亀腹の名残りがあり，正面から両側にかけて縁を設けていた跡があること，側面の開口部も改変を受けていること，せん細な種とみの甲の納まりに見て，屋根はもと檜皮の類であつたと推定したいこと，食堂から発見された天井の廻り縁と板支輪の古材についてみると，様式においても寸尺においても，この堂に照合するものがあるから，天井は弥勒寺と同じ系統の小組格天井であつたと認定したいこと，仏壇が切り縮められていることなどがそれである。



金剛寺

かように，一部に改修もあり，欠損するところもあるが，この種の遺構として貴重なものというべきである。

護法堂

開山堂の前方北側の丘麓にあり，二堂から成る。開山性空上人に常随給仕した乙若（本地不動毘沙門）の二童をまつる。ともに同形式で，春日造，庭をへだてて拝殿と相対し，各堂前に鳥居を建つ。純粋の神社建築である。

永祿二年 (1559) の建立であることが棟札銘によつて知られる。小規模の堂であるが，細部手法にすぐれたものがある。ことに蟇股が美しい。脚内の彫刻は写実風で，室町末期の特徴をよく示しているが，輪郭の方は比較的古調をおびてい，前代の余風さえもうかがわれるように思う。幣軸も古調がある。意識的に古制にならつたのではなかろうかと想像してみたくなるほどである。勾欄についても同様である。

浜床に改修を加えたあとがあるほかは，大体よく保存され，おおむね当初の材を遺存していることは，一段とその意義を増すものである。

寿量院

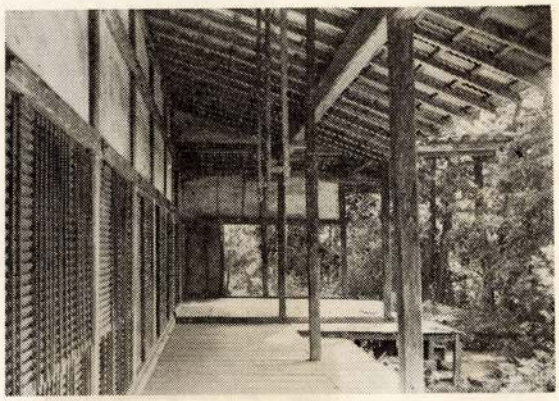
塔頭建築の一つで，仁王門を入つて間もない右手の丘上にある。

護法堂の棟札の一節に

当院起立号無量寿院新地開発之事去天文十七年戊申八月十一日長英四十一歳也



護法堂



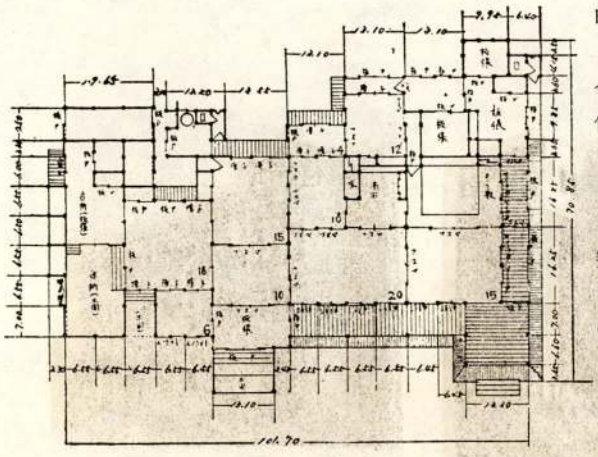
寿量院

とあるので，天文十七年 (1548) の建立であることが確められる。指図でも知られるように，禅家でいうところの方丈と庫裡とを一つの棟に結合した平面をもつている。

方丈に当る部分は禅家のそれとほとんどかわらない。六間形式から成つていること，中央室中に相当する部屋が大室であることも，後に仏間を配していることも，そしてまた仏間の隣りに押板違棚を設けた間のあることも，両者皆同じである。

が，し細に検点すれば，単なる異同以上に興味をひき別種のおもむきを出しているところがないでもない。中門があり，それを表玄関としている点が，その一つである。正面には階を設けて表門と相対し，奥には板唐戸を開いて室内との出入口としているが，昔ながらの中門の位置と姿とをそこにみ出すのである。つぎに中門を入ると，公卿座に当る広縁のあるのがその二である。前面中間の中央二間に蔀戸を建てている——他は舞良戸であるが——ことがその三である。こう列挙してくると，そこに感じとられるところのものは，疑いもなく室町時代の寝殿造だということである。そしてそこにこの建築の一つの意味はあると思う。

以上は表の間の性格に関してであるが，全体としてみれば，先にものべたように庫裡的の諸室が附属している以上，それは方丈と庫裡とをあわせた僧侶のための公私兼用の住というべきである。この観点からしてならば，それは寝殿の庶子ではあろう。しかし同時に子院建築の一類型として，独自の立場を主張し得るであろう。



寿量院平面図

細部にも注目に価するものがある。例えば，押板である。三つあるが，わけても表の間のがおもしろい。地板厚さ三寸二分，巾一尺六寸，高さ九寸三分，間口十二尺二寸（柱心心）の押板を中に，右に間中の違棚を配し，左に間じく間中の戸口を開きながら，対称的に構え出している。それが押板の固定化し形成化していく初原的段階を示したものであることは，説明を加える要はあるまい。

違棚も古制を伝える一例証である。これに二種類がある。一つは上方に袋棚があり，下に地板を設け，その中間やや高目に違棚を造る。まず普通の違棚である。が他は下の地板をやや高くし，地袋を設け，上には袋棚をかまえ，その間に片方のみの半棚を置くめずらしい例である。ともに巾間中で，やはり古い様式と性質とを備えているものというべきである。

板唐戸もおもしろい。全体として手法が古調を帯びているほか，鉄のすかし金具がまた美しい。けだし当代の白眉といつても溢美ではあるまい。

かように見てくると，本建築はこの種の遺構に乏しい今日，貴重なものというべきであるが，床や違棚やその他いろいろの細部手法の例からも看過し得ないものということができる。

以上で重要文化財の指定を受けている建築の大体の考察を終つた。各々それぞれの特質を有しているが，それも内容からみれば，これに密接な関係をもつ天台宗伽藍の領域であり，その地方化であるといえる。形式手法からいえば，奈良や京都やと相連ることまた詳説に及ぶまい。それにしても，叙上の建築は建築史の上で，あらたに注意を促すに値するものがあるということを付言してこの稿を結ぼうと思う。

（筆者　神戸大学工学部教授）

京都の最近の建築について

井手正雄

京都支部



京都駅

京都の建築物で戦後10年間にどんなものができたか，誌上で御紹介申上げることになりましたことは京都在住の私の光栄とするところですが，多少杜撰なこともあるかと存じますので，先ず前もつてお詫びしておきます。

▶さて京都の玄関口である京都駅の庁舎を第一に挙げねばなりません。これは不幸にして大正時代の木造建築物が火災のため炎上し，逸早く復興の意味で新しい建築物ができました。何しろ玄関口のことであり，どんな様式のものを造るかということについて中々議論があつたようでしたが，国鉄の方で規定方針通りもの建物ができ上りました。

初めはあの細長い塔が貧弱に見えて少し変な落ちつかない気持ちもしたのですが，だんだん見慣れるに従つて落ちつき前の広場も整理せられ美化せられるに及んで，充分駅としても立派な姿だと思われるようになりましたまたよくこれを観察すると内部の設備や照明などもよく考えられていて，新しい材料も多く使用せられているなど，この点で成功しているものといえましょう。

▶次はこれは少し西方にできた専売公社京都工場です。これは工場として日本有数のものでありますが，全改築であつて京都としては大規模な建築といわねばなりません。

場所が島原口といつて少し悪く，あまりはえないのは残念ですが，外観の立派なことはいうまでもなくその内部も中々上等でちつて少しも工場らしく見えません。即ち天井は味の素の吸音板張り，床はナラのブロックで，窓はスチールサッシュに複層グラス，色彩はカラコンディションにより，また空気の温度調節もできるし，一流の事務所なみの設計です。便所を覗けば東洋陶器の㊫一級品が附けてあるので，予算の充分であることは事実が証明している。真に羨しい次第であります。

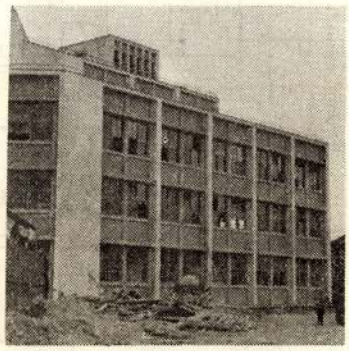
▶次は四条烏丸の角にある三和銀行の支店です。銀行の支店はこの他に数多くできましたが，これが一番大きく代表として挙げさしていただくことにします。白亜の殿



金閣



三和銀行京都支店



京都市交通局

堂といいたい花崗岩張りの立派なもので，町の四角にそれぞれ他の銀行とその美を競つている有様です。これは設計施工ともO組と聞いていますが，オーダーを用いた銀行が少くなつてきたが，このオーダーも最後のもので二本に節約しているところが面白いと思います。内外とも石か大理石テラゾーを張り回してなかなか美しく，従つて，単価も相当高いだろうと聞いてみたら坪当り価格は25万円（？）とかでした。成程と感心したわけです。

▶ところがこれにも勝る坪当り60万円と（南極観測隊の使用するキャンプと同様）いうのがあるのです。（恐らくはこの半分でしよう）京都の西山の麓の金閣寺です。これは不幸にして不慮の火災で燒失しましたが，苦心の募金でようやく再建立となりました。何しろ金箔を張つた金色まばゆいばかりのもので，金箔のために高価に見えるのですが，実はこの金箔は薄いために案外安く，木材の材質の上等であることや漆塗のため高価となつたものでありましよう。昔は第二層は金箔でなかつたという説もあり，今日の如き美しいものではなかつたかも知れないのであります。何しろ有名すぎる程有名であるので絵に写真に多く出ていて皆さんのすでに御承知のところです。

▶少し飛びまして今度は京都市交通局の庁舎を御紹介しましよう。これは今度新しくできたばかりの新建築で，京都における新建築様式の一つ，しかも坪数も大きく堂々たるものといえます。内容はなかなかよいものですが工事にあたつて入札の結果安値で落札した由で，このために別館の二階が増築せられた様子です。しかしこんなことになれば，業者はなかなかつらかつただろうと同情する次第です。京都の西の方に偉容を誇るものでしよう

▶次は同じく立派な近代建築で西北にその新しい姿を表したものとして，貯金局があります。これは近代建築として雑誌にもよく出されているもので，読者もすでに御承知のものです。元三井別邸の立派な庭園を前にして一寸日本ばなれのした建築ですが，これも予算のあるところを見せているものの一つでしよう。しかし西洋建の模倣といいたいところです。

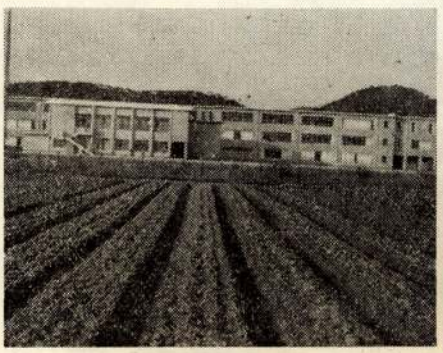
▶さて次は京都の北部へ参りまして上加茂北山の麓にあるノートルダム小学校。これは東山のノートルダム女学校とならんで京都における中小学校の代表です。設計施工ともT社ですが，実は一々シスターの御意見に従つて設計せられたもので，アメリカ臭いものといわねばなりませんが，一度見学せられたらなかなか参考になりますしかし東山のものは山を切り無理をしたので，湧水に困つていると聞きました。

▶次には同志社で大学，中学，女学校（今は高等学校というのですが，同志社は男女別のものが多い）と色々相当沢山の建物を建てて来ました。ここには営繕課があるので何かと面倒をみておられることでしようが，なかなか苦心の跡が見られます。これは一つ一つ設計者および施工者が変つています。何しろ明治時代の煉瓦建の立派なデザインのものが多くあり，この影響もあつて古くて新しい感じのある設計で，なかなかむつかしいのではないでしようか。私の希望としてはもう少しよい質のものを作つていただいたら，更に京都の誇を増すものと思います。

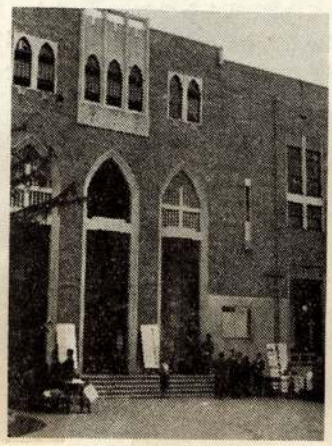
▶次は御所を距てて向うの立命館大学ですが，これも戦後二三の大きな校舎を新築せられました。しかし，これらの建物は，御上手にも上等とはいえない安物ばかりです。

今度また大きなものを建築中でありますが，これは新進のT氏の設計の由，大いに期待している次第です。

▶さて更に電車道路の向い側，京都府立医科大学に移ります。この大学は附属病院とともに実に古い，お話にならない建物ばかりでしたが，大学令によつて最小限度の金を出して建築したものが二，三あります。先づ鴨川に面してコンクリートの化物のような建築物，これは木造より安く坪単価が3万円でできたというので皆の驚きの的となつている。しかし内部の設備は見かけによらぬ立派なもので全く実習実験室本位に建てられた工場なので



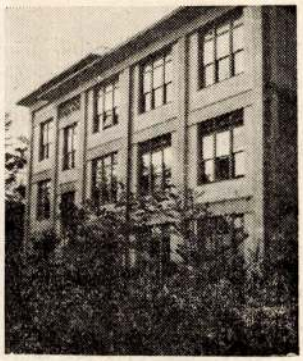
ノートルダム小学校



同志社大学



立命館大学



京都大学湯川会館

あります。またその前にある講堂は1500人を収容する大きなもので，生徒数の少い大学にしては贅沢な存在ですが，学会に利用すために建てられたとか，その内容は仕上材料も近代的なもので全く映画館として京都で一流のものといわれているのは変な話であります。

▶次は京都大学の建築物についていえば，戦後も毎年少しづつ建てられていて，中でも大学附属病院は古く，目下改築工事中で，これはなお数年後でなければ完成しない由，そこで京大では湯川会館を挙げたいと思います。いうまでもなく湯川博士のノーベル賞金の一部と他の浄財を以つて作られたところに意味があり，その設計はM先生のもので，クラシックであるがなかなか立派な，大学の環境にふさわしい建物です。材料も相当高級なものを用いてあるし，仕事もよろしい。ただ希望としてもつと維持管理をよくしてほしいと思うのであります。

▶さて，次は東山の麓にある近代建築として最近落成した専売公社の病院がある。あの場所は名園のある寺の境内で，この名園を損するとの声が高く，やつとの思いで出来上つたのであつた。しかしなるほど予想の通りあの場所に入れるにしては少し大きすぎるので，東山の風致を害することとなりました。また競争入札の無理がたたつてできばえもあまりよいとはいえないので，ともかく無理をしたことがよく判るようです。

▶次は同じく東山に建てられた京都市立日吉ガ丘高等学校で，わざわざ東京の某氏に依頼して設計してもらつたものだそうですが，あまりよいとはいえません。もう一つは同じく東山山科の山に建てられた京都府立洛東高等学校の校舎で，これはアメリカ雑誌のトラによつて設計せられたもの。いずれがよいかは京都の読者の御判断にお願いしたいのです。

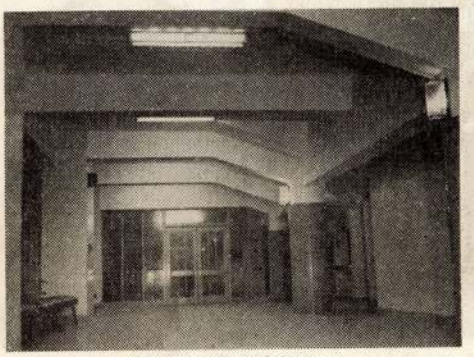
しかしここにわれわれが疑問を抱くのは，なぜこの山の傾斜地にこんな大きな建物を建てるかであり，市，府ともに財政難にあえぎつつまり，切りつめた予算で建物を建てねばならぬのにみすみす損のかかる山地に建てるかを思うと不可思議な感がするのです。即ち政争の具に供せられているのではないか。またこのようなところに家を建てないように緑地帯の設置も考えられているのであるから，府市は進んで風致に関心を持たねばならないのではないかと考えます。

▶次は京都市の真中に戻つて異色ある建築としてアイスパレス場を挙げたいのです。これは旧友K氏の設計で，私は初めから関心を持つていたのですが，不幸にして今では映画館と変更せられてしまつたのであります。

京都のど真中に山のごとき大きな建物としてスパン70米，建坪990坪，延坪2980坪，京都にしては誇とするに足ることはもちろん東洋一と称せられていたので，インドアーの競技場として残しておきたかつたと思います。スケートリンクとして照明はもちろん防霧の設備を有し二度と見ることのできないものであつたのであつたが，アメリカのスケートシヨウを最後に四つの映画館に仕切られてしまつたのは人人の記憶に止まるのみであります。

▶最後に住宅について書きましよう。京都も住宅難のために多くの住宅建設が計画せられ一部実施に移りましたしかしこれらはいづれもばらばらに建てられたものが多く，団地としてすぐれたものはありません。なお東京のごとく特別のものもありませんので，比較的大きなものとして京都市の山科の勧修寺団地の住宅を御紹介します。これは敷地8000坪で都市計画とともに合せて考えられた団地です。戸数は250戸，この種のものでは大きいものといえましよう。これを作るについては京都市は大きな犠牲を払われているので，まず農地を宅地に変更するには東京へ何度も何度も足を運ばなければならなかつたし，敷地購入や道路の建設，水道ガスの引入れなど多大の経費を要しているわけで当局者の苦労に敬意を払う次第です。

（筆者　井手建築相談所所長）



京都府立医科大学講堂ロビー



京都府立洛東高等学校



1

A：平安朝以来歴史的にみて，建築家にとつてよかつた時代というのは……。

B：やはり平安朝時代でしよう。京都創建以来非常に立派なものが建つております。現在のは後の再建ですが，東寺を始め，三十三間堂，醍醐寺，それから宇治の平等院の鳳凰堂のごとき，あれなんかも非常に立派なものですね。

A：延暦寺の講堂が最近焼失してまた一つ有名な建築物が失くなつたのですが。

B：あれは徳川時代ですよ。頭でっかちで形はあまりよくなかつたですな，プロポーションは。

A：京都の現在の建築の性格というようなものは……。

B：そういう歴史的な古文化財が沢山ある中に，外から新しいものが入り込んでくるという形で，古さと新しさがまじりあつていますね。新しさの中にはよいものもあるでしようが，一般的にはあまり消化されてないのが多いようです。

A：京都に城があるということですが，二條城が出来たその当時において，京都に城をつくつたということは何か異質的なものが入つて来たような感じじゃなかつたでしょうか。

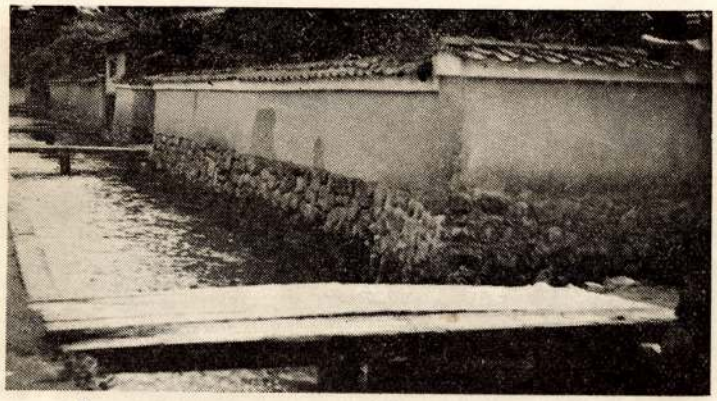
B：徳川の威圧の一つの道具としてではありますが，しかし明治のあの大政奉還の時には，京都府の事務所といいますか今の府庁の代用品に使われたりしましたし，第一戦争のための城じゃないでしよう。だから書院があつたりして……。名古屋城にも書院がありましたが焼けてしまつて，結局残つているのはこれだけになりますから大変貴重なものですね。京都の書院造りはプランがとくに残つているからいいですね。こういう古い所にいろいろ新しい異物が出てきて，それが両立しながら同化されてゆき，そして新しいものにも京都的性格が次第にメッキされて行くという感じですな。これはもちろん為政者の建築だけでなく庶民の建築，町家全体の問題です。

A：しかしこの京都的性格というのはどういう所にあるんですかね，感覚からいつて。

B：建築というのは，個々のものがいいという場合ももちろんありますけれども，一つの建築のグループですね。あるいは街並とか，そういうものが雰囲気を醸成して，そこに京都らしさというものがあるんじゃないでしょうか。例えば，祇園町，先斗町の細い道路，これなんかも石疊であつたのがアスファルトになつたことは残念だと思いますが。また木屋町筋の美しさといつたようなものは，川の汚いのは別として，もつと地元の人が尊重すべきもんじゃないか，再認識して行かなければならんのじゃないか，こう思うんです。

A：それは例えば街並を昔のまま残す，パリーなんかじやそういうことが政府の手でやかましく行われていますが，京都でも西陣あたりとか中京辺で残してほしいと思いますね。

B：そうです。麩屋町御池下つた附近で，祇園祭の時は提灯立てがずつと並びますが，ああいうところに非常に〝京都だな〟つて感じがしますね。しかしどうしても社会経済状態に左右されて。祇園祭の鉾でさえ松原を通らないで御池を回る。昔は松原辺の商家は格子を全部はず



2

して屏風緞通で飾り，奥の庭先まで見えるようにしたあの風情ですね。ああいうものが経済状態の変化と観光という面のクローズアップにつれて失われてしまつた。確かに今は狭いところを無理して通らなくてもいいじゃないか，といつたことになるわけです。

A：経済状態の変化といいますと，お寺なんかがどんどん化けていきますね。この間もビルの屋上から見て驚いたのですが，お墓もずいぶん食われていますよ。

B：いや食われるのではなくて食うためでしよう。

A：具体的なことになりますが，近頃郵政の建物と専売公社の病院とが京都の名園の中につくられましたね。とくに病院の方は大分騒がれたようですが……。

B：ああ，京都地方貯金局は新町頭の後藤祐乗の邸園ですか。この建物自体はもちろん，庭園の保存，調和，さらに周囲の家々の屋根との対比など，悪くないですし，また妙法院の庭園にできた専売公社病院も，問題になつただけ苦心も払われていると思います。しかし，これら個々の建物がいかに配慮されているといつても，全体として考えればやはりこんな具合に一つづつ保存したい古さの中に建築されてゆくということはどうですかね。少くとも東山，西山の一帯はそつとしておきたい……，ということになると結局また経済問題になるでしようが。

A：文化観光都市法が定められたように，建築基準法の他にも京都，奈良のような街では特定の地区の現状を変更する場合はそこの建築審議会といぅたような機関の許可を受けるようにする必要があると思います。都市計画法の現況をもつと広く拡大して，これはできますね。結局これが一番近い方法じやないかと思いますが……。

B：できそうに思いますね。ただ経済状態の問題がありますからそのまま保存しておけ，ということは無理なんで積極的に地域を指定して補助するなり，所要地域をとくに保護する努力がなかつたら駄目です。

A：最近京都の市民憲章ができましたが……。

B：あれに建築の項目を入れて貰うのがいいですね。

A：どの辺に入るかな。「街を清潔にしましよう」というところに入るのかな。

B：〝清潔にしましよう〟より〝俗悪から守りましよう〟それにしても歌い文句だけでは駄目ですね。

A：メイン・ストリートでも，戦前の京都と，戦後の京都とは非常に変つたという気分がするのですが，どういうところが変つたでしょうか。

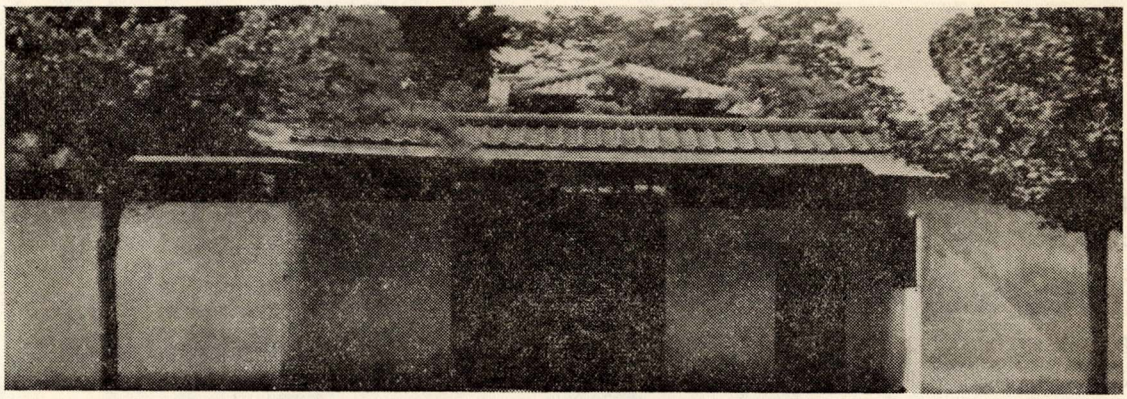
B：河原町通は実に変りましたね，アーケードができてから。便利はいいけれど京都人としては非常に淋しいですよ。家並の美しさはアーケードで遮断されちやったですね。家並の美しさという点でとくに考えられることは昔の家は屋根より軒が深くて3尺とか4尺とか引込んでいて，雨が降つときなどは下を通つたら濡れないですんだ，ふだんは丁稚車の置場にしてありそこに上店があつて，今のアーケードの役目を果していたわけです。ところが今は観念が非常に変つたのかも知れませんが，街路に面して建築する時，前面に余裕をとるどころかまだ歩道まで乗り出そうとするなど…，頭を疑いたくなりますよ。

A：京都でまず大切なのは玄関口の京都駅ですね。戦後の代表例としてどうでしよう。

B：〝駅前〟は京都は割合にすつきりしていますよ。ただ国鉄が全国画一的な考え方から京都の特異性を認めてないような駅をつくるのが第一間違いでしてね。これは建物自体の良し悪しではなく，環境にマッチするかしないかの問題ですが……。その点保津峡の駅なんかちよつとうれしい。

A：話は変りますが，次に他の工芸美術，例えば金物，襖の引手類とかいつたような方面，とくに京都の誇り得る建築と非常に関係の深い工芸品について，どうですか

B：さあ……。表具といいますか表装，ああした技術は京都らしいものの一つですね。それに屏風だとか襖，こ



3

れはどうでも建築と結びついていていかなければならないし，また，金物細工では襖の引手，社寺の飾り金物などですか。それから漆や陶器もそうですが，こういう工芸と建築の結びつきの深さですね，それがなかなか維持できないし，また安建築には使えないという面があるわけでして，そういうものをとくに振興していく必要があります。それからつりがねなんてものもお寺の多い京都の特技の一つじゃないですか。表装の裂地，それに金襴ああしたものは建築と切り離して存在し得ないものですね。利用面からいつても。直接建築とは関係ないかもしれませんが，いわゆる民芸と称するもの，また外人向の店に出ている工芸品ななんか，あれはおよそ京都的ではないですね。ゲテモノの下の下とでもいいますか……。もちろん本物もあるでしようが……。

A：素材も豊富ですね。

B：素材といえば，北山丸木，竹はもちろん，布や裂地紙，紙と日本建築とは切つても切れない仲ですね。紙は京都ですくというものではないかもしれませんが……。もう一つの特色は土ですね。聚楽の壁，これは京都独特のものです。それから最近出なくなつて残念ですが白河石，竜安寺の庭に敷いてある白い砂なんかは白河砂です。あれには御影石の赤味というようなものは全然ないわけですから。

A：庭園で思い出しましたが，疏水ができてから京都の水は琵琶湖から入るようになつた，これは現代への大きな転換期ですが，昔から京都の庭園における水，さらに京都の街と水の結びつきは深いですね。

B：最近桂離宮の方は，桂川の水位が下つたため非常に水が汚くなつて残念ですが，元々京都は大変水に恵まれているんです。上加茂の社家町の土塀の前にせせらぎが流れている，鴨川の西岸にはみそそぎ川が床の下を流れている，高瀬川も今は汚いがせせらぎである，これを技術的な面で美しくしていくというのがわれわれ京都人の仕事じゃないかと思いますね。あれを暗渠にするといつたようなことを土木や交通関係方面ではすぐいうんですがあれなんかはむしろ水を美しく流して見せて，その建築とのハーモニー，そういうものを，単に庭園の中にとり入れられた水だけでなしに，街並の美しさをそこに見出していつたらいいんじやないかと思うんですが……。

A：水の建築に山が入れられますね。

B：山の線，木の線ですね。最近はアーケードを造るのに街路樹を切らずにやる方法がとられていますが，なかなかむつかしいですな。

それから，後まわしになりましたけれど，京都で最も注目される建築の様式として数寄屋づくり，これは東京方面にある武家づくりとはすつかり違つており，実に誇るべきものだと思います。名古屋あたりでも茶道は普及していますが，建物自体は誠にやぼったいものが多いようです。その数寄屋づくりが近代性を帯びて，東京を始め全国的にモダン数寄屋ですね。少しいや味のある待合形式にまでなり下つていますが，しかしそういうのも一面ではやはり京都の良さが地方へ進出していつたということがいえるんじゃないかと思いますね。そういうモダンな形態の数寄屋を創められたのは京大の故藤井厚二先生じゃないかと思います。京都でスタートした近代の数寄屋，ことに腰掛け生活との融合ですね。これらは皆京都からオリジンが出ているわけです。

A：それとともに，まあ土なんかは京壁として全国にゆきわたつておりますが，その他の素材，工芸品などほとんど表面を上滑りしまして，もう少し堀り下げてもらつたらなお生きるんじゃないか，これはむしろ京都の建築家がどんどんあつせんして協力しなければならんことだと思います。京都独特の，あるいは純日本的な素材を使つたもの，これは京都の建築家がもつと自覚して努力せんといかんところですね。

B：余談になりますが，辻留さんが東京に進出して店を

もたれた，それでかえつて地元の京都では何かのチヤンスでもない限りなかなか食べられない，ということ。このように京都の建築のよいところがもつと東京を始め各地方に進出して一層発展するようにしていかなければならないのではないでしようか。これは建築家の〝責任〟というより〝努力〟の問題ですね。

A：これは京都の建築について結論みたいになりますけれども，一般的にいつまで見ても飽きのないところにやつぱり良さがあるんじゃないですか。

B：意欲的だとか，とくに何かを表したいというのでなくて，いつまでたつても飽きのこない，何ともいえない〝よさ〟，そういうところに京都の建築の特色があるんじゃないかと思います。これは形や色だけでは表わせない永年つちかわれた伝統，リファインされた非常に奥深い底流というか，一つのバックボーンが通つているからでしよう。

繰り返えしますが，建築というものは聚落性というか環境というか，一つ一つ独立して存在するものじやないと思います。茶席のようにポツンと一つあつて非常に良いものもあるし，寺院のようなものもあるでしよぅが，これらとてそれぞれの環境をもつているのであつて，まして一般の街の建築はそれら相互でつくられる環境というものが重要なわけです。やはり家並が揃つているということは，結局経済面でも健全にバランスがとれているということですね。洋風建築の場合でも，その機能がいかにあろうとも，プロポーションであるとか，材料の美しさであるとか，集合の美しさとかいつたものが残つております。ギリシャ，ローマ以来の伝統があるわけですね。すなわち〝京都の良さ〟，そういうものはいつまでも残していき，時代にマッチしてモダナイズしていく，そういうふうに指導していかねばならないと思います。

A：最後に京都の色については……。

B：街全体で，空の色と樹の色と屋根の色，山の色と水の色と建物の色，それらの感覚に京都らしさがある。そういう面にも相当多くのファクターがありますね。東京ではトタン屋根，ストレートなどのものが多いが，京都では瓦屋根である。この瓦屋根には色彩的にも京都らしさがあふれています。大阪の空と京都の空を比べてごらんなさい。灰色の煙霧の下の景観と，緑の山に囲まれ，木々の緑をちりばめた美しい瓦の並びの空との対比を。屋根の形と勾配，妻や軒のリズム，起伏する瓦の流れ……。

A：パリーは屋根の下で有名ですが，京都は屋根の上で有名ですか。

B：そうですね，これはいい。

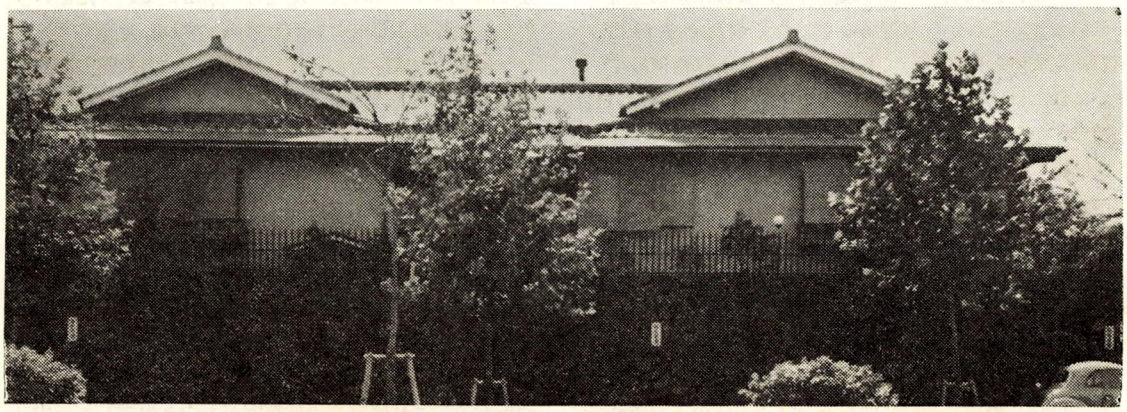
A：〝パリーは屋根の下，京都は屋根の上〟ですね。

（筆者　京都大学助教授）

写真説明（写真撮影岩田嘉夫氏）

①京都の顔―東山をのぞむ―
②上賀茂の社家町―築地塀と流れ―
③故藤井厚二先生の遺作―中田邸の入口―
④自作―柊家旅館のプロフィル―

4



技術講座

禅宗の伽藍配置について

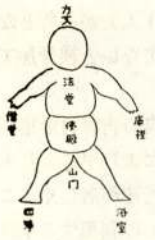
附（大唐金山寺縄張絵図）の事

北尾嘉弘

禅宗の伽藍配置に関し，工匠間の口伝として，小生の聞き及んでいることを少し書いてみます。

伽藍の建物としては，方丈，法堂，仏殿，山門，僧堂庫裡，西浄，浴室，の八棟をいい，伽藍全体を人間一人の身体と見なして，これを人体の各部に配します。

即ち，方丈—頭，法堂—胸，仏殿—腹，山門—陰部，僧堂—右手，庫裡—左手，西浄—右脚，浴室—左脚，とします。



この人体図は頭を北にして安楽に仰臥した状態を示し，釈尊の涅槃像を模したものです。

もちろん北枕で寝ることは，北半球では次の二ツの理由によつて最も自然な体勢であり，従つて仏教の教理にも通じるというわけです。

その第一は，磁針がいつも北を指しているのでも分るように，地磁気は絶えず南北の方向に流れており，これに従うように身体を南北に横たえると，目には見えないので，あまり気がつきませんが，磁気が身体を横断せずに貫通しよき影響を及ぼすこと。

その第二は，南北に身体を横たえて，頭を北に置けば当然脚は南に向き，頭を冷たく足を暖かく保つことになり医学上保健上最適の状態になることです。

このように，この人体図の上部を北としてみると，各建物は南北軸を中心として配置され，南面することになります。

次に，人体各部と配された各建物の機能の関連性を考えてみますと，方丈は，「主人住所也」と，あるように伽藍の支配者の居処なので，首位の頭部に配置してあり法堂は説法所として，各人の心を揺り動かすようにと胸部に置かれ，仏殿は，朝夕礼拝所であり本尊のおられる伽藍の中心なので腹部に，山門は，上下出入所として陰部に配されたわけです。

▶以上で数的なことは抜きにして，禅宗の伽藍配置についての一つの考え方を，簡単に述べましたが，参考に，この文章に引用しました人体図が載せてある「大唐金山寺縄張絵図」，また別名「禅宗伽藍建法」について少し書いてみます。（参考，この本は東北大学横山教授により「禅文化」昭和31年4月号禅宗建築随想（一）の中にも，書名を明らかにせず一部紹介されています）

この書は，徳川末期頃（あるいはそれ以前）にもすでに，禅宗建築に携わる大工の印可証であつたらしく，筆者は，森丈助藤原某となつています。（小生の手元には文政13年と書いたもの一巻，万延元年と書いたもの一巻あり。）その内容は

緒言;禅寺之七堂;七堂本尊；各建物の木摧（図あり）;あとがき

となつています。

緒言は「原夫，大唐金山寺者四角四神相応霊地也」に始まり，続いて各建物の配置を述べ，「此外鐘楼，鎮守総門，唐門，六門等作形精記左之図加木摧也。見者以是参考之，云爾」で終つております。

禅寺之七堂は，前述の人体図に次の説明がある。

法堂説法所也　仏殿朝夕行事所也　山門上下出入所也
僧堂坐禅所也　厨庫（大ヲ厨庫ト云フ）食取所也　方丈主人住所也
浴室風呂屋也　西浄不浄所也。

七堂本尊は

法堂文珠大士;仏殿釈迦弥ロク阿弥陀;……;……;鎮守天照皇大神稲荷大明神。

次に，各建物の木摧となり挿図とともに次の順序で説明してあります。

惣門，小門，浴室，西浄，山門，山廊，大庫裡，僧堂，金山寺様三間仏殿，法堂，鐘楼堂，向唐門，方丈，衆寮，小庫裡，玄関門並雲花門，

次に

中華後世之五山亦本朝之五山五間仏殿五間山門也　準之諸堂門々右図木摧等寸間増補有之所記左也

とあり，配置図が書いてあり次の順序で又木摧の説明が続いております。

浴室，西浄，五間山門，厨庫，僧堂，五間仏殿，法堂，方丈，衆寮，小庫裡，鐘堂，惣門，唐門，六門

これで木摧は終つております。

次に，“あとがき”という順序で完結しております。

（筆者　伸和建設株式会社）

和歌山市における襖材について

竹本説夫

和歌山支部

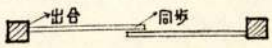
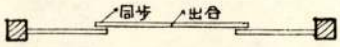
1. 沿　革

襖は唐紙障子または単に唐紙ともいわれ，木材により組格を作り（これを骨といわれる），これに両面より紙を貼り周囲に漆塗をなしたる縁をめぐらし引手金物を嵌打して襖となすのが普通であります。従つて襖ができるまで組格を作る骨屋と漆塗りをなす塗師屋と表具師との仕事で成るわけでありますが，和歌山市においてはこの中，骨屋と塗師屋が特殊な発達をなしております。この骨屋の仕事は骨を安く製材することが重要なる要素となつており，また仕事の工程が一般建具等に較べて製品が規格化されておりますため，きわめて簡単であるから工賃が非常に安くなるので，職人１人当り相当の原材料を消化しなければなりません。骨屋職人３人に対し１台の製材機（腹押１人向取１人横剪その他雑役１人）が必要となるため，小割製材業の発達したところでないと襖骨加工組立業は成立たないのであります。

和歌山市は古くより紀の川により奈良の吉野材を集荷する便と，もともと紀州，木之国の林産により早くより木材の集散地であつたので原木製材業の発達が著しく，これに伴い廃材としていた脊板（タンパ）の利用する小割製材業が発達したのであります。これに加うるに新義真言宗の本山根来寺の僧兵達により創められた漆塗りが織田信長の根来寺攻めにより僧兵が黒江に逃れ，ここに黒江塗りが始められたのであるが，この漆の塗方は湿気乾燥であるため高温多湿な和歌山の気候に適したので著名な黒江塗が発達したのであります。小割製材業および漆塗りは以上のように何れも自然に恵まれた立地条件によるものであるがこれ等が原因して襖材の製造が盛になつたわけであります。しかし近代的に工業化した直接の動機としては明治39年和歌山市に製材機を据付けられたのに始まります。これよりさき，明治28年和歌山刑務署に製材機を据え入獄者に製材せしめる計画が典獄によつて企劃されたが，当市在住の木挽職が今でいう生産性向上反対運動（？）を起し紛争をしたが解決がつかないので，県会議員志賀方立正氏が調停者となり刑務署の計画を流産せしめたのであります。

こんな経緯もあつたものの一度円鋸が据付けられるや急激に工場数が増え，小割製材による建具戸障子の框および襖材資材の生産が上昇した。しかし当時は脊板を釿はつりしていたのを板挽に採りこれを罫引で割りて襖骨

襖縁1本分の規格・数量

名称	見付	見込	数量	名称	見付	見込	数量
縦縁 出合（デアイ）	7分	8分	1	横縁 上桟	9.5分	6分	1
同歩（ドブ）	7分	7分	1	下桟	7.5分	6分	1
摘要							

襖骨（格，組子）材質は杉に限る

種類　3分子，4分子，上4分子，中抜（ナカヌキ），相中（アイチユウ），力子入
隅板入

並4分子1枚分の規格・数量

名称	見付	見込	長さ	数	摘要
框	6.5分	6分	6.6尺	2	㋑3分子は中子見付3分見込粗木
立子	4分	5分	6.6尺	3	㋺上4分子は框見付7分中子正4分
横子	4分	5分	3.3尺	11	見付見込共上鉋仕上
打子	7分	6分	3.3尺	2	㋩相中は中子見付見込共正6分鉋仕上
引手板	4分	5分	8寸	1	㋥中抜は一部障子が入る

㋭力子入は立子1本横子2本見付見込大なるものを用う
㋬隅板入は四隅の組子中に隅板を引手板のように入れる
㋣上4分子以上，上等品はすべて框に紙の貼りやすいように「返り」を付ける
㋠打子とは上下桟の受けとなるように上下の框のことをいう

および縁を生産したのであるが，現在ではさらに罫引することなく円鋸で非常な速度で小割しております。これは他地方で真似ることが難しい技術を要することで，他地方では今なお罫引割しているところがあります。あるいは帯鋸で挽いているところもありますが，帯鋸の方が歩留りが良く材料としては経済的でありますが，工賃からいえばかえつて大きな損失となるそうで，和歌山では専ら円鋸でやつております。

2. 市場規格仕様（襖縁）

材料は一般に杉，檜，黄肌，桑などにて杉は柾目縁，白太は塗下地，檜は主として塗下地，黄肌はクロム酸色付朮仕上，桑は朮仕上にて最高級とされている。

「襖縁1本分の規格・数量」，ならびに「並4分子1枚分の規格・数量」は上表のとおりである。

3. その他

取引単位は縁は称呼丸，1丸は40枚分，骨は称呼束，1束は8枚分，バラ（不組立）1束は24枚分，出来高は普通職人1人1日骨組立4束（32枚分）バラ8束，縁は2丸（80枚分）。一般に次の現況に見られるように零細企業であるため朝早くより夜遅くまで一生懸命に餓鬼のように仂くので，和歌山では組格（組子）のことを餓鬼骨という。

4. 現状

骨製造業者75名，職人120名，縁製造業者35名，職人80名，塗縁業者115名，職人90名，総計515名，1ヵ年生産高骨縁とも 約2,000,000枚で，本年は戦後最高の需要に活気を呈している。因に昭和12年より19年までの間はわが国生産量の90%以上を占めておつた。

販路は関西方面38%，東京方面25%，中京方面10%，北陸方面5%，中国方面6%，四国方面5%，その他県外5%，県内需要はわずか1%に過ぎない。

縁としてはカシウ塗50%，漆塗10%，木地縁15%，代用漆25%である。

なお往年セイカのあつた和歌山建具も襖同様の立地条件から今なお隆盛ではあるが，戦前のように尺腰，床屋あるいはお多福といつたような規格の決つた受註が非常に少くなり，別註文製品が主となり，いわゆる仕入建具の性格がなくなりつつあります。例えば紙貼障子にしても以前のように紙の規格に捉はれない組子割のものが多く望まれてきております。1半（イチ），間中（マナカ）の大きさおよび仕口は変らないが，意匠の好みが材料の豊富になつたことと相俟つて，昔の和歌山建具の面影が消えつつあります。

（筆者　和歌山公共職業補導所長）

中国地方における戦後の建築情勢……葛西重男……

中国支部

日本における戦後の建築は歴史的に見て大きく一時代を劃したといえる。勿論中国地方もその一環としての役割を果しているわけではあるが，建築は質においても量においても人口に比例するのは当然で，従つて中国地方の建築の概要も人口の分布状況から大体は察せられるものと思う。ただその中で一つだけ幾分特異に感ぜられる存在は広島の姿であろう。即ち広島が原爆によつて壊滅し，平和記念都市と銘打つて再建されるに当り，建築的にもそれが試験台となつた感のあることである。このことについては別編で具体的に触れられているので，順序としてもつと広い視野から表題について考察を進めて見る。

A．終戦後の応急対策

戦時中瀬戸内海沿岸地帯は重工業地帯であり，広島と呉は軍都としてそれぞれ陸軍および海軍の根拠地であつた事実から，因果は人類最初の原子爆弾を広島に見舞わせたのであつた。かくして広島，呉が焼土と化した他に岡山，福山，岩国，下松，光，徳山，宇部，下関等，主要の都市は戦災を被り瀬戸内海沿岸の重工業工場は殆んど壊滅してしまつた。これはいづこも同じ日本の敗戦の姿であつたが，その結果として先づ必要とされた戦後の応急対策は，(1)応急住宅　(2)進駐軍の施設　(3)工場の修復と平和産業への転換であつた。

(1) 応急住宅

応急住宅については各都市に旧軍用地や公有地を利用して粗末な木造家屋があまり将来のことは考えず，十年もすれば本建築へ移せるものという位な考えでどんどん建てられたものである。広島市でいえば旧西練兵場跡の基町に数百戸の住宅が平家で２戸建や長屋の形に建てられた（**写真１**）。この他に至る所の空地に勝手に造られたバラックも少くなかつた。これは家と名づけられない程ひどい粗末な小屋であつて，これらは戦後11年の今日もなおスラム地帯として残り，都市計画上の癌ともなつている。かくしてできた応急住宅はその後居住者が勝手に物置や風呂などを増築する位は普通で，中には部屋を

建て増して住居を拡張し，あるいは商店をかまえ，家内工業を営むものまで出現した。先年の鳥取の大火をあれ程大きくしたのも実にこの種の粗末な応急住宅が防火地帯であるべき河堤地帯を塞いでいたからであつた。

また各都市の駅前附辺には所謂やみ市が誕生し，あやしい女まで出沒したが，これがまた屢々火災を起し都市計画上にも支障となつた。広島駅前について見ても三度同一箇所が燒失し，その都度立ちのきを迫られても，相変らず一夜の内にバラックが建てられてしまうのであつた。終戦後は何処の都市でもこのように駅附辺にバラック商店街ができたが，今も広島，岡山等早急に手のつけられない状態にあり，しかも火災の危険度の最も高い所である。しかしその割合に火事の少いのは終夜営業をやつている為と思う。このような事情の中で福山駅前はこの地方では最も早く整理された例であり，尾道，三原，徳山，下関等比較的整理のできたものであるが，その他はまだ未完成の状態に残されている。

またこの応急住宅の一つとして戦時中の工員寮を改造して集合住宅としたり，また解体して都市の中に移し集合住宅や学校等に改造したものも少くなかつた。

(2) 進駐軍施設

中国地方においても殆んどの主要都市に大なり小なり進駐軍の設営がなされたが，最も大規模なものは呉地区と岩国地区とであつた。これには取りあえず使用できる旧日本軍施設を改修したり設備を加えて使用されたが，また大量の建築が短期間に新築されなければならなかつた。このため終戦直後の物資の不足の時において一般大衆の建築へ大きく資材難を齎したが，一面において戦後の土建業界をうるおす結果ともなつた。

またこれと平行して進駐軍将校の宿舎として庶民住宅のうち比較的程度のよいものが多数徴用され，住宅難に拍車をかける結果となつた。旅館もまた一部合宿所として徴用された。これ等の建物は丁寧に心して原形のまま使われたものもあつたが中には大改造をしたり床柱までペンキで塗り立て甚しく改変されたのも少くなかつた。かくして徴用された建物はその後駐留軍の引揚や縮小に伴い漸次返還されて行つたが，これに伴う補償の問題は一切を呉地方調達局で処理されている。

現在では呉地区，岩国地区，米子地区の他はほとんど返還され，代つて保安隊の陸海空に亘る施設が海田市，呉，江田島，小月，出雲等に出現した。

(3) 工場の修復と平和産業への轉換

戦時中瀬戸内海沿岸にあつた重工業は例外なく空襲により壞滅したのであつたが，戦後平和産業への転換が先づ考えられなければならなかつた。東から言つて岡山南

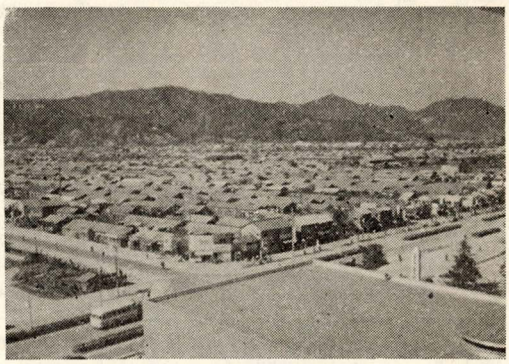


写真1. 広島市基町の応急住宅

部に未完成だつた三井造船は繊維及化学工場に転換，水島，玉島も三菱その他の会社でオート三輪やディーゼル等の機械工場と変り，呉工廠は民間の手に移つてＮＢＣ播磨造船，日亜製鋼等に変り，広の軍事工場も各種民間機械，化学産業へ移された。広島東部は日本製鋼，東洋工業等の機械産業，大竹海軍燃料廠跡は日石その他の石油工業へ移され，その他柳井以西の多数の重工業もそれぞれ平和産業へ転換されて行つた。玉の三井，因島の日立等の造船所を始め各地の繊維，化学，機械，セメント等の諸工場，また山陰のパルプ，繊維，化学工場等何れも戦災を修復して戦後の新体制え切替えられて行つた。これらの設計は会社の設計スタッフと他民間事務所の手によつてなされたものである。

(4) 都市計画

世界大戦の悪夢，その犠牲は大きかつた。しかし日本の大部分の都市が灰燼に帰したために大規模な都市計画の機会を与えられたことは不幸中の幸ではなかつたであろうか。中国地方の各都市もこの戦禍のお蔭で大規模に都市の改造が実施されて，近代都市としての面目を一新する機会を得，しかもその実現が比較的容易であつたことは有難いことであつた。しかしこの都市計画も今にして思えば色々憾みとするところが少くない。それは主として道路と空地を造ることの都市計画に過ぎなかつたからである。土木的都市計画であり，建築的都市計画でなかつたことである。戦後早々の際に短時日でまとめ上げた都市計画には多少の不備は免れないとしても，次のような点に不満が見出される。

(イ) 地域制に対する面積検討の不充分

(ロ) 緩衝地帯の欠除，例えば工業地域と住居地域の接触による問題

(ハ) 公共建物の位置を予定していなかつたこと（庁舎学校，公会堂，病院等）

(ニ) コンミュニチーの考慮のないこと

このことのために学区の混乱を来し，県庁舎などの敷

県名	面積 (km²)	人口 (人)	市数	市の名称	登録建築士数			登録土建業者数			戦後現在迄に建てられた住宅	
					一級	二級	計	大臣	知事	計	戸数	坪数
岡山	7,075.5	1,689,800	12	岡山.西大寺.玉野.児島.倉敷.玉島.笠岡.井原.総社.高梁.新見.津山.	246	782	1,028	33	993	1,026	54,602	1,279,000
広島	8,424.0	2,148,000	11	広島.福山.松永.尾道.因島.三原.呉.大竹.府中.三次.庄原.	867	1,667	2,534	80	1,550	1,630	104,105	1,597,911
山口	6,082.6	1,610,000	13	山口.岩国.柳井.光.下松.徳山.防府.宇部.小野田.下関.美弥.長門.萩.	375	977	1,352	38	1,504	1,542	36,629	476,177
島根	6,625.5	929,066	8	松江.安来.平田.出雲.大田.江津.浜田.益田.	176	596	772	15	737	752	16,238	323,829
鳥取	3,488.5	614,259	4	鳥取.倉吉.米子.境港.	42	91	133	26	296	322		
計	31,696.1	6,991,125	48		1,706	4,113	5,819	192	5,080	5,272		

中国五県建築情勢（昭和31年1月～10月現在）

地決定に際しての混乱（岡山県庁舎の例），建築審査会に附議し除外例として取扱わなければならない建築申請件数の多いこと（各都市），地域制の変更を余儀なくする場合（広島市の例）等がある。

都市計画がも少し建築的に考慮されコンミュニチーを考えて学校や公園の配置を決め，都市全体の関係と将来の発展を考えて予め市役所や県庁その他主要建築物の敷地を予定してあり，飛行場の騒音も考慮して学校や病院の位置を決め，市街の交通網を考えてバスターミナルの位置まで都市計画の初期に建築的構想が盛られていたならば，復興はもつとスムーズに具合よく行つたものと思う。このように中国地方の各都市とも都市計画には色々拙い点が発見されている。しかしこの様な欠点はあつても普通ならば到底できなかつたであろう大都市計画が実施できたことによつて各都市とも相当に整然として来たことは認められる。また戦前には広島においてさえ三階建以上の鉄筋コンクリートの建物は十指を屈する程しかなく，その他の都市においては尚少数であつたので，区劃整理に際し永久建築物を取毀した数も少く，移転した例はなかつた程である。

B．最近の建築情勢

(1) 都市一般の情勢

人口は全般的に膨脹を示し，町村合併により現在中国地方の市は**上表**の如くである。

建築の量においては勿論住宅が筆頭で，年々相当の戸数が建設されているけれども尚かつ住宅難はほとんど緩和されているとは思われない。市中や近郊に三階四階のアパートの見える風景は日本全国どこへ行つても見られるが，個人住宅は木造平家で小さいおもちやのような家が所狭しとひしめき合つているのが現在の姿である。また構造からすれば鉄筋コンクリート造は次第にその率を増し，ブロックの家も増加して農村にまで波及しているが，後者は他地方に比すれば低調と思われる。

ビルブームというのは東京や大阪の話であるが地方都市にも小規模ながらそれに類した現象は見られた。しかし商業建築として戦後著しく伸びたと思われるのは百貨店と銀行であろう。それは建築様式も新しく都市建築の重点をなすように思われる。それと共に小店舗も近代的な明るい建築様式を取入れ（大部分は表だけであるが）特にショーウィンドーや内部の陳列及び照明に意を用いるようになつた結果，戦前のドス黒い瓦の色が少くなつて都市は色彩的に淡く明るいものとなつて来た。百貨店に対抗して日覆は鉄骨のアーケードと変ることも流行となつて来た。特に夜のネオンは都市の誘蛾灯である。昼見れば無くもがなの見苦しいみみずの戯れも夜は酔客を集め，映画に人を呼ぶに欠くべからざるものとなつた。戦後の日本は物価高を嘆き，懐の淋しさをかこつにも拘らず，娯楽が著しく多くなつた。パチンコ，麻雀，映画競輪，競艇等，僅か数十戸の町と思われる所にもパチンコ屋は存在する。キャバレー，ダンスホール，バー，夕と共にうす暗い灯のもとに紫煙と香水の香にむせぶ若人達のつどいの場所，そこにも建築家の腕を振われたと思われる傑作も少くない。喫茶店また然り。これ等は夢多い若きアーキテクトの訓練場でもあるか。料亭もなかなかの繁昌，宏大な和風建築は料亭と見て差支えない。かつての実業家の邸宅，別荘は料亭に変り，日本庭園の美しさもここでなければ見られなくなつた。銘木を集め粋をこらした数寄屋造り，今はそれは個人のものでなく料亭のみが持つものとさえ思われる。個人が独占するよりはそれもよいかも知れない。社用族でないものには少し縁遠いだけである。これは何もこの地方の特色ではなく日本共通の現代の姿であろう。

(2) 公共建築

戦後先づ第一に着手されたのは学校建築であつた。六三制の義務教育のためには校舎は不足していたので，二部教授三部教授を解消し，又新制中学を新築するため町村は最大の費用を子弟の教育のために惜しまなかつた。そして都市においても小中学校，高校，大学と殆んどは木造で建てられた。また教育の方法も戦後欧米風に変化

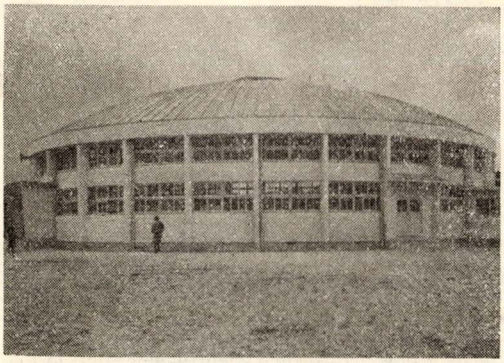


写真2．米子市某校円形講堂

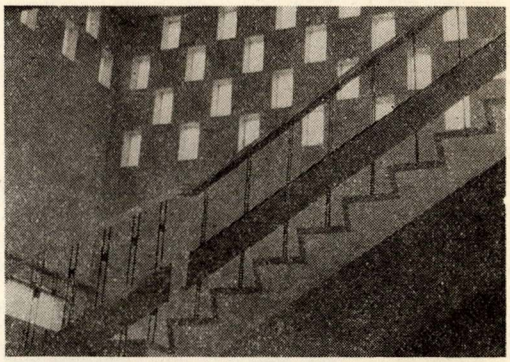


写真3．三次市役所内部

してカリキュラム式となり，多くの特別教室や講堂，体育館を必要とした。モデルスクールもでき，また岡山や米子に見るような円形の校舎や講堂等目新しいものが出現した（**写真2**）。

庁舎建築は一般に政策上後廻しになつたが，戦後の事務の膨脹に応じて部課人員の増加した上，旧軍用施設等を利用したものもあり（岡山，広島），狭隘と不便で能率も上らなかつたが，漸く秩序も恢復し，町村合併も進んでさて庁舎の建築という段階になつた。山口市役所は最も早かつたが，続いて下関，徳山，笠岡，三次等相次いで新築され（**写真3**），中国48市の市庁舎は追々新装をこらそうとしている。県庁舎も今春広島県が10億の巨費を以て完成日本一の威容を誇るに至り（**写真4**），岡山も近く完成を見ようとしている。このような建築の発展にも拘らずその間時代に逆行した感のあるのは建築部課の縮小である。広島県山口県の建築部は相継いで廃され土木建築部として統合されたことである。

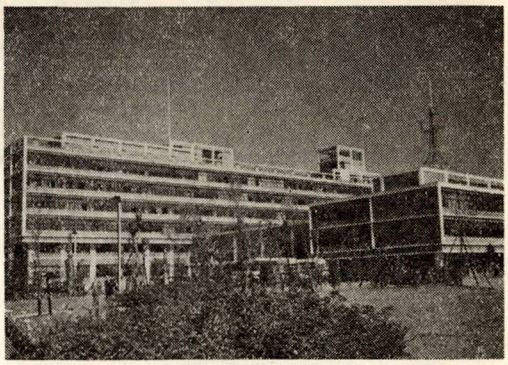


写真4．広島県庁舎

電通，郵政関係の建物は比較的早く統一された独自の様式で着々改造され，文化はまず通信よりの実績を示している。財源が豊かであり公社としての仕事もやりよいと見えて各地とも早くその面目を一新した。

これに反し鉄道の駅舎は改築の歩みが遅い。戦前の建築である岡山，下関はまだよいとして三原，三田尻を除いてはあまり新しい駅舎はない。これからという所である。一方管理局庁舎は広島，岡山が漸くできたが，その他は駅舎と共にまだまだ前途多事である。

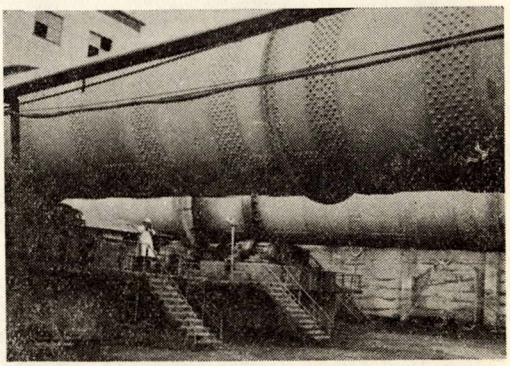


写真5．某セメント工場ロングキルン

(3) 工　　場

瀬戸内海沿岸には造船，機械，化学，石油，製鋼，セメント，繊維，食品，火力発電等各種の工場が連綿と連り，新設工場を加えて拡張，新設に槌音は高い（**写真5**）。また日本海側を見れば二大パルプ工場や繊維，化学の他中小工場はかなり多い。温泉と遊覧の地として見るべき施設があるのみならず，木材，瓦の特産は建築に深い繋りを有している。電源の開発も旭川を先づ完成したが更に大きい計画が残されている。

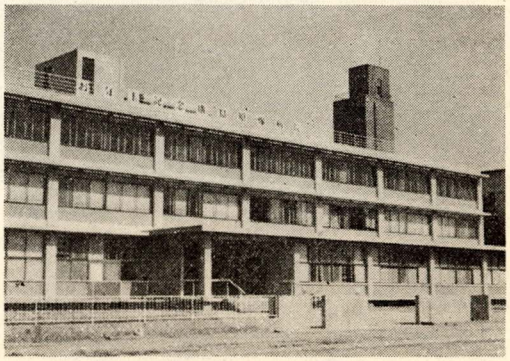
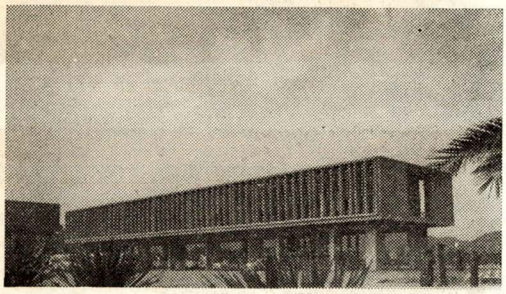


写真6．広島原爆病院

（筆者　広島大学工学部教授）

広島の建築点描

曾根田彰



鳥籠のような記念陳列館

◇建築の実験室

原爆都市として一躍世界にその名を売つた広島ではあるが，その惨状を身をもつて体験した約９万人の旧市民はこの呼び名を聞かされる度に名状し難い複雑な気分に襲われる。これは現在の広島の人口36万の４分の１であり，戦前人口の２割である。また野球の好きな人々からは「カープ」の広島として覚えられてはいるが，これも熱狂的な「カープ」フアンの余り芳ばしくない行動によつて全国に広まつた名声（？）であつて見ればいつも苦笑をもつて聞くのが常である。この広島の地が戦後から「新しい建築の実験室」として建築技術者の間で暫く有名であつた。

昭和23年といえば資材統制の厳しい真最中で耐火建築などとは思いもよらなかつた時期に全国にさきがけて四階建の鉄筋コンクリート造「農協ビル」が瓦礫とバラックの中に建ち上つて人々の目を驚かせたのも今は昔であるが，続いて24年アメリカ人の設計と監督の下に米国直送の資材を用いて比治山公園にＡＢＣＣ（原爆影響研究所）の工事が始められたのを，戦前からの長いブランクに置かれていた我々には珍らしい新資材と机帳面な工事監督に蒙を啓かれたような気持で，各地から引きも切らず訪れる見学者を案内して何度も行く度に，進捗している工事の段階やら，あるいは話にだけ聞いていた各種の設備機械類の進歩やらに感心したものである。

二つの川に挟まれた市の中央部に計画された平和記念公園の懸賞設計によつて実現した丹下健三氏の陳列館は「細長い鳥籠の様な」妙な建物と評され，全面硝子張りの円い児童図書館は「廻り灯籠」の様だと市民の目をそばだたせた。又この記念公園に向つて東西から架つた平和大橋はイサム・ノグチの設計による奇妙な欄干で賛否こもごもの世評を沸きたたせ，一方広島駅に近い市の東部の空にそそり立つ灰色のカソリック平和記念聖堂は村野藤吾氏独特の北欧のふん囲気を，高さ45米の鐘塔から朝夕ひびき渡る鐘の音と共に全市に漂わせている。

このように全市灰燼の中から羽ばたくフエニックスにも似て広島の建築復興は勇ましくも多彩な立ち上りを見せて今では一般市民も建築に関してはいかなるものが出現しても大抵驚かなくなつたようである。



北欧的なカソリック聖堂

◇デルタと七つの川

中国山脈を分水嶺として広島湾に注ぐ太田川の川口に堆積したデルタ地帯。その市街を貫いて分流する七つの川は又水都としての広島を特徴づけている。それも今は放水路工事の進捗と共に１本が埋められて六つの川となりつつあるが，曽てはこれらの川に面して旅館や料理屋が三層の手摺を連ねて明るい灯火を川面に流し，夕涼みの縁側の下をボートのクラッチの音が行きかよつた水都広島の情景も今は見られない。新しい都市計画では総て河岸は緑地に指定されて建築物は一切許されなくなつたためであるが，川面の眺望を個人の独占から解放して一般通行者に平等に享受させようとの主旨は尤もながら余りに画一的に徹底したやり方は何だか心ない仕業に思える。これらの川に直角に中央を東西に貫く 100米道路は川が縦割の防火区劃を造つてくれたのに対してこれは横の防火区画でもある。二条の巾広いグリーン・ベルトで軽車道を区分しながら西端は己斐駅前の広場から発して延々４粁の直線道路が東に延びて，臥虎の形の比治山公園の横腹に突き当り将来計画としては隧道で山を貫いて山陽国道の短絡路ともなるものである。この比治山の上に目下建設中の仏舎利塔は丁度この道路のヴィスタを形成する訳であるが高さ48米の頂上に展望台を設けエレベーターにより大いに観光客を呼ぼうという魂胆とか。

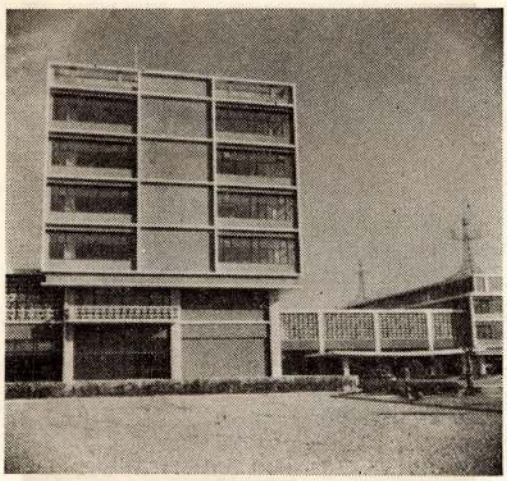
この山の少し南端に近くＮＨＫのテレビ塔と中継所が最近建てられた。又その近くには前川国男氏の設計による外人アパートが瀟洒な姿を見せている。これはＡＢＣＣに勤務する米人男女の寮である。このあたりは戦前は陸軍基地のあつた場所で軍用船の出入りした宇品湾内の島々を見下す眺望の絶佳を誇つた所であつて，今でも市内見物の方々を真先に案内して市街の全貌を先づ眺めて貰う絶好の場所となつている。しかし七つの川を全部判別する程高くないので先に述べた仏舎利塔の展望台の効用があるというものかも知れない。

このデルタは上層の８～９米は綺麗な砂層でそれから下が次第に粘土質を増して悪くなり地表から 24～5米からが大体砂利層となつているのが一般である。従つて鉄筋コンクリート造の普通のビルディングで４階位迄なら上の良質の砂層で充分安定に支持できるのであるが，５～６階以上となると基礎杭が必要であるというのがこれ迄の目安になつている。８～９階の最高限度のものは否応なしに砂利層に達するコンクリート杭を用いているのでこれも一応良いとして中間の高さの場合が一番問題である。基礎底面あたりで普通の地耐力試験をすると当然15屯も20屯も出るのであるが，広い面積で建物の重量がかかつた場合に下の粘土層の存在が気になるのである。多くの場合は長さ10米前後の木杭を打つて気安めとしているようであるがこれらが殆ど不同沈下を起して傾いているのが実状である。この程度の杭は恐らく上層の砂層を貫いて粘土層に尖端を突つ込んでいるに違いないので結果的には余り役立つていないのではあるまいかと考えられる。

今年の４月に竣工した県庁舎の場合はこれ迄のこうした結果を批判検討して全然新しい方法をとつた例である。それはこのデルタの地下水位がかなり高いことと，建物周囲に敷地の余裕が充分にあることの二条件で成り立つたのであるが，地階を両側に一スパン宛拡げて１階の建築面積の約２倍の底面積を持たせて地下水の中に浮かせたのである。勿論このためには船体に相当する地階部分は縦横に充分な隔壁を設けて耐力壁とし強固な構造体とした上に，上階もできるだけ軽量に設計し又船体におけるメタセンターの計算にも似た荷重配置を考慮に入れて浮力に対する重力のバランスを厳密に計算されている。この結果はコンクリートが打ち上つて約１年経過した今日としては大体の見当はつくのであるが，この長さ 125 米に及ぶ６階建の建物が傾きもなく沈下もごく僅かに止つていることはこの考え方の誤りでなかつたことを示すものといつてよかろう。決定的な結論を出すにはなお２～３年後を待たねばなるまいが，これが成功すれば今後の広島のデルタ地帯に建つ５～６階建の基礎を簡単にかつ自信をもつて施工できることになるであろう。

◇平和記念都市ヒロシマ

毎年８月６日の原爆記念日には中島の平和記念公園で



フローテイング基礎の県庁舎本館

盛大な慰霊式と平和祈念祭がとり行われる。「ノーモア・ヒロシマ」を叫び世界平和は広島からと大いに気負つて「広島平和記念都市法」が制定され立派な記念公園や記念館等はできたのであるが，まづ足下の都市の平和は確立されたかどうか？戦後以来ピストル・ギャングでかなり世間を愕かせたその根が今でも絶えた風には見えないで時々ブスブス燻つているようだし，広島の市会は戦前から伝統的でもあるが絶えず分裂抗争をお家芸として平和的な都市を造り上げようという一致した気魄が却々容易には盛り上りそうもない。例えばここ2，3年来の懸案になつているバスターミナルとナイター球場の建設問題を取り上げても，何かもやもやした対立だけがこれを阻んでいる様子で一向に具体化しない。殊に現在7～8社に及ぶ郊外バスがそれぞれ市内の各所に発着場を散在させて市民にすこぶる不便をかけている現状から綜合ターミナルを建設するために各社共同で設立母体をつくり，敷地も交通の中心点である紙屋町の角に決定し，市民は一日も早くその完成の日を待つているのに未だに着工もできないという有様で，この遅延は許すべからざる社会的罪悪というべきである。

又広島のシンボルとして世界中に写真で紹介されている爆心地のドームは元物産陳列館の煉瓦建の残骸であるが，これを原爆のこよなき記念品として末代まで残すように充分な補強工作を施せという意見と，見るも忌わしい憶い出の種を早く取り壊してその後に役に立つ公園施設をつくれという人と，第3の折衷的な案であるが不自然な補強工作もいやらしいからそのままにして周囲には危険防止のための池でも廻らして自然の崩壊に任せたらよいとする自然主義との三つに分れていづれとも決し難く現在は最も危険な形で放置せられてある。いづれ何かの事故が起きるまでは恐らく積極的な方策は行われないのであろうが，それは結局第4の最も拙劣な方策を選んだものというべきである。

平和記念都市を名乗つてみたが実はそれだけで都市のたつきが立つわけのものではなく，明治以来軍都として栄えてきた町だけに今後の都市の性格をどこに指向するかが問題である。学校都市を目指すこそ平和都市に最もふさわしいとアドバイスした人もあり，曽ての軍の主要な運輸港であつた伝統にかんがみ，施設を増強して貿易港とすべしという懐古派あり，やはり工業都市たるべく大いに工場誘致をねらうべきだという努力もなされたりして未だ確たる方針は打ち出されてはいないようである。県知事の生産県構想の一翼として促進せられている山陰陽の短絡鉄道の敷設が完成した暁には中国の表玄関としての広島市の地位も大いに変ることであろうが，それ迄は何とも見当がつかないという所であろうか。

他面この都市の消費文化を眺めてみると戦前には一つしかなかつた百貨店が今では二つ半に殖えて夫々隆盛を極めている。半というのは昭和24年の広島駅前の大火で所謂「駅前マーケット」の大半を焼失した後進駐軍の援助を頼りに駅前計画の線に沿つて耐火建築による商店街の造成を県市合同で指導した際，正面角地に6階建デパートの設計を暫定的に三階迄実施して協同組合組織で生れたデパートがある。その規模と営業組織から見て未だ一本とは云い難く半と数えた所以である。他の中一つは一年前に隣県岡山から進出して挑戦したのであるが一般の予想に反して両店共々素晴らしい売上を示して購売力の不可思議な実態に愕かされた。

これに似たことは映画館の乱立にも見られる。今秋開館した東映の直営館は広島随一の規模と設備を誇つて八丁堀の表通りに花々しく開館したのであるがこれが第38番目の映画館である。これでは一館当り人口が一万人に満たない勘定で普通には到底ソロバンに合いそうもないのに結構いずれも大変な繁昌を見せている。これ迄の映画館は本格的冷房装置のあるものは一館もなかつたが，この新鋭館が来年の夏からは新装置の威力を発揮することを早くも他の各館が頭痛に病んでいるので，来春あたりから冷房工事のブームが始りますよと工事屋筋では今から手ぐすねを引いている。

キャバレーやバーの類も，この都市人口から見ての密度が他に類例がない程だと評する人がある。現在もそのキャバレー街の真唯中にコンクリート・タワーをガラガラひびかせて，キャバレーと映画館とアパートを盛り込んだ一大「歓楽のデパート」が着々と工事を進めているからいずれ開館の日は又市民をアッといわせるに違いない。人口構成より見ても第二次産業より第三次産業が圧倒的に多いこの都市は消費都市的性格だけは野放図に発達して止るところを知らずといつた症状を呈して心ある人の憂慮を買つている。「苦悶する平和記念都市」は果していずこに行くのであろうか。（筆者　広島県建築課長）

技術講座

疊表について

佐藤重夫

疊表には数多くの欠点があり，耐久力が少なく，塵がしみ込んで不潔となり，完全な掃除が困難で，重い物の形がついたり，家具の足ですり切れたり，色合も変色しやすく，疊縁も割合にいたみやすい。また疊は裏面が湿りやすく荒床が乾いていないと腐れやすく，非常に不衛生的になる。こんないろいろの欠点があるけれども，長年馴れ親しんできた日本人にとつては，疊や疊表はなかなか捨て切れないものを持つている。温感や触感，弾力性のあること，それに何よりも美しい藺草そのものの素材美は，床の仕上材料として，座礼のわれわれには最高のものともいえよう。

疊表が，備中国都宇郡隼島（現在の岡山県都窪郡早島町）より産出され出したのは何時頃であつたかは確かには解らない。しかし仁和寺文書の藤原期末にその献上品として見えていると伝えられている（岡山大学史学科藤井駿教授談）。しかし室内に疊が敷きつめられるようになつたのは，それよりずつと後の室町期であるから，その頃から多量の生産品となり，ことに江戸時代となつて，京大阪はもとより，江戸に多量に移出するようになつた。江戸の問屋西川では，古来これを早島表と称して多量に商つたもののようである。そうして江戸時代にこの疊表は主に備中備後方面の特産品となり，現在は九州，中国，静岡その他の各地でそれぞれ多量に疊表が生産されている。

疊表は水辺植物の藺（藺草ともいう）を緯とし木綿や麻その他の糸を経として織つた一種の敷物で，経糸一本毎に緯の藺を上下にかわして織つたものを琉球または七島表といい，経糸を二本ずつ諸にして織つたものを諸目表または普通の疊表という。またこの諸目表の幅を端から他端まで横に一本の藺がずつと通つて織り上げられたものが引通し表で，交互に藺草が根と先とを向をかえて織り上つている。また中継表と称して，疊表の中央で，両端から織り込まれた藺草が，その先をぶつつけて継ぎ合わさつているものがある。これは藺草の根は全部両端になり，藺草の先が中央に向いており，しかも藺草の同じ太さで色合の同じ，かつ物質も均等な藺草の中央部分のみを使用する方法で，先の方は表の裏側で切り捨ててしまう。従つて色彩，品質，藺の太さなどが全面に均一に作られる上等なものである。しかし疊表に表裏ができ，裏かえして用いると中央に縦にずつと藺草の先の切口が見え，従つて下廻りの室にでも用いないとみつともない。また表よりも裏面の方が耐久力にかげている。

さて備中とくに岡山県の都窪郡吉備郡児島郡浅口郡倉敷市方面の藺草は近年の栽培の改良でことに長いものが製産され，地味気候の関係もあつておよそ五尺に生長する。従つて現在の備中藺草は引通表に好適であり，その太さが疊巾に使用して本末の差が極めて少ない。しかし生長がこのようによいので多少質が柔らかであるのが欠点である。それにひきかえ備後方面（福山，杉永，尾道方面）のものは丈が短かく表質が硬い。それで備後藺草は中継表に適しており，かつ硬質であるから耐久力がある。しかし引通表に比べ倍の藺草を必要とするので，値段が非常に高くなり，いわゆる高級中継表として，古来備後表が著名である。

琉球表，七島表は九州南部の藺草を用いて製作される。これは中国筋の藺草より太めで多少粗野な材質であるから，丈夫さの点では著しい。疊縁を用いないで疊を打まげて疊に縫付けて仕上げる他に，疊の中程にも数通りの綴じ縫いを施こし表のうき揚りを防ぐ。これは俗に柔道疊ともいつて，非常に丈夫なものとなる。

しかし，現在疊表は，前記の地方で製産されているばかりではなく，ほとんど全国的に各地で製産されている。北は北海道でさえ表が織られている。しかし，この藺草はほとんど岡山地方のものが原料として移出されている。

また花莚，あるいは茣蓙という疊を縫いつけない床上の敷物がある。これは全部引通表同様に織られるが，その他に経の間隔をいろいろにして仕上の体裁を作り，これに染分けた藺草を織りこんでいろいろの美しい模様を作つているものがある。また引通しに織つたものに型染めを施こして模様をつけたものもあり（型染花莚），こういつた花莚は細い縁をぬいつけ適当な大きさの上敷に作る。これらの花莚は倉敷市（西阿知）および早島町方面の特産で，一部は倉敷の民芸館長外村吉之介氏の指導をうけ，美しいものができつつある。また縁を用いないで二畳，三畳，四畳半，六畳というような大きさに綴じ継がれた花莚もあつて洋間に用いてもよいものもある。また最近は不変色藺草加工やビニール加工が併用されて，耐久力，清掃，塵の不浸透，その他に便利よく作られる向のものもできつつあり，天然物と人工とが程よく組合される工夫が行われている。経糸も麻，綿，のみでなく，化繊を交ぜより丈夫なものもできており，一見同じ畳でもいわゆるピンからキリまでで品質に非常な相違がある。

藺製品は年産で全国合計6,000万枚以上製造され，約100億円に相当するが，42%が岡山県産である。花莚は岡山県で年産約 6,000 万平方呎であり，約2億円の価額となり，その80% は海外輸出に向けられている。また藺草はその製産される月より年末までが高値で，年の前半は低値である。これは色合品質の問題と 需要供給の関係で変動するのが常であり，これが畳表の価額にも多少動揺を生ぜしめている。

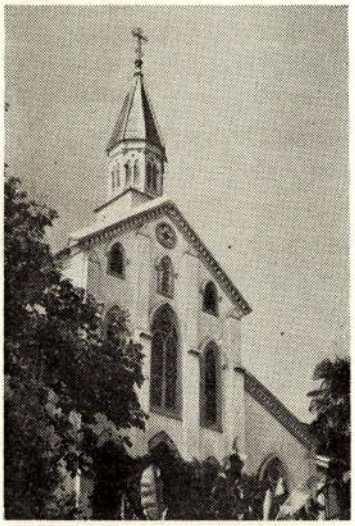
（筆者　広島大学工学部教授）

長崎の建築今昔

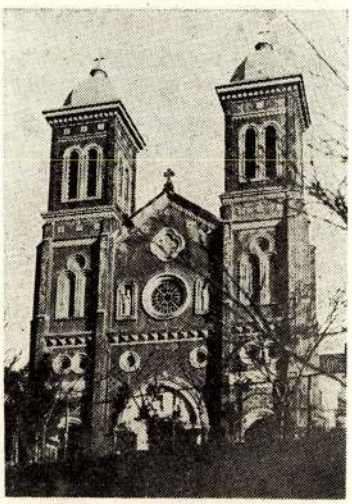
丹羽漢吉



② 創建時の大浦天主堂



① 明治8年増改築後の大浦天主堂



③ 原爆壊滅前の浦上天主堂
東洋一の大会堂であつた

九州支部

いつだつたか，長崎を主題にした歌謡曲だけを集めてNHKから全国に放送されたことがある。長崎オンリーのたつぷり30分間であつたが，よくもまアこれだけの唄が作られたものだと感心した次第である。ところがその道に詳しい人の説によると，あれは九牛の一毛なんだそうで，曰く長崎の何々。曰く何々の長崎。と，その人が立て続けに列べただけでも，ざつと20幾つかあつて，あとは「あァくたびれた……。」で以下省略となつたのには，正に二度びつくりであつた。

とにかく戦後長崎の株が大分上がつたのは事実であるピカドンの一閃に始まり，故永井隆博士著の「この子をのこして」等，一連の長崎ものがベストセラーとなつて読書界を席捲するとも，一方ではお蝶さんやザボン売り等が，歌謡曲のリズムにのつて，チャンチャン長崎を宣伝してくれるものだから，誰だつて一度は「夢の町。ロマンの港。史の都」長崎に行つてみたいと思うのも，無理はなかろう。

お蔭で，観光客は年々ふえる一方で，莫大なお金が長崎に落ちるのは，有難いことには違いないが，何事も過ぎたるは及ばずで，変な期待が大き過ぎて，幻滅をかこつ向きもあるようである。これは，実際にはおりもしないザボン売りを創作したりする，歌謡曲作家等にも，大いに責任がある。だから，前車の戒めとして，過大宣伝のそしりを受けぬように自重自戒しながら，以下長崎の建築紹介といこう。

およそ長崎を訪れる程の建築家は，その10人が10人までは恐らく，最新建築を見学しようなどという，心得違いの者ではあるまい。必ずや，古い長崎らしい建物がありそうだという，何がなしのあわい期待を持つた御仁であるとお見受けしたいので，イヤでも先づ，カビ臭い古建築に御案内するのは，われわれとしても，一応のエチケットというものである。

ところで長崎の歴史は，年代的には奈良京都鎌倉の古さには及びもつかないが，唐，南蛮紅毛の多彩な文化を背後に持つているのが強味である。そこで案内の順路も自然そういつたものを辿る，お定まりのコースが生まれてくるわけである。暫らくお付合いの程，御辛抱の程を願いたい。

国宝大浦天主堂 は，文久3年（1863）仏人宣教師が自ら設計し，且つ幕末の，当時まだ丁髷を結つていた日本の大工を指揮して建てたものである。これは最初，写真①のような木造建物であつたが，明治8年（1875）増改築によつて，外壁が煉瓦造となり，今見るような姿となつた（写真②）。およそ，洋風建築など見たこともなか

つたであろう丁髷大工どもを，片言交りで指揮した佛人宣教師の苦心も大変なものではあつたろうが，そういう異国の新様式や新工法を受入れて，ここまでよくこなし得た，当時の大工の技術水準もまた万更捨てたものではなかつたようである。

浦上天主堂　も，仏人宣教師の設計と指導によつて，日本人信徒が営々として築き上げた汗の結晶である。明治28年（1895）着工。正面の塔が完成した大正14年(1925)まで30年を要し，352坪の，当時東洋一と称された煉瓦造の大会堂であつたが（写真③），現在は向つて右の高塔の下３分の１と，側壁の一部だけが，原爆による廃墟となつて遺つているに過ぎない。この建物の細部を見ると，石造の天使の首が地蔵顔だつたり，軒樋の獅子面が神社の狗犬そつくりだつたりして，仏人宣教師も，日本の石工の技倆や感覚を，定めし不満に思つたではあろうが，建物全体は写真に見る通り，80尺の双塔を有する，誠に堂々たるもので，殆んど大部分は未熟練者であつたろうところの信徒達が，唯外人宣教師の指図に従つて，黙々と，しかも歓喜に燃えながら建てたものであることを思えば，唯賛歎あるのみである。ウィリアム・モリスのゴシック礼讃もよく判る。

こうして，洋風建築に馴染むことの早かつた長崎人は次から次へと洋館を手がけていつた訳であるが，変に和洋折衷ぶつたりしないで，素直にこれを受入れていたように思える。

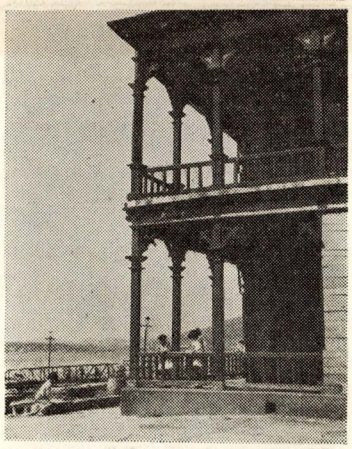
そして，写真④⑤にみるような事務所建築はもちろんのこと，西洋料理店という当時のハイカラな商売の家（現精洋亭ホテル）から，果ては遊女屋，徒合（現角海老楼，むさしや）等にも洋風建築がまかり通つて，明治初期，中期のこれら建物が，今なお現役の第一線で活躍しているし，住宅にも，ヴェランダ，マンテルピース，鎧窓等のある**異人館**が，下見板のペンキは剝げ，手摺子は欠けて古びながらも，兎に角長崎の，港に臨む山の手の風景には，なくてはならないものとなつて，沢山残つている（写真⑥）。

一方中国関係では，何といつても**黄檗宗の寺院建築**を挙げねばなるまい。主要堂宇は，寧波その他中国各地で切込みした材を，船で持つて来て建てたのであるから，純粋の明朝様式の建物で，夫々国宝や重要文化財に指定されている。同じ黄檗宗伽藍でも，宇治の万福寺などのように日本化されたものとは違つて，本場の中国建築そのものを見ることが出来るわけである（写真⑦）。その他唐人屋敷の遺構も一，二現存している。

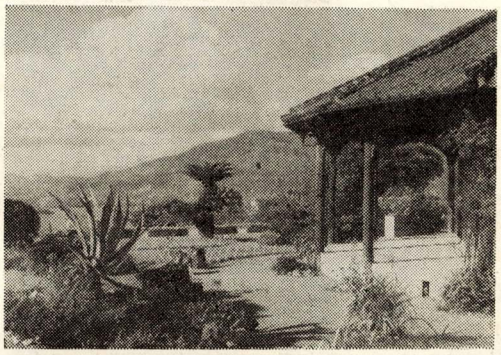
しかしこういつた外来建築は，あくまでそれだけのこ



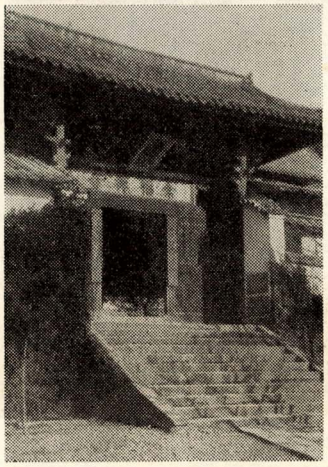
④ 海運局



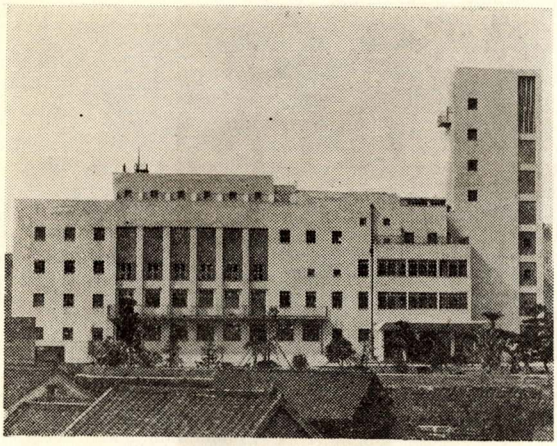
⑤ 三菱鉱業所



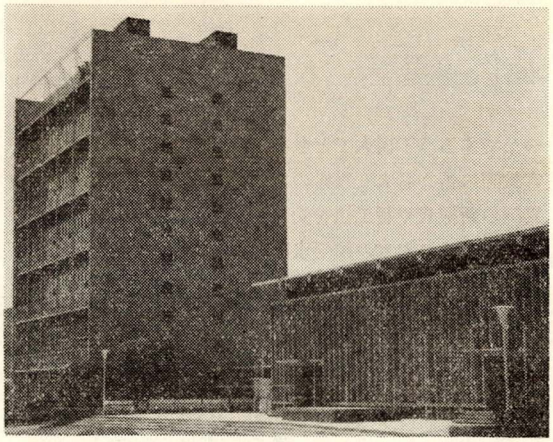
⑥ 元英人グラバー氏邸



⑦ 崇福寺－峰門



⑧ 長崎県庁舎



⑨ 長崎国際文化会館

とで，一般住宅には殆んど影響を与えていないようだ。日常さりげなく使われている言葉や，食物，家具調度，衣生活等には，唐南蠻紅毛的のものが強く浸透していてすでに長崎人の生活に同化しきつているが，住宅建築の様式の中にはその片鱗も見られない。これは面白いことだと思う。

その理由はいろいろあるであろうが，矢張り疊に坐る生活と椅子式生活との相違。ペンキや朱を木に壁るのが嫌いで，素木の肌を愛でる趣味の相違。等もその理由の一つであろう。だから，絨氈を敷き，紫檀の家具を飾り，シナ風の灯籠を吊し，オランダ古渡りのギャマンに綠酒を注ぎ，ポルトガル風の料理を，シナ料理形式で食べるといつたような生活をした豪商でも，家の作りは普通には純日本風であつたようである。

石だたみの道。石造アーチの橋。群の壮大な墓場等々も中国からの影響が多い。これらは皆大切な長崎の古文化財であるが，写真版相手では靴の上から掻くようなもので，読む方もピンとこられないだろうし，紙数も多くなるので省略する。

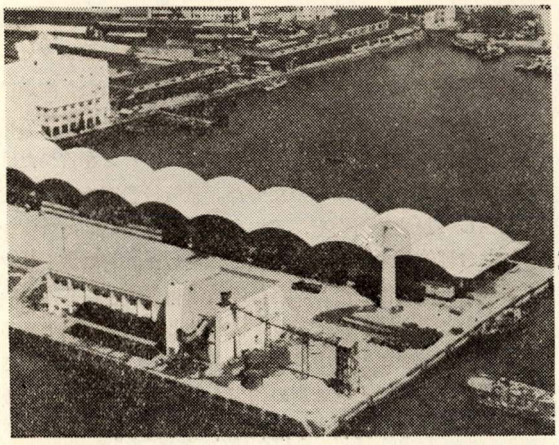
さて，ここらで古いものにお別れをして，次は新しい建築に少し目を移してみよう。

戦後の建築復興は，その土地の経済力に関係すると見てよかろうが，長崎の場合，その経済基盤である三菱造船が，終戦直後は殆んど開店休業の状態であつたのと，原爆でやられたのは全市の約３分の１で，これは主として新開地であり，老舗のある繁華街や旧市内の大部分は一応原形を残したので，自然復興のテンポもスローモーであり，建築ブームなぞはよその世界の出来事であつたが，それでも近頃では，新しい建物がチラチラと目につくようになつた。

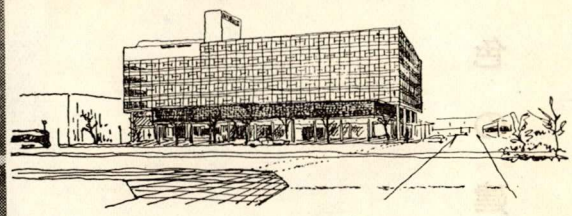
先づ，**県庁舎**　からいこう。延4400坪余。５階建鉄筋コンクリート造といつたつて，他都市では別に珍しくもなかろうが，長崎としては，戦前戦後を通じても，有数の大建築工事であつた。設計は日建。28年竣工。写真⑧は不整五角形の平面の一辺だけを見せているので，合併新市の市庁舎程度に小ぢんまりとした感じにしか見えないが，実際は長崎の丘の上に白い巨体を横たえた，大きな建物である。東京都庁舎や八重洲口駅，広島県庁舎等のような，今流行のスタイルではないが，温和な親しめる外観である。

官庁の民主化というお題目は，戦後の大きな課題の一つであるが，これが建築的表現に出てこないはずはなく白いプレンな壁と，大きなガラス面でファサードを構成した，明るい税務署や，窓の横線と望楼の縦線とで調子をとつた，軽快な消防局舎等が建てられた。前記県庁舎もそうであるが，官公署の建物に壮重とか威容とかいつた形容が不必要になつたのは，当然のことながら，至極結構なことである。

県庁と前後して建つた，モニュメンタルな今一つの建物がある。**長崎国際文化会館**　がそれで，設計は佐藤武夫事務所。原爆投下中心地に程近い丘の上にそそり立つて文字通り記念建造物としての使命を果している（写真⑨）



⑩ 水産市場の水揚上家



⑪ 長崎県水産会館

この建物のファサードは一寸味があるが，大浦天主堂にある煉瓦造司祭館の，いわば現代語訳版のように思えるつまり長崎の雰囲気の発生源として，そういつたモチフが採用されたのではないかと考えられる。

長崎の経済を支持するものとしては，造船の外に水産がある。最近は李ラインなどという迷惑なものがあつて稍々意気銷沈の態であるが，それでも矢張り，北海道に次ぐ第2の水産県というのれんはさすがなもので，6000坪の埋立地に製氷冷凍工場や水揚上家が建ち，引込線もできて，近くさらに第2水揚上家や本事務所の建設に取りかかる予定で，完成すれば，水産長崎県の誇り得るものとなろう。このうち第1**水揚上家**は，設計県建築課。31年3月竣工。鉄骨の連続アーチにフレキシブルコルゲート板葺。巾30m，桁行 196m。1704坪で，簡潔明快なスタイルは戦後の長崎における建築物中の白眉だとの好評を受けている（写真⑩）。

水産に因んで，目下工事中の**水産会館**を一寸御紹介しよう。水産関係者の福利施設として，株式会社長崎県水産会館が設立され，目下ビルを建築工事中であるが，7階建，延 3,950坪。位置は駅前で，銀行，バス発着，物産土産品即売展示，貸事務室，ホテル，集会室，食堂，地下映画館等を設けた近代的なこのビルが竣工すれば，駅前の面目は一新するだろう。設計は地元の大長崎建設で，佐藤武夫博士が顧問である（写真⑪）。

デパートは長崎に2つある。お互に増改築やら冷房設備で，激しいシーソー競争をしているが，そのどちらもが，同じ清水建設の手で設計施工されていて，しかもそれぞれ異つた持ち味があり面白い。このデパートの増築合戦も，長崎の古い街路巾に禍されて，高さの制限上思い切つた設計ができないという状況で，他都市のデパートに比べると，建物の量感に乏しいのはやむを得ない。

最後に**ペーパープラン**を二つ御紹介して，長崎の建築を語る締めくくりにしよう。

一つは市庁舎の新築計画で，大正2年に竣工した，日本でも初期に属する鉄筋コンクリート造2階建の現庁舎が狭いために，木造バラック仮庁舎を建て増している現状からして，この際新しい市政のための，新しい革袋を作ろうということになり，目下懸賞公募にかけている。延 2,300坪で恐らく6～7階になると思うが，この稿が活字になつた頃は，当選者も決定して，実施設計にかかつているはずである。

今一つは総合的国際文化センター建設の計画で，大公会堂。図書館。美術館。博物館。動物園。水族館。スポーツセンター等を建設しようとするものである。総工事費は最小限15億とふんで，全世界の浄財喜捨も受入れる予定であるが，地元の県民も早くから各職場で毎月月給の千分の一拠金とか，農産物，水産物の収穫高に応ずる歩金の積立とか，一丸となつてこの遠大計画実現に邁進している。消極的といわれる長崎人としては一寸スケールの大きい事業である。そして一部はすでに基礎的調査に着手し，あるいは一応の案のまとまつたものもある。全国の方々の御協力も是非お願いしたいものである。

（筆者　長崎県庁建築課主査）

郷土色の建築漫談

薄抱月

▶当今は建築という観念が一変したであろう，実に謙虚品位の高尚味なく単純なローカル色で奇異観なスタイルを選ぶ時代となつた。昭和の初期まではただただ漸進的研究の一途を辿り，アーキテクトとして向上を夢見て伝統を尊重し，いやが上にもオートメーションを首つたけでデッサンに耽つたものだつた。戦敗後急天直下 180度転回して封建式何物ぞ，不経済的と解して端的に事務化した合理的一天張りの無味式と急変した。将にストラクチュアーの根性となる。名付けて昭和様式といわん。映画館かと思えば学校であり，会社かと見れば病院である神社ともお寺ともつかぬ斬新なものも多い。使用目的さえ満足されればその誠真の如何を問わない。何々の建物らしさよりも，便利で事足れば本望である。

喰いさえすれば空腹は凌げる理窟である。実にシンプルハイの人間生活の世相の表現である。正式の服装あるにもかかわらずジャンパーで堂々たる学門をくぐる。番頭か丁稚かと見誤る。

建築もその目的使用に便利だけを具備して,要するに,目立つ色彩が奇観を呈して，動揺する世道人心に印象付けるのが極意であるかのようだ。さらに戦勝国の支配下では，万事が自由を失い，善悪を問わず国土風習気候は問題でなく，一も二もなく真似事に終始圧せられ，同時に反面では寝食を忘れてわれもわれも海外の鼻息を伺い遂にこれが常習と化してきた。さらに戦時の科学進歩が平和産業に切り替えられ，一躍製品膨脹して斬新奇態な驚くべきわが建築界の建材にまで大いに発展し，次から次と続々進出し，実に千差万別であるがために，昨日の新材も今日は旧式となり，廃品との仕末で不足補充どころか，やり替えるがごとき苦労もあり，悩まされるのは建材を食糧とする技術屋ではなおまた資材の研究も性質も理解もできないうちにただ宣伝に追い回わされるのが関の山で，いづれが優秀品か耐久力があるのか，使用目的の適否を決定する余裕さえなく，決定に迷わされる。しかもその保存命数と来たら，販売店すら確約はできない。それもそのはずである。元来メーカーから商品化するまでやつと５年か６年位であるから，いたしかたない

コンクリート 建築物 内外装用
ビニール樹脂塗料
ポリマテックス (艶ナシ)
ポリマ #6000 (光沢アリ)
水谷ペイント
本社 大阪市東淀川区三国町 営業所・東京 名古屋 広島・福岡 高松
▼本誌で見たと御知らせ下されば美しいカタログ見本等御送り致します

かも知れない。名前でも日米混血語が大流行で混同混乱もおびただしく，薬剤かと思えば建材であつた。以上の外に多くの場合施主側も設計者側も恒久的観念が薄らいで性急的で，従つて古えのごとく，子々孫々まではおろか自己一代がさらに10年か20年の保存命数で大満足であるかの潜在意識があるから，これらの観念が技術上の病ともなる。反面には進歩の端緒でもあろう。このような色々の条件が自ら技術的観念の変革でもある。この流行様式が目下のこの世界の全貌ではあるまいか。よい流行か悪い流行かは別として，事変による影響の流行はおよそ短命であることは過去の歴史で明らかである。ただかような時には大いに愼重に検討して悔を将来に残さぬことこそ緊要である。

▶さて，あまり前置きが過ぎて失礼でしたが，福岡における建築の目とてあまり達見の持ち合せはありませんがただ永住しているため一応報告の責をはたすに過ぎないのであります。いずれの地方でも近来盛んに専門学者方が発掘によつて新発見発表がありますので，当地方もいろいろ歴史の裏付はありますが，従来の歴史からみても九州は天孫降臨の地なるため大陸との交渉も古いが，福岡近郡には有名な伊勢神宮に次ぐ裏伊勢と仰がれる大社宗像神社ありて先年太古の遺蹟復興として野外祭場完成した。これは伊勢神宮と富士浅間神社にあるのと同様である。下つて郊外に鎮西の都督府庁であつた都府楼蹟趾あり，その近くに天智天皇発願の観世音寺あり重要文化の代表的の丈余の木彫仏体十八体安置さる。また程遠からずして文教の神，太宰府天満宮菅原道実公を祀る全国の総本社で，社殿も社寺併用式で内陣下に菅公の御陵が鎮座せられる。平泉中尊寺の金堂に似た社と寺の異なるのみであつて往時の偉大さを忍ばしむ。福岡市に帰り博多駅前に聖福寺あり，七堂伽藍造で大体現存しており，文化財指定である。市には東に大社香椎宮，次に箱崎八幡宮あり，南に住吉神社，中央に櫛田神社，西に愛宕神社あり北は志賀嶋に志賀嶋神社鎮座まします。

▶そもそも福岡は中央に那珂川流れ，古くから知られる博多の港で，博多商店街であつたのが，慶長五年黒田長政が筑前守52万石の藩主に封ぜられ，西に舞鶴城を築きて城下町を造り，すなわち武家屋敷街できて福岡と名命せり。よつて那珂川で東西に分れて生活，習慣，職業，さらに言葉まで相違していたのが市制執行により福岡市となり，漸次混同して，今では区別もなく現在人口50数万の小都市ではあるが，九州の首都と自他ともに認め繁栄しつつある。戦災あとかたもなく４，５年前より８，９階のビル街完成し，一直線に博多側の銀行街と並び，新旧型式の対照的外観をなす。また近来娯楽の映画劇場は人口12,000位に一館という相場なるに神岡市は特に 8,000に一館の割であるところは遊蕩人の多いかを示すとせば寒心の至りである。人情としては先づ野人型で雑駁ではあるが執着なく，こだわり少ない淡白型であるところは有名な博多二〇加芝居がよく人情，風習を表現しており反面には無頓着というか今もつて市に公会堂，博物館のないことを恥ともせず，平気である。市議員の教養を疑うものである。旧城は復旧することなく時代を物語る蹟は漸滅である。

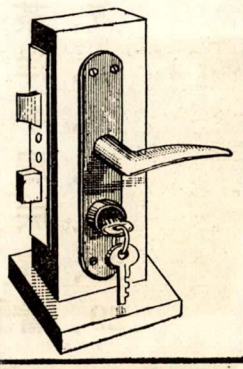
有無相通ずというか一昨年スポーツセンターが完成して時々の催し場に早替りして一館当千の活躍振りを示し目下日本相撲協会準本場所として興業中である。

▶以上のような現況で昭和様式は外観フラットで蔭影なく壁建築であるため，種々の広告を掲げる掲示版的仂きをなしておるところは実に奇抜である。要するに落ちつきのない刺激の多い明るいことをもつて明朗と考える。またスリットの魅力感のないところは静物と心えるところに観念の相違があるであろう。

以上甚だ道聽途説，雑駁な報告を呈して福博を紹介しましたが，せめてもの屈託のない小都市であるところに観光の慰めがあるでありましよう。

（筆者　本会九州支部幹事）

TRADE YALE MARK
世界のエール錠前
米国エールエンドタウン製造会社
関西販売代理店
株式会社 菅商店
大阪市西区南堀江通三の二〇
電話 ㊿3 7371～3
支店 福岡・名古屋



彰国社新刊案内

東京都千代田区平河町2—11・電(33)営業部—0293・2851　編集部—1745・4523・振替東京173401

新刊

5 西洋建築史

建築学大系　全40巻

古代—藤島亥治郎・小林文次，中世—堀内清治，近世—桐敷真次郎と，この分野における最高の執筆者を得て初めて体系化された西洋建築史の集大成として編集されたものです。
A5判 424頁　特製函入　定価¥1,060 〒50

5 歴史

建築講座　全10巻

執筆　渡辺保忠・加藤角一　建築様式の変化建築のつくり方の発達を図版を用いて具体的に解説したもので，工高の教材として，これからの建築を考えるうえの優れた参考書です
A5判 200頁　上製　定価¥350 〒35

8 材料

建築講座　全10巻

執筆　飯塚五郎蔵・加藤清作　工高の教材・2級建築士受験の原動力として執筆された本書は，各材料の一般的性質を解説するとともに応用の面から工事別に平易に述たものです
A5判 250頁　上製　定価¥350 〒35

41 映画館と小劇場

建築写真文庫　第2期 全30巻

彰国社編　本集は，最新の映画館・小劇場を写真によつて収録したもので，その外観や内部構想など，これからの映画館・小劇場の新築改装に欠くことのできない好図集です。
B6判　88頁　総アート上製定価¥300 〒35

52 茶室 3

建築写真文庫　第2期 全30巻

彰国社編　この本は茶室2の続編で，清浄な日本建築美の基調となる茶室建築について，あらゆる角度から写真によつて収録し，真截な解説をそえた写真集としてお薦めします。
B6判　88頁　総アート上製定価¥300 〒35

重版

日本の現代建築

小池新二著　分離派以来のわが国新建築の代表作を収録して世界に紹介できる大図集です
B4変形122頁　特製　定価¥1,200 〒100

建築写真文庫　第1期全30巻

5、茶室
7、茶庭
11、洋風の門
14、キャバレー
16、居間と書斎
23、床・壁の意匠
27、庭とテラス
29、看板の意匠

彰国社編　この建築写真文庫はあらゆる建築の諸相を分類，展示する目的のもとに編集されたものであります。内容は，これら諸建築の近代的・古典的，和風・洋風のものなど，さまざまな傾向をあますところなく取入れ，その外観や内部構想や各部の詳細にいたるまでを集め，住宅や店舗など各種建物の計画・設計・新築・改装にもつとも役立つ好適な資料として，一般の人々にもお薦めできます。

B6判　各90頁前後総アート各価¥300〒 35
第1期　全30巻・1揃特価　¥8,100　〒400

最高の品質　最大の生産を誇る./

伊奈の
タイル・衛生陶器

Inaseito 印 附属金具

伊奈の鳩印衛生陶器には Inaseito 印附属金具をセットで御利用下さいます様おすゝめ申上げます。



本誌で見たと御報知次第カタログ進呈

IS 伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電話常滑(代表)700
東京事務所　中央区西八丁堀2－8　電話築地㊺5261・5262

ORIENTAL

ORIENTAL around the world

ASPHALT BLOCK

アスファルトブロック

"For Heavy Duty Floors & Pavements"



用途…橋梁用・プラットフオーム用及耐酸床用

厚サ20-25-38-50粍　巾 120粍 × 長サ 240粍

オリエンタルメタル製造株式会社

本社及工場	尼崎市長洲字稲川新田44番地	電話大阪㊇4947～4949
東京支店及工場	埼玉県北足立郡蕨町駅前	電話川口5978　蕨252
九州出張所	福岡県八幡市熊手町二丁目	電話八幡 723
東北出張所及工場	福島県郡山市外富久山町久保田142	電話郡山 267
名古屋営業所	名古屋市熱田区三本松通り2の35	電話名古屋㊇7674
延岡作業所	宮崎県延岡市東中川原町5059	電話延岡3632
岩国作業所	山口県岩国市今津川12	電話岩国 776

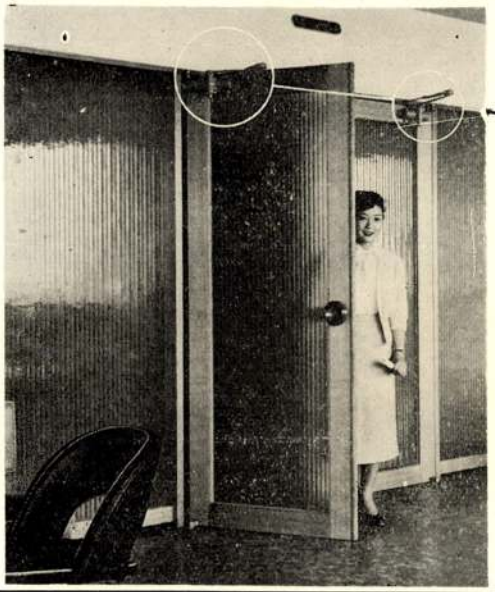
ORIENTAL

NHN

日・米・英・独特許

ニッカナ

ドアーチエック





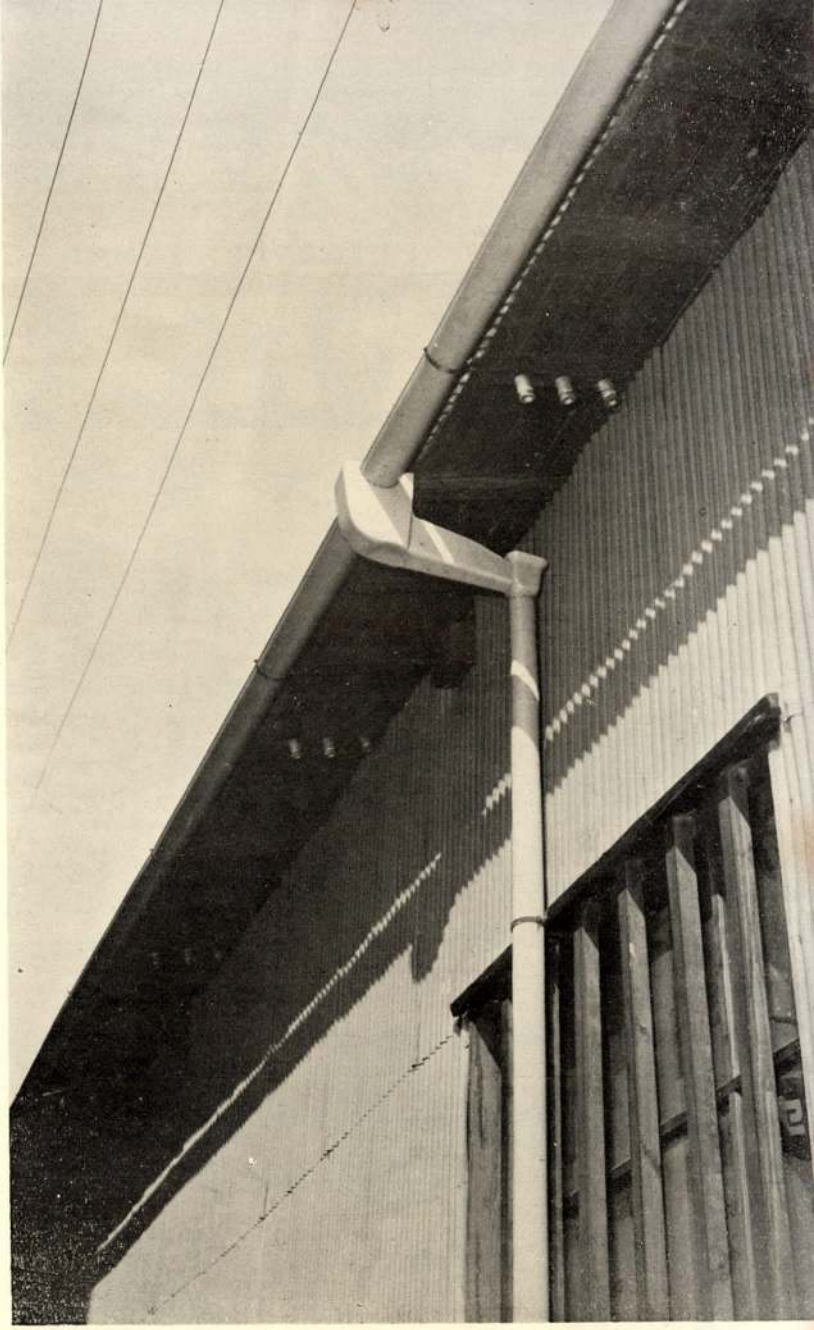
型状優美

故障絶無

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

錆びや腐蝕の心配は無用です……



■ セキスイのエスロンといは錆びや腐蝕のおそれがなくしかも取付けが非常に簡単にできます

■ エスロンといは上品で美しい光沢があり塗装の必要はありません

■ 一度取付けたら半永久的に使えますので極めて経済的です

―お申込み次第カタログを差上げます―

硬質塩化ビニル製

エスロンとい

大阪市北区宗是町一　積水化学工業株式会社

強力壁盤構造材

HERRING BONE LATH

ヤルズラス

大量製産

ウールボード

荒地にスグ張れる．毛面の美装吸音板（5寸巾6尺）

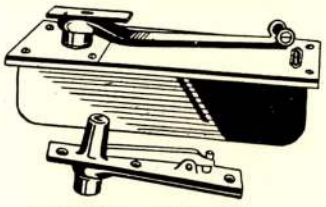
気泡 **スロール** 板

超軽量・防水・吸音・断熱にコルクの2倍（内装と防水工事に）

2尺角，3分4分5分1吋2吋厚（参考値坪1,400以上）

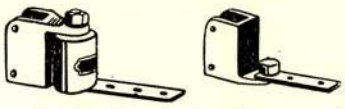
大阪（西）四ツ橋 株式会社 山東建材社 電（53）2936—7 / 4518—9 / 2843

NEW★STAR

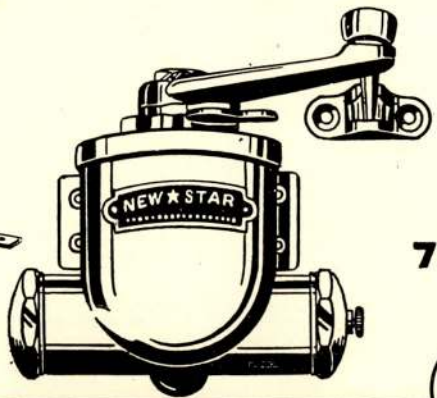


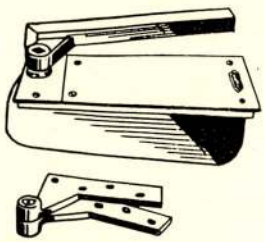
ドアーチエック

フロアーヒンヂ



ラバトリーヒンヂ





フロアーヒンヂ

輸出 ニューヨーク・ロスアンゼルス・マニラ・台湾 好評

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長 出向井啓蔵

本社工場 布施市横沼町三丁目十一番地 電話 大阪（72）代表6666—9

東京支店 東京都千代田区神田錦町一丁目二十三 電話 東京（29）1920・4920

会　合　便　り（10月分）

会館の開館式と開館披露

10日　11時——12時　於会館集会室

出席者　竹腰，東畑，鴻池正副会長外各理事，監事，各支部代表，評議員会正副議長，来賓　計50余名

11時より4階集会室に於て，御霊神社神官祭司の下に開館の神事を執り行い，引き続き簡単な祝宴を催した。竹腰会長の会館新設についての経過と後援者に対する謝辞ならびに今後の発展に対する期待を述べた挨拶に次で来賓代表として武藤建築学会々長の建築センター開設を喜ぶ祝辞があつて開宴し，一同歓談裡に開館を祝つた。最後に宮脇府建築部長の発声で協会の万才を三唱し，その前途を祝福した。午後は委員や関係者，出資者を招いて披露のビール・パーティを催した。出席者約 160名。引き続き翌11日には一般会員や学会々員に対して披露したが，来館者は 200名近くに上つた。なお両日とも来館者に祝賀の微意を表して紅白の饅頭を呈した。

理　事　会

10日　5時——6時　於今橋クラブ

出席者　竹腰会長，東畑副会長外理事15名

中西監事，吉田兵庫支部長外支部代表3名宮脇前九州支部長　事務局2名

議　事　（1）会館運営委員会設置の件　会館の開設に伴い会館運営委員会を設置することとし，これが委員に，会館設立委員であつた各位を委嘱した。なお大阪府建築士会，日本建築家協会支部からも各1名宛の委員を推薦願うことにした。（2）支部の事業その他に関する件 常務理事から支部の事業に関して説明報告があり，各支部代表者から支部の状況について報告があつた。なお九州支部の縮少に関する問題は，宮脇前支部長から先般竹腰会長と共に支部幹部の方々と懇談した結果について報告説明があり，一時支部の縮少も已むを得ないとの説もあつたが，審議の結果，現状推移で更に努力を重ねていくことに決定した。(3)A．I．A．ハワイ支部訪日団歓迎会の件 29日に学会支部と共催で行うこと，なお建築士会，建設業協会にも共催に加わるよう勧奨することに決定した。(4)入退会者詮衡の件（5）報告事項として会館の開館式並びに披露に関する件，日本学術会議会員選挙候補者推薦に関する件，9月会計報告，同事業報告などが行われた。閉会後，武藤学会長外を交えて一同会食の上，懇談を重ねた。

編集委員会

同歴史特集小委員会

12日　5時——7時　於会館談話室

出席者　佐野委員長外3名　事務局4名

足立幹事から「現代を中心にして歴史をみる」観点から企画を考えたい旨の提案があり，同幹事提出の具体案について審議の上，一応の案を纒めて本委員会に上提することになつた。

本委員会

13日　1時——4時　於会館会議室

出席者　佐野委員長外10名　事務局4名

議　事　（1）11月建材特集号経過報告（2）12月地方建築特集号経過報告（3）原論研究会の研究発表について討議した。（4）伊藤幹事から会勢審議会の状況報告があり，編集委員会としての方針を決めた。（5）来年度の編集方針について全編集委員に文書により問合わせることを決めた。（6）来年度の表紙のデザインを岩本委員に委嘱した。（7）1月歴史特集号の企画　小委員会案をもとに審議して企画を具体的に決定した。（8）その他投稿原稿と工高生デザイン・コンクール入選作品の取扱い方を決定した。

住宅委員会

17日　4時——5時半　於会館会議室

出席者　中野委員長外4名　事務局2名

委員長から，住宅のスライド製作の後援者は目下仲々見当らないこと，対社会啓蒙記事の掲載については産経新聞が非常に希望している旨の報告があり，片山委員から今後の住宅の在り方についての問題を強く取り上げて欲しい旨の希望意見が述べられた。なお次回には今日迄取り上げた問題の内で夫々関係の深い委員に意見の発表を願つて，これについて審議することに決定した。

教育委員会

24日　3時——5時　於会館会議室

出席者　竹内委員長外6名　事務局2名

議　事　（1）工高生夏期実習に関するアンケートの件　犬束主査欠席のため次回に報告を願うことに決定 (2)第2回工高生デザイン•コンクールの件　審査委員長の報告書によつて審査経過を事務局より報告し，表彰式，入選作品巡廻展示に関して審議決定した。（3）左官講習会の件　経過並びに実施要領を報告した。（4）鉄筋コンクリート技能講座の件　先般の講師打合せ会に於て決定した実施要項を報告し承認を得た。

左官講習会講師打合せ会

24日　12時——1時半　於会館会議室

出席者　寺岡主査，山田，森畑講師，事務局1名

25日より実施の同講習会について，実施の要領，講師の講義範囲などに関し詳細打合せをした。

事業委員会

29日　4時——5時　於会館会議室

出席者　鷲尾委員長外5名　事務局2名

議　事（1）忘年懇親会の件　例年の通り忘年懇親会を企画することとし，山本委員を主査に実行委員10名を委嘱して進捗を図ることとした。（2）11月の見学予定事務局より報告して承認を得た。（3）其の他（イ）委員長から，事業は差支えのない限り友好団体と共同で行うようにしたい旨を諮り，一同その趣旨を諒承した。（ロ）会勢審議会に選出委員が欠席の場合は必ず代理の委員が出席することとした。（ハ）会館を利用して出来るだけ若い人の集会の機会を多くするよう，これが方法について検討方を村上，三品の両委員に委嘱した。

講　習　会

左官工事工法の講習会を下記の通り実施した。

1. **日程・科目・講師**

10月25日	自6時至8時		
	映画「左官工事の出来るまで」上映		
	左官材料	講師	森畑　茂氏
26日	同　上		同　上
29日	洋　壁	講師	谷口尚武氏
30日	同　上		同　上
11月2日	日本壁	講師	山田幸一氏
5日	同　上		同　上

2. **会場**　大阪府教育会館4階大会議室
3. **後援**　大阪府建築部　大阪市建築局
　近畿地方建設局営繕部　大阪建設業協会
　大阪府左官工事業協同組合

聴講申込者 127名，各夜多数熱心な聴講者の出席をみて好評裡に終講した。なお竹内教育委員長は開講・終講に際して懇切な挨拶を述べて，受講者に修了証書を渡した。

見　学　会

国際電々株式会社大阪局舎見学会

12日　2時——4時半　参加者150名

7階講堂に集合して鷲尾事業委員長の挨拶で見学会を開始した。冷い飲料の接待に預りながら，清水建設越山設計課長の設計概要，同岡本工事主任の施工概要について，次いで電々会社室井営業課長から国際通信の状況，国際電々会社に関するP・Rの説明を聞き，これに関するスライドを観覧した。説明会が終つて5班に分れ上階より順次見学を行う。大変立派な各種厚生施設が整備され羨しいほどである。通信という特殊業務のために音響については特に考慮が払われ，全館殆んど吸音テックスが使用され，重要な場所ではテックスの孔が色々に違えられている。宿直室，更衣室，休憩室なども，業務の性質上からビル内の設備とは思われぬ程の大規模な設備がなされている。各階ホール，階段の壁のゾラコートが大変美しい。本館の高さより高い屋上30米のアンテナの塔屋がひときわ目立ち，外部の波型打放しのコンクリート仕上は又美しく異彩を放つている。本見学会に於ては建築の点のみでなく，国際通信の実況を見ることが出来て洵に有益な見学会であつた。

神戸国際会館と米国総領事館見学会

22日　2時——4時半　参加者450名

兵庫支部，兵庫県建築士会，同建設業協会，建築会との共催で行つたが，非常に多数の参加者をみて大盛況を極めた。先づ国際会館に於て2,000名収容の大劇場で山内副支部長の挨拶により見学会を開始，竹中工務店小川設計部長から設計概要について説明を承つた後，数班に分れて見学を行つた。各府県物産展示室，領事館事務室，一般貸事務室，NHK支局，国際ホテル，アート・ギャラリー，貸店舗，劇場などを備えた文化貿易センターとして多分に公共的性格を持つた綜合建築である。用途に応じた夫々特色ある仕上も美事で，地下1階，地上8階塔屋3階，延 7,200坪に近い堂々たる偉容は，正に港都神戸に相応しい会館である。見学を終つた一同は，大林組提供の貸切バスで，神戸米国総領事館に向つた。米国のミノル・山崎氏の設計で，本館，館員宿舎，車庫使用人宿舎の三棟に分れ，何れも外部のみならず鉄筋コンクリートの打放し仕上の箇所が相当ある。米国人の使用建物であるからその設備は至れり尽せりで，館員宿舎の如きも日本人との生活程度の差が明らかに看取される。建築は未だ仕上げ完成に到つていなかつたが仲々立派である。見学後一同は本館2階で大林組より茶菓の接待に預りながら色々と質疑応答懇談を交わし，再びバスによつて帰路についた。

通天閣展望塔見学会

23日　2時——4時　参加者110名

第二次大戦に際し鉄材供出で取り毀された通天閣が，戦後11年にして再建されて大阪の一名物が復活した。内藤多仲博士の構造設計で株式会社奥村組の施工である。最高部は地盤面より 100米の高さ，最上階にはテレビ中継室があり，地階は約 260坪で売店などが設けられることになつている。エレベーターで2階（事務室その他）3階（展示室，売店）4階（食堂その他）を過ぎて5階6階の展望台に到る。5階の展望台は地上83米に及び，眼下の新世界，天王寺公園は恰も箱庭を見るようで，遠く大阪全市が一望の下に収まる。会社は一日 5,000人の

入場者を予定している由で，行楽の季節には定めし附近は大賑いを呈することであろう。

大阪テレビ放送株式会社見学会

27日　1時半——4時　参加者130名

本社屋は清水建設の設計施工で，鉄骨鉄筋コンクリート造，地下1階，地上4階の，テレビ放送最新の機能を具えた建築である。先づ鷲尾事業委員長の挨拶で会を開始し，清水建設越山設計課長の設計概要についての説明を伺つた。テレビ放送については従来施工例が少いので設計には大変苦心をせられた趣である。地盤軟弱のために変電室関係が4階に設備されたり，また色彩については会社の標準色である黒と黄を主調として甚だ異彩を放つている。説明後，本建築の施工映画を観覧し，更に守尾中継課長からテレビ放送の機械設備について詳細なお話を承り，5班に分れて館内の見学を行つた。文化施設として洵に立派な建築である。一同は堂島河畔に一極わ目立つ色彩を持つた瀟洒な姿を眺めて，この関西最初の民間テレビが，魅力ある充実した内容の放送を一日も速かに開始されんことを期待して見学会を終つた。

桂離宮・修学院離宮見学会

恒例により夫々下記の通り実施した。

桂離宮見学会

10月30日　11時　参加者15名
31日　9時　〃　15名
11月1日　1時半　〃　17名

修学院離宮見学会

10月30日　9時　参加者12名
31日　9時　〃　12名
同日　11時　〃　12名

A．I．A．ハワイ支部訪日観光團歓迎晩餐会

29日　6時——8時半　於大阪クラブ

A．I．A．ハワイ支部訪日観光団一行来阪につき，学会支部，建築士会，建設業協会と共催で歓迎晩餐会を催した。席定まつて本会竹腰会長英語で歓迎の挨拶を述べ，ハラ団長これに応えて謝辞を述べた。次いで出席者一同自己紹介をして懇親を交わす。会食に入るに先立つて，訪日団持参のハワイに於ける建築のカラー・スライドを映写し，団員からその特長などについて説明が行われた。会食は終始相互歓談の中に楽しく終り，デザートに入つて双方から夫々2，3人宛が指名によつてテーブル・スピーチを行つたが，時に大いに笑声を誘うなど和やかな会合であつた。別室の休憩室に移つてからも，あちこちと大変話がはずんで充分に交歓の目的を果し名残もつきなかつたが，クラブ規定の時刻も過ぎて一同残り惜しくも散会した。当日の参会者は客側9名を合せて主客30名に上つた。

京　都　支　部

京都府建築士会，京都建設業協会と共催で下記の通り見学会および映画会を催した。

1．見学会

日　時　10月28日
場　所　イ，光悦寺の庭園
　　ロ，北山丸太
　　ハ，市交通局庁舎新築工事

2．映画会

映　画　佐久間ダム建設記録
日時及場所
　　イ，11月5日　於京都市中京中学校講堂
　　ロ，11月6日　於綾部市綾部幼稚園講堂

和歌山支部

10月1日9時半より5時迄，和歌山市城内労働会館に於て左官工法の講習会を開催した。聴講者約130名，講師および科目は下記の通りであつた。なお会場内には各種の左官材料並びに仕上見本多数を展示して，聴講者の参考に資した。

左官材料	講師	森畑　茂氏
洋　壁	〃	谷口尚武氏
日本壁	〃	山田幸一氏

杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市西区西長堀北通四丁目一〇細野ビル三六号
電話新町㊾九九五～九九八

間仕切天井・
には軽量鉄骨
を・軽量鉄骨
は日進式を御
採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社　奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四

関西建材協会・10月会報

事務所移轉　2日午後より

朝日ビル6階事務室より北浜三丁目新設の近畿建築会館三階事務室に移転を了した。朝日ビルに於ける本会荷物並びに日建設計工務KK旧展示場に保管中の備品共搬入した此の日，田島応用化工KK大阪出張所より運搬車並びに人を提供されたことを感謝する。

総務部会　3日正午～2時　於田島出張所

金光部長並びに笠原副理事長ほか部員7名出席秋季大会開催の件。事務局親睦会設置に関する件。展示場クラブ室運営の件。本会員中より顧問推薦の件。理事会出席は代人を認めない件。等協議した。

理事会　6日於浪速合板KK 4時～8時

室谷理事長以下16名，下記協議した。

陳列場開館と招待の件。展示場と談話室運営の件（宣伝と事業部一任とする）。事務所と事務局の件（従来，建築協会内にあつた事務所を近畿建築会館内に置き，事務一部を建築協会に托することになつていたが，本月より新に採用嘱託共6人となつたので独立の事務局を設けた尚，職員親睦会の結成も認め応分の援助を申合せた）。秋季大会の件（舞鶴日本板硝子工場見学と天の橋立観光一泊旅行11月16日挙行決定した）。顧問推薦の件（従来，会員外の先生方のみとしたが今後，会員中有力者，長老中よりも推薦することとし，候補者を各自検討することとした）。理事，役員代理出席に関する件（理事並びに役員は重要な会に代人を出席さした場合は単に連絡報告に止ること，発言権や議決権はないこと，本会々則は委任権を認めてないから当然の事なるが改めて一同確認申合せた）会員の登録商標につき証明の件（所属部会で充分検討することに申合す）。次に議事終了後，浪速合板KK特別作成のモデル・ルームを見学，散会したので当日，村石理事より夕食と同社特製の合板製盆を各自に寄贈されたことを誌上より感謝申上げる。

近畿建築会館と展示場開館式　10日10時～5時

展示9日夜10時迄大部分終了した。本日10時より開館式挙行後160人来館。

展示場と談話室運営会　12日　3時～6時30分

宣伝と事業部委員出席（理事長外7名）当分合議制とする。一階北室壁面使用位置を決定料金を定む。其他使用せぬこと。植木鉢は月¥3,000位で出来る限り配置する。明春より2ケ月毎に拡大展示を行う。二週位¥5,000～1,000位？宣伝は新聞雑誌当分月一万乃至二万位を予定する。ネームプレトは太すぎる，一寸位カット説出たが当分現状通りとす。二小間のところ一個に改める。クラブ室は番茶・紅茶と清涼飲料位とし，ケーキ位用意する。市価より低廉とする。

建物保全部会　13日　本部会にてはマルシン商会と沢田商店当番幹事肝入りで秋季大会をかねて懇親松茸狩を催した。会する者10名，茨木の山里を訪ね秋色を賞で盛会であつた。庶内主事参加した。

展示場開設披露会　16日 3時～5時

建材協会理事会顧問，新聞社，出資者，出品者約150社案内，当日約100人来会，大和事務局長開会と次第を述べ司会，室谷理事長経過報告と寄贈先謝意，中村会長挨拶と将来の抱負を述べ発展を期し乾盃，尾崎博士顧問を代表祝詞を述べ，一同ビールの満を引き歓談後随意館内見学，菓子包と折尺を土産として解散。

展示場一般招待　17日～20日迄4日間を関係方面の一般招待日とし理事者全員出場割で来館接待した。毎日50人～100人であつた。

天皇皇后様御通過　31日午後2時40分，会館前御通につき一同展示場前に整列，歓送した。

○十月新入会者紹介

中外商工株式会社　（代表者　春田政三西区靱下通一丁目13，電話㊿4163・2587，348～9

防水部門エバータイト，エバシール，プライマー

ニホン・ボード販売株式会社　（常務・浜野昌平）

東区京橋三丁目五三　電話㊾6425

ベニヤ壁材部門　ニッポン・ボード販売

○展示場開設につき下記の通り寄贈を受けました。誌上より厚く謝意を表します。（順不同）

山崎産業KK殿　入口ゴムマット二種

福井外吉商店殿　棕梠マット，バケツ，ホーキ，ハタキ

水島商店殿　入口ゴムマット

浪速合板KK殿　合板製盆数個

田島応用化工KK殿　三階事務室物置タイル張り

日本金具KK殿　三階事務室ドア・チエック1個

KKライト製作所殿　三階事務室ブラインド二窓

KKケントク殿　9日深夜各階床磨清掃工事

○尚，16日展示場開設披露会当日，下記各社より応援のため社員御派遣，御手伝頂きましたことを感謝申上げます。

KKケントク様社員御ふたり　**山本窯業研究所様御一名**

日新工業KK様社員御一名　**山本建材社様社員御一名**

以上順不同

○建築会館電話と館内連絡案内

建材協会専用電話㉘7172番

建築協会外各会用㉘9648.9649.9640

館内連絡テレホーンで各階各室に通じます。

驚異的"製品

ライト L.B.S.型
ベネッシャンブラインド

株式會社ライト製作所

本社工場　大阪市城東区野江東之町三ノ七八　TEL(33)3638・1183・8592
東京営業所　東京都千代田区西神田一ノ八　TEL(29)8777・8487
梅田営業所　大阪市北区曾根崎中一丁目　TEL(35)3801
広島出張所　広島市稲荷大橋東詰　TEL(4)1506

TRADE L MARK

通風日除．窓飾．暗幕と
三ツの目的に成功した 七ツのPATENTを持つ
ライトの素晴らしいベネシャンブラインドです

田中式 スカイライト

オペレーター　スチールサッシュ
ベンチレーター　設計施工

田中工業株式会社

本　社　東京都墨田区吾嬬町東4ノ122　電話城東(78)0870,0970
錦糸工場　東京都墨田区錦糸町1ノ25　電話本所(63)0790
小倉工場　小倉市鍛冶町1ノ1　電話小倉653　【出張所】川崎・名古屋・小倉・広島・札幌
大阪出張所　尼崎市南竹谷町2ノ89　電話大阪(48)545

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地
電話大阪(34)207～8・4836～7

給排水：衛生　設計施工
暖冷房：換気

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話豊崎㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話祇園⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話元町④5892

電気・暖冷房・水道・衛生
設計施工

株式会社 大阪電気商会
会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話土佐堀㊹代表5231～5番
東京支店　東京都中央区銀座西二丁目一番地
電話京橋㊺代表6291番
名古屋支店　名古屋市中区南武平町二丁目一番地
電話中㉔代表4491番
出張所　京都・神戸・岡山・広島・福岡・熊本
仙台・新潟・金沢・福井・札幌

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話本町局㉘代表4496～8番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話 28 局 6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢本局②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話 福井2436
高松出張所　高松市中新町一〇六ノ三　電話高松5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 齋藤省三商店

東京店　東京駅前 丸ビル6階 676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話 土佐堀㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四(札幌駅前)
電話札幌②0010・0956　③4661

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業株式会社大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局 2951 3076
本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市福島区堂島浜通4丁目
電話㊺代表1171番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話㊸代表7151
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓　2780
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤　1989
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電話福島㊺3416～8番
東京事務所　東京都港区西芝浦三丁目一番地
電話三田㊺9371番

空気調和装置及衛生設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店
大阪市北区中ノ島三丁目(朝日ビル九階)
電話北浜㉓1334～8
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

煖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山俊人

本社　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～4番
支店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話四谷1324番
出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④5377番

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区堂島北町一四　㉞代表7031
出張所　東京都港区芝琴平町四〇　㊽8478・1470
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820～2
福井市宝永上町一〇五　②1596
広島市石見屋町五五　②1773
福岡市薬院大通一丁目一七　④1158

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設　計　施　工
高砂熱学工業株式会社大阪支店
大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電話北浜㉓1334～8・7359
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工
東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店
大阪市北区堂島船大工町五三番地(毎日大阪会館内)
電話大阪㉞局代表8356
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
出張所　名古屋・九州　　工　場　足立

電気工事設計施工
変圧器電動機電気冷蔵庫
電気洗濯機販売修理
工藤電気株式会社
大阪市北区太融寺町五四
電話・大阪㊱2891－5番
工　場　大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話淀川㊼3477・3478
営業所　東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工
淺海電気株式会社
取締役社長　**淺海正雄**
大阪市東区北浜二丁目六九
電話北浜㉓5273－5275・4241
営業所　東京・神戸・岡山・小倉・札幌

電気設備工事
設　計・施　工
朝陽電気株式会社
取締役社長　山本博三
本　社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル6階
電話　大阪局㉖8851番・㉓9531・1334・2351
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話　大阪局㊹4595・7563

電気工事全般設計施工
中央電気工業株式会社
取締役社長　**今村　騰**
本　社　大阪市北区曾根崎上一丁目四一
電話　大阪㉞8131代表～4
営業所　東京・新宮・御坊

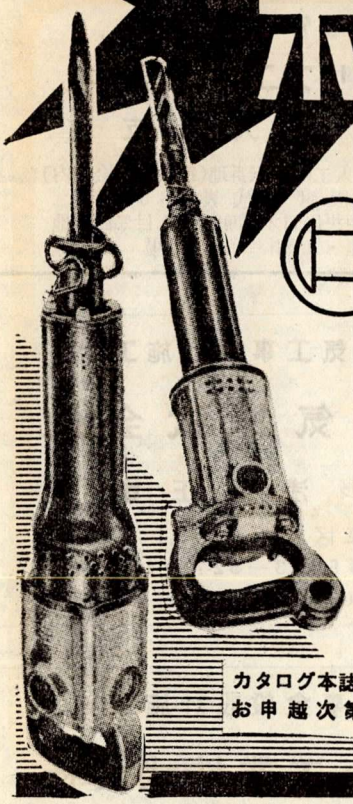
三菱電機製
NFノーヒユーズ分電盤　NFノーヒユーズ配電盤
螢光灯・モーター・変更器・冷暖房・エレベーター
三菱電機株式会社元扱店
株式会社　立花商会
大阪市東区南本町二丁目四三番地
電話本町㉖0323・1575－9

電気工事設計施工
株式会社野上工業所
取締役社長　野上清二郎
本社　大阪市東区北浜三丁目四七　電話北浜㉓770～3
支店　福岡市上東町十五　電話東③5010
支店　松阪市本町電話　13
出張所　東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分

HAYASHI PAINTING
CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社　**林塗装店**
TEL　大阪・船場㉕1756－7　東京・神田㉕1435

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大　阪　支　店
大阪市北区曾根崎新地三丁目五十三ノ一
(市電桜橋停留所前)電話大阪㉞1274～6
支　店・徳　島・神　戸・姫　路・東　京

ボッシュ電動式ハンマー



カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

強力・堅牢・高能率

穿孔・削切兼用・(電灯線使用)

コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店

株式会社 **峰岸商店**

大阪出張所　大阪市西区江戸堀上通1丁目18番地
電話土佐堀㊹2181番

千田産業株式会社

広島市千田町1丁目602番地　電話南④2804番

特許 **奥山式** 熱工法 冷工法 **綜合防水層**

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3　TEL 銀座 (57) 2703—4・2370・4064・0264

(NK) 浪建式

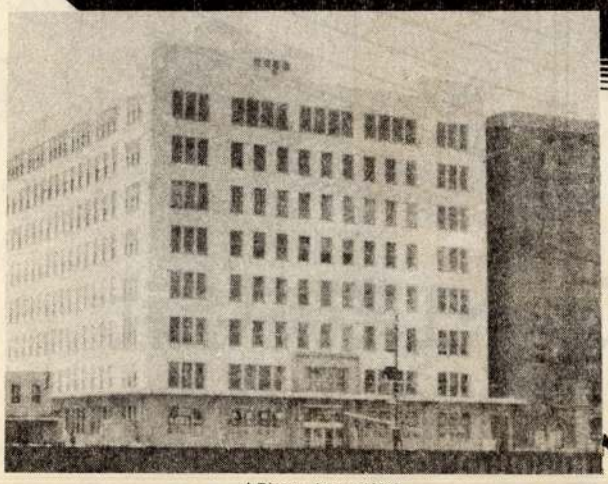
スチールサツシユ・ドアー
シヤツター・オペレーター
－製造販売－

日満ゴムタイル
全國総代理店
責任施工

大正十四年創業
浪速建枝工業株式會社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㉝1171～3番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㊺4611
福岡営業所・福岡市大名町二丁目98　電話西②4948番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番

A.K
アサヒのドアーサッシュ


大阪ビルデイング新館

スチールシヤッター　オペレーター
普及型軽量サッシュドアー
軽便シヤッター

設計・製作・取付

旭鋼鈑工業株式会社
本社及工場　大阪市城東区野江西之町1丁目44番地
電話城東㉝3169・5927
営業所岡山・高松
御一報次第参上、カタログ進呈（広告誌記入乞）

JAS規格合格品

九德天井板

浮出式杢桟・印刷杢・塗装式杉桟・桐桟

日本楽器合板 ヤマハボード 関西総代理店
東洋プライウッド特約店

浪速合板 大阪市浪速区幸町通3の20
電話大阪㊾2201(代)

吸音多孔合板
ベニヤトーン

日楽の繊維板
ヤマハボード

瑞典のハードボード
エロナイト

ポリエステル化粧板
エステライト

高級接着剤
ポリゾール

コガネライト

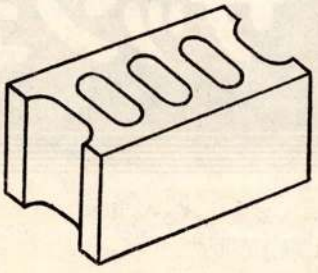
軽量コンクリート用 軽石

蛭石焼成品
断熱・耐火・軽量・防音・美麗

製造販売 **玉置産業株式会社**

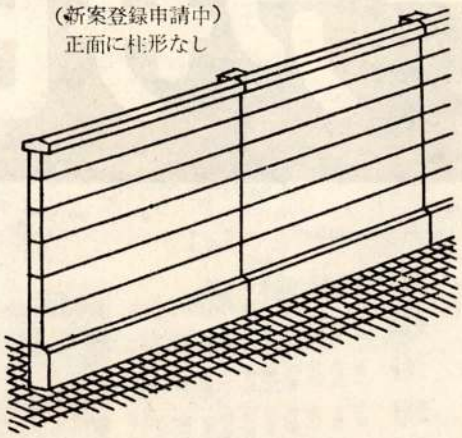
本社 大阪市南区心斎橋筋南詰東入 電話代表㉗5675番
神戸支店 神戸市東灘区御影町 電話御影⑧3016番
工場 大阪市大正区三軒家 電話泉尾㊺1719番

M.K. 三国ブロック



みくに塀

(新案登録申請中)
正面に柱形なし



製造販売 **三国コンクリート工業株式会社**

大阪市住吉区北加賀屋町3丁目3番地
電話 ㊼ 4464番

アサヒトーン
（吸音耐火ボード）

・吸音効果大　・燃えない　・美　麗　・低　廉

燃えない建築資材

アサヒ印 耐火ボード・石膏ラスボード

大阪耐火ボード株式会社

大阪市北区（堂ビル）電話大阪㊃4033・4034㊃1141　ボード工場　電話豊崎㊲1144

広告目次 （50音順）

浅海電気kk …… 3
旭鋼板工業株式会社 …… 5
伊奈製陶kk …… 中挟 1
泉石綿工業kk …… 13
kk岩佳鉄工所 …… 8
岩元工業kk …… 9
kk栄興商会 …… 2
kk荏原製作所 …… 表紙 4
オリエンタルメタル製造kk …… 中挟 2
大阪建材工業kk …… 16
kk大阪城口研究所 …… 2
大阪耐火ボードkk …… 7
kk大阪電気暖房商会 …… 2
大島応用化学工業kk …… 10
kk奥村重兵衛商店 …… 71
奥山化工業kk …… 4
織本特殊構造研究所 …… 12
大阪化成kk …… 前付 3
樫野石灰工業kk …… 3
kk川岸窯業 …… 11
関西三星タイル会 …… 15
関西ペイント …… 表紙 3
工藤電気kk …… 3
木下謹三商店 …… 表紙 3
kk久保商店 …… 1
kkケントク …… 16
kk建材社 …… 2
kk金剛商会 …… 11
kk工英社 …… 表紙 2
斎久工業kk …… 2
kk斎藤省三商店 …… 2
三機工業kk …… 2
kk三幸商会 …… 13
kk三晃商会 …… 2
彰国社 …… 68
新興建材工業所 …… 14
須賀工業kk …… 2
kk青商店 …… 67
kk鈴木シャッタア商会 …… 13
住友金属工業kk …… 表紙 3
セメダインkk …… 前付 2
積水化学工業kk …… 中挟 3
西日本アスファルト防水事業協同組合 … 表紙 4
田中工業kk …… 1
田中風呂製作所 …… 10
田辺工業kk …… 39
田村商会建材部 …… 10
大正鉄筋コンクリートkk …… 11
大日本硝子工業kk …… 表紙 3
大仏組 …… 11
高砂熱学工業kk …… 3
kk武智工務所 …… 71
kk立花商会 …… 3
玉置産業kk …… 6
中央電気工業kk …… 3
朝陽電気kk …… 3
つねなりすたじお …… 13
東邦商会 …… 11
東京鋼板工業kk …… 9
東洋キャリア株式会社 …… 3
東洋陶器kk …… 前付 4
東洋リノリユームkk …… 前付 1
東洋レーヨンkk …… 前付 4
中之島製氷kk …… 前付 1
ナニワ瓦kk …… 11
内外工業kk …… 13
内外土木建材社 …… 8
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk …… 5
長浜合板kk …… 10
日東石膏kk …… 8
日本金具製作所 …… 中挟 2
kk日本シャッター製作所 …… 9
日本ドアーチェック製造kk …… 中挟 4
日本セメント防水剤製造所 …… 表紙 3
kk西原衛生工業所 …… 2
日昌工業kk …… 8
kk野上工業所 …… 3
kk林塗装店 …… 3
合資会社汎建製作所 …… 12
kk日立製作所 …… 表紙 2
福昌kk …… 10
福屋工業kk …… 13
藤森工業kk …… 前付 3
豊国セメントkk …… 9
水谷ペイントkk …… 66
kk三高製作所 …… 12
kk三谷製作所 …… 12
三角窯業大阪営業所 …… 13
三国コンクリート工業kk …… 6
kk峰岸商店 …… 4
kk室谷商店 …… 11
kk山本建材社 …… 中挟 4
油脂化工社 …… 表紙 3
kk吉田芳雄商店 …… 1
kk淀川製鋼所 …… 前付 2
kkライト製作所 …… 11

特別広告関係 （順不同）

清水建設kk …… 9
大阪市西区土佐堀通2－2
電話㊃代表1531

須賀工業kk …… 11
大阪市福島区堂島浜通4丁目
電話㊃代表1171

kk淀川製鋼所 …… 10
大阪市東区博労町4の30
電話㊃0351

kk亀井組 …… 10
大阪市北区兎我野町32
電話㊃1480

松下電工kk …… 11
大阪府北河内郡門真1048
電話㊃代表6663

大阪窯業セメントkk …… 12
大阪市北区堂島浜通2
電話㊃代表6131

日東プラスターボード

吸音ボード
ラスボード

日東プラスター

クリームプラスター
ボード用プラスター
NHプラスター
キーンズセメント

日東石膏株式会社大阪営業所
大阪市南区順慶町四丁目六六番地　電話㉕0094・4848番

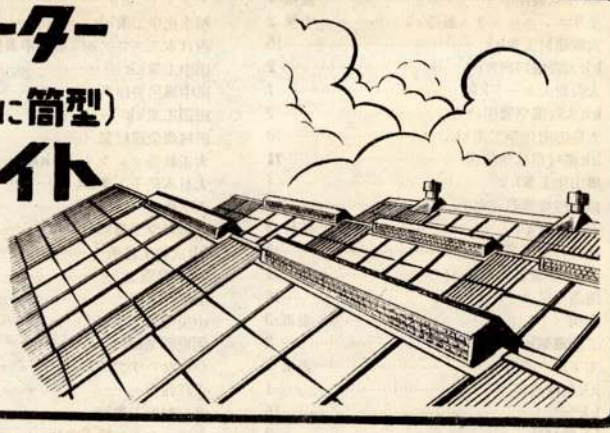
優秀機能ヲ誇ル
岩住式シャッター
ドアー。サッシュ。メタルラス
(JIS 557)

最新ノ機械設備
最高ノ設計ト技術
不撓ノ研究ト改良

株式会社岩住鐵工所
大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地
TEL淀川(47)代表4351・4352・4353・0903・0904

内外式ベンチレーター

性能を誇る〔コンチニアス並に簡型〕
内外式スカイライト



一般硝子屋根＝ワイヤ波型硝子屋根
設計施工
株式会社 内外土木建材社
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）
電話土佐堀(44)3983番4396番

ナゴヤ・ボード

吸音新製品 1尺×8尺　4尺×8尺
日昌工業株式会社
大阪市旭区生江2丁目 電話㉟3356
東京都中央区日本橋蠣殻町1の11 電話㊼5873，4091
製造元 名古屋木材株式会社

日昌式安全葺
金網入波型ガラス
規格 巾2尺4寸×長さ6尺
(カタログ進呈)
日昌工業株式会社
大阪市旭区生江町2丁目40 電話㉕3356
東京都中央区日本橋蠣殻町1の11 電話㊼5873，4091

スチールサツシユ
スチールドアー
スチールシヤツター

東京鋼板工業株式会社

大阪支店
大阪市東区十二軒町八番地　電話東㊾ 2674 7303
本社及工場
東京都荒川区尾久町5ノ1.000　電話荒川㊽8131-4


大阪府営堺宿院店舗付共同住宅

戸締ノ改革

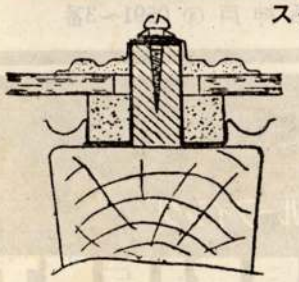
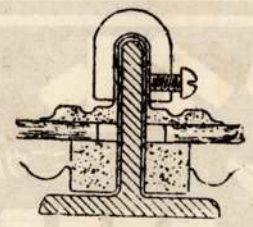
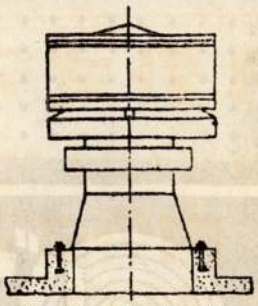
PATENTS No:414855 No:414856 No:35528

店舗、倉庫、ガレージ等ニ最適デス　開閉ハ
片手ニテ軽ク揚ゲ降シ致シマス　価格ハ至極
低廉デス　御一報係員参上、カタログ進呈

専問製作
株式会社 日本シャッター製作所
大阪市東淀川区田川通6丁目38
電話豊崎㊾439

特許岩元式 スカイライト・並ニベンチレーター

スチール サツシユ・ドアー・オペレーター其他修理
設計
並
施行
カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話東㊾8870・9350
倉庫　大阪市天王寺区堂ケ芝町5
電話天王寺㊲6980

豊国セメント株式会社

本社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京



各種銅鐵風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・ガス風呂

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町一丁目七四二　但シ賑橋電停前

田中風呂発売元

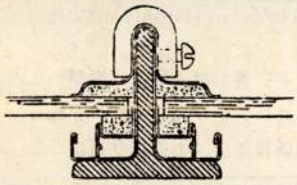
電話 戎 ㊻ 5313・8128

坂本式スカイライト

営業種目

坂本式 スカイライト　坂本式 ベンチレーター
OK式 工場用 サッシュ 一般建築錺工場

坂本式ベンチレーター



関西総発売元

福昌株式会社

大阪市北区中之島三ノ三（朝日ビル）
電 ㉓ 3934～5
電 ㉟ 7588（作業所）



ヨツメ アコスボード

日本楽器製 高級合板
タムテキス
ヤハズラス
フローリング

田村商會 建材部

神戸市生田区栄町通2ノ39（安田火災ビル）
電話 神戸 ③ 0591～3番

エバーブライト

アルミニウム ルーフイング

EVER BRIGHT

大島応用化学工業株式会社

本社・大阪市城東区野江東之町4丁目 電話 城東(33) 4481　支店・新居浜，出張所・広島・四日市

近代建築・・・・新製品
硬質塩化ビニール

室内装備・・・・
家具類には・・・・

長浜合板株式会社

ビニール合板

コルクボード

長浜工場　長浜市南呉服町四三一　TEL 317
大阪営業所　大阪市東区安土町二丁目一ニ　TEL㊿ 271
東京営業所　東京都中央区八重州三ノ七　TEL㊿4973
若林製絲紡績KK内

風雨に強く
和瓦より安い
大和洋瓦（だいわ）

發売元
大仏組
大仏瓦・各種和洋瓦
工事請負一式
本店 京都市東山区今熊野池田町九 ⑥3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町一丁目 ㉞ 975

木毛セメント板

東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話天王寺㊼1296
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山298番

タイル 衛生陶器
販売と施工
奉仕感謝の店
株式会社 川岸窯業
大阪市西区靱北通一の五（市電京町橋電停前）
電話土佐堀㊹2571番

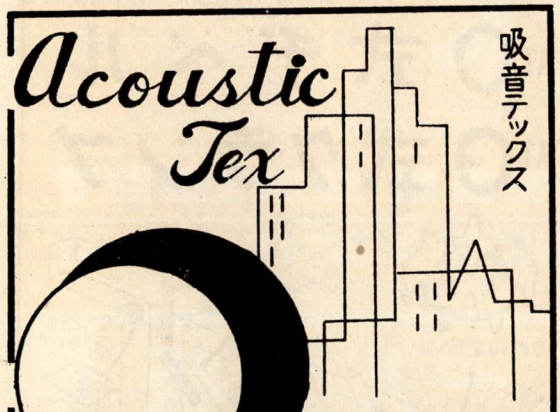
耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

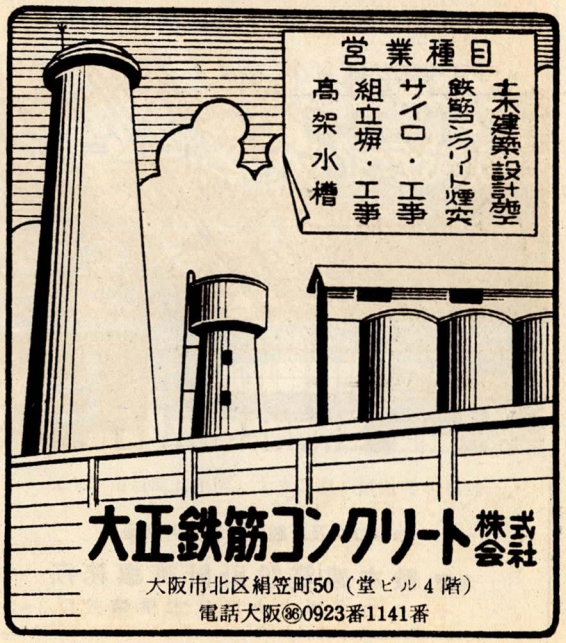
株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話堀川㉟3402・9034

特許植物性 型枠離剥塗料
サンヒット
関西代理店 株式会社 金剛商會
大阪市西淀川区野里町1231 阪神国道電車 野里電停前
製造元 東京 坂巻サンヒット商会 電 淀川㊼0417・4091

台風に強い
ナニワS瓦
赤褐・黒・緑・青緑色
真空処理された
優秀瓦

大阪市浪速区元町一丁目七四二
市電眼橋（ナンバ）電停西側
ナニワ瓦株式会社
電話戎（六四）五〇六五番

Acoustic Tex
吸音テックス

株式会社 室谷商店
本社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881～3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

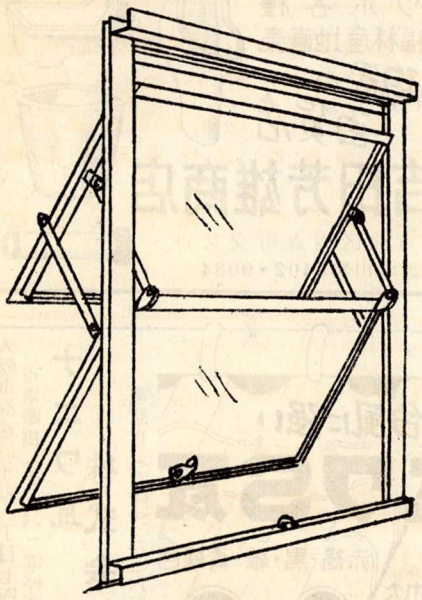


大正鉄筋コンクリート株式会社
大阪市北区絹笠町50（堂ビル4階）
電話大阪㊱0923番1141番

三高式 ドアーハンガー　スチールサツシュ
三高式 オペレーター　スチールドアー
三高式 重量戸車　スチールシヤッター

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社工場　大阪市東区谷町五丁目二八　電話東㉔2969・0444



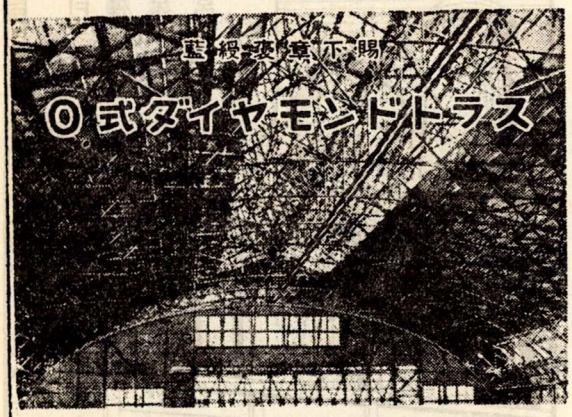
一般製品 スチール サツシユ
スチール シヤツター
スチール ドアー

独特製品 汎建型上下げ窓
双脚の四面が摺り合され自然に気密度が高い。
神高型竪形辷出し窓
両開きや片開きに代る堅牢で耐久な構造。
連動突出し辷出し窓
辷出しと上釣りとが完全に平衡連結され操作軽快、開閉確実、体裁優秀な新型。
遞増減分銅付きシヤツター
大型シヤツターも軽くはやく開閉出来る。

新規製品 普及型上吊り引違い窓
質実堅牢で最も廉価・校舎宿舎などに最適

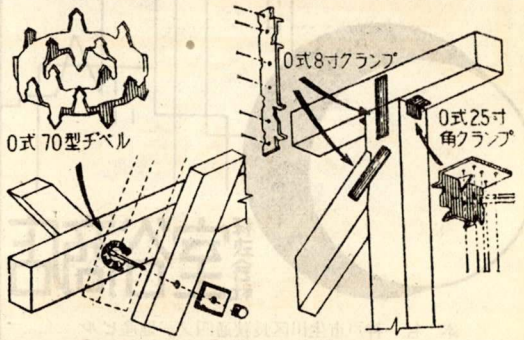
合資会社 汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町十一番地　電話 此花㊻2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS



設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈
考案 織本建築設計計算事務所

官公庁御採用　耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に
PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ



販売 織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

陶管・ベンチレーター

株式会社 三幸商会

大阪市北区曽根崎上一ノ四一

電話 大阪 ㉞ 3145

ヒューム管

鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町三十三番地

電話 豊崎 ㊲ 98・5837・8729

石綿質

ウォール　建物内外壁、天井、扉、ブラインド等

防音板　吸音

ミルボード　保温、耐熱、耐火、パッキング

特製煙突用バンド金具及防火板
煙突用石綿パッキング
石綿原料及石綿製品岩綿原料及岩綿製品、瀝青用再生石綿

製造販売 泉石綿工業株式会社

呈カタログ　大阪市北区北同心町一丁目十一番地の九
電話 堀川 (35) 3442

N.G.C式

セルコンインシュライト断熱材関西総販売店
メタリヤンミツシユ D.M 38番責任施工
米国パブココンパウンドアスファルト販売

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルトモルタル工事

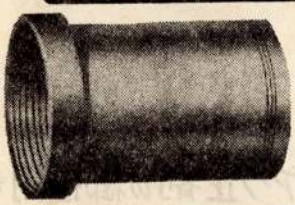
内外工業株式会社

脇山静夫

大阪市阿倍野区旭町一ノ五一

電話 ㊹ 34341～6

特許アサヒ印陶器製ベンチレーター　一手販売特約店・特許三和かまど　大阪　和歌山一手販売特約店



陶管・大正便所・衛生陶器・ヒューム管

金剛パイプ・ルーフドレン・マンホール・流司・洗濯槽

三舟窯業大阪営業所

大阪市阿倍野区北畠東一丁目三二　電話天下茶屋㊻9321～2番

阪和コンクリート工業株式会社大阪代理店・日本ゼニスパイプ株式会社特約店

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目卅一
電話 新町 ㊸ 3426～7

建築写眞

合名会社

つねなりすたじお

恒成一訓

大阪市東区北浜3—40　電㉓—0141

特殊壁材製造並
右官材料專門卸

セメント防水剤は世界的水準を行く
JIS合格品の御使用を!!



シンケン
防水剤・急結剤

近代建築の和洋室内壁は
防音・保温・落ちぬ・趣味豊かな塗壁材

いすゞかべ

劇場・洋室・学校講堂・公会堂等の内壁には防音・保温の(塗り着けるテックス)

チェリーウオール

(新発売) 純日本趣味の塗り良い優雅な壁

錦帛壁

セメント・石灰・プラスターの着色剤は純鉱物性・絶対不変色

チェリーカラー

セメントの(アク)で御困りの場合は

シンケン

セメント・アク止剤の御使用を

水溶性特殊接着剤シンケン糊・桜印酸化黄・
ラスヒゲコ・末広布連・其他特殊材料発売元

(型録御通知次第御送附致シマス)

株式會社新興建材工業所

大阪市西区四ツ橋・電話新町(53)1988・9720番
工場 大阪市住吉区東長居町36・電話住吉(67)212番

color conditioning for flooring

三星アスファルトタイル

カタログ・見本 御申込次第お送り致します。

責任施工代理店（順不同）

〔近　畿〕

三友工業株式会社
大阪営業所
大阪市東成区大今里町655
大阪セルロイド会館内
電話南㉕8031～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20
（日本橋電停前）
電話南㉕471・472
京都出張所
京都市中京区河原町夷川下ル
電話③3299

株式会社
木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話土佐堀㊶5408・5486

株式会社
久保商店
大阪市北区真砂町5
電話大阪㉞207・4836～7

タテバヤシ商店
京都市上京区大宮通四条下ル
電話壬生㉞4468

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話湊川⑤2697

〔中国・九州〕

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町108
電話中②2281～3

青盛建材岡山営業所
岡山市東田町3
電話②7911・8169

青盛建材福岡営業所
福岡市萬行寺前町14
電話東③1225～6

〔東　海〕

株式会社
名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話中㉔1329・2106・2817

合資会社
岡田建材店
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話西㊸0121・2057

【専属の職人養成並指導】
和泉産業
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話戎㊹3286

関西三星タイル会



家を建てたら・・
ツヤ出しケントク

——板の間・廊下に——→

新築に

水拭きではすぐに黒ずみニス・ラッカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



板の間 廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

ケントク

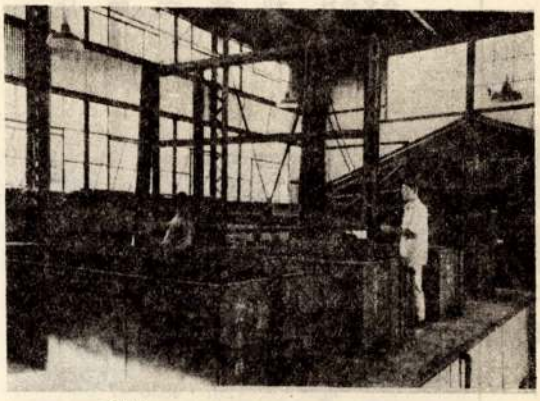
白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ポンド二九〇円で約五坪みがけます



大阪市東淀川区新高南通1—14　KKケントク　電話㊊3416・1668

サッシュ

ドアー
シャッター
オペレーター



当社パーカーライジング工場の一部

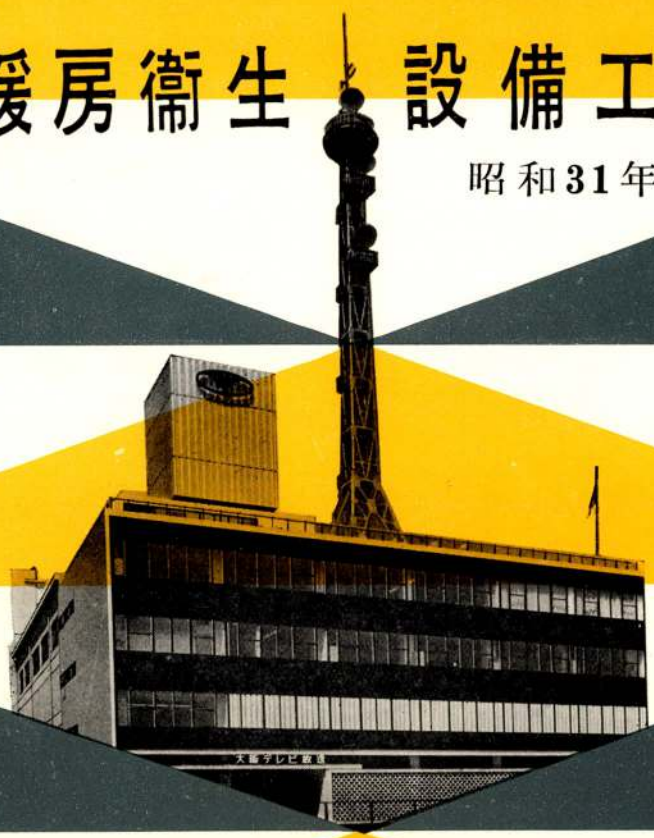
大阪建材工業株式會社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町二一　電話南（75）507・3137・3138
堺工場　堺市松屋町一丁六番地　電話堺(102) 1586・4800・4801
泉尾工場　大阪市大正区泉尾浜通リ四ノ六一番地　電話泉尾（55）223
出張所　名古屋・金沢

大阪テレビ放送株式会社

冷暖房衛生設備工事

昭和31年12月



施　工

須賀工業株式会社

全関西の輿望をにない民間テレビ放送の殿堂として誕生しましたこの建物は、外は堂島川畔に新偉容をそばだて内には近代科学の粋を尽した設備をそなえてその機能を遺憾なく発揮されることになりました。誠に御同慶に存じます。

弊社は、この建物の特殊性に鑑み重要な役割を演ずる冷暖房、換気及び衛生設備施工の御用命を賜わりましたが、特にスタヂオ、主調整室、副調整室、録音室等に要求される防音、緩衝等の技術面に一段と留意し幸い好成績を納めることの出来ましたのは大きい喜びであります。

冷暖房及び換気設備は運転調整の便宜上、次の18の系統に分れています。（但し現在は第1及び第2スタヂオの二つが稼動しますが、近き将来第3スタヂオが稼動するようになると更に2系統増加し主要機器にも一部改変がある予定です）

1	第1スタヂオ 冷暖房系統
2	同 上 排気系統
3	第2スタヂオ 冷暖房系統
4	同 上 排気系統
5	主調室 冷暖房系統
6	同 上 排気系統
7	副調室 冷暖房系統
8	一般3階以下 冷暖房系統
9	4 階 冷暖房系統
10	リハーサル 冷暖房系統
11	大道具 暖房系統
12	地階厨房 排気系統
13	地階機械室 排気系統
14	地階東側化粧室 排気系統
15	地階西側化粧室 排気系統
16	地階浴室 排気系統
17	発電機室 排気系統
18	暗 室 排気系統

建築概要

位置	大阪市北区堂島中1丁目13番地
起工	昭和30年6月1日
竣工	昭和31年7月31日
敷地面積	4,368平方米
建築面積	8,199平方米
階数	地下1階 地上4階
軒高	17米
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
設計施工	清水建設株式会社
冷暖房衛生施工設備	須賀工業株式会社

機械室の一部



尚この建物の冷暖房衛生設備に取付けました主要機器その他を挙げますと大略次の通りです

1 主要機器類

冷凍機	100冷凍噸×125IP	1基	エバラターボ型
温水汽罐	相当放熱面積 常用2,100m²	1〃	つねきちボイラ NPM—50型(レイ・オイル・バーナ付)
セクショナルボイラ	S—308	1〃	(同上)

2 水槽及油槽類

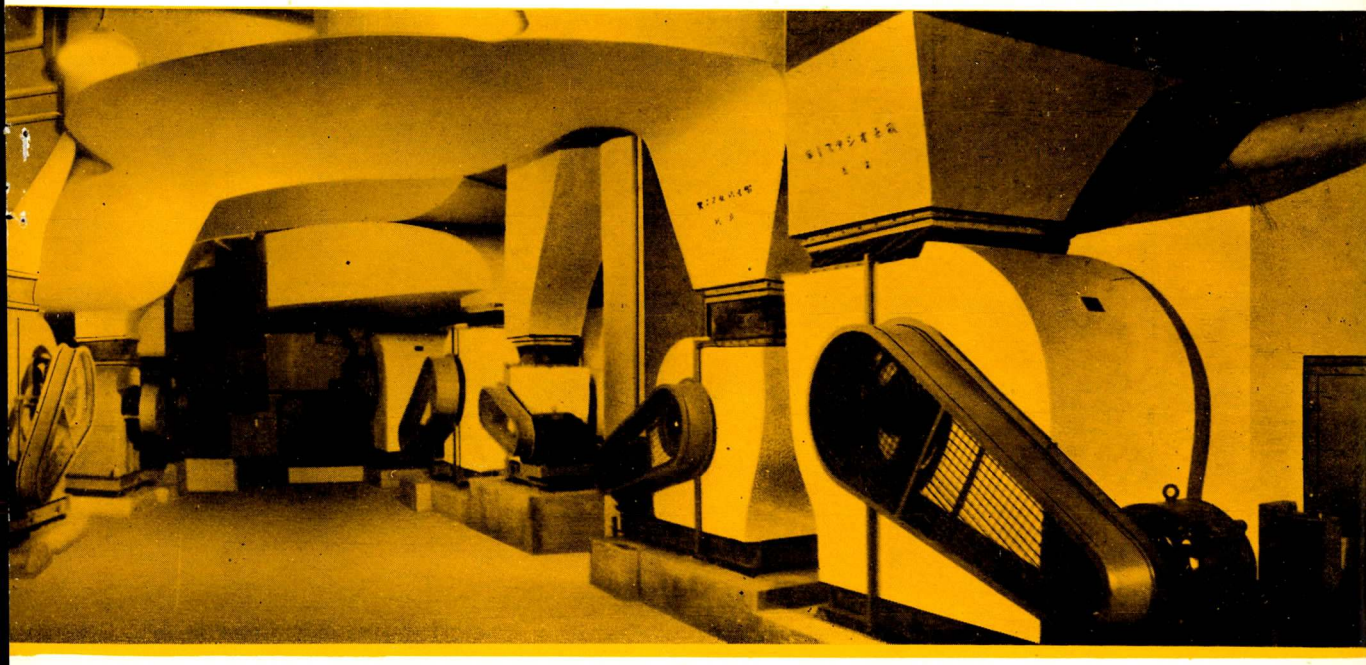
井水貯水槽	有効 120m³	1台	
冷水貯水槽	有効 120m³	1〃	
市水受水槽	30m³	1〃	
市水屋上水槽	3.6m×1.8m×1.8m	1〃	
重油槽	1.3m×1.2m×1.2m	1〃	
重油サービスタンク	径0.8m×長1.3m	1〃	
給湯用貯湯槽	径0.9m×長2.5m	1〃	

3 空気洗浄器類

	巾 m 長 m 高 m 風量 m³/min
第1スタジオ系統	2,000×3,390×1,770×360
第2スタヂオ系統	1,195×3,390×1,770×196
主調系統	1,890×2,930×1,770×280
副調系統	860×2,930×1,770×100
一般四階系統	1,935×2,725×2,000×100
一般三階以下系統	2,390×3,175×2,220×485
リハーサル系統	865×2,725×2,000×115

4 送排風機類

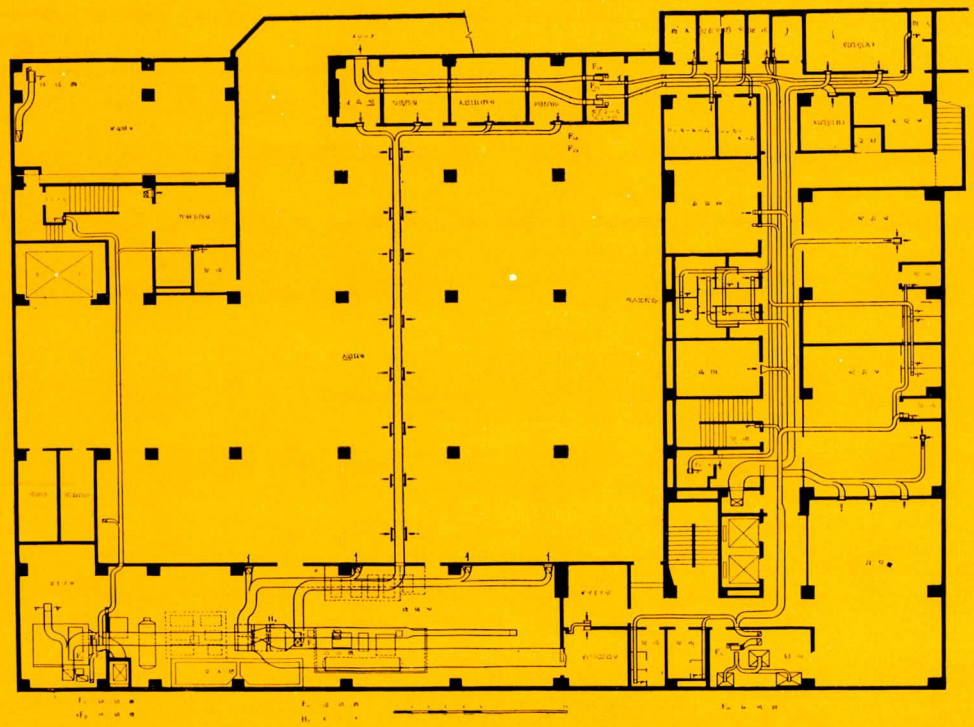
	系統名	用途	番号	馬力	台数
1	第1スタヂオ系	送気用	#5	15	1
2	〃	還気用	5½	5	1
3	〃	排気用	3	1	1
4	第2スタヂオ系	送気用	3½	7½	1
5	〃	還気用	4	3	1
6	〃	排気用	2	½	1
7	主調室系	送気用	4½	10	1
8	〃	還気用	4½	5	1
9	〃	排気用	2½	1	1
10	副調室系	送気用	2½	5	1
11	〃	還気用	3	2	1
12	一般3階以下系	送気用	5½	20	1
13	〃	還気用	6	5	1
14	4階系	送気用	5	15	1
15	リハーサル系	〃	3	3	1
16	大道具系	〃	4½	7½	1
17	地階厨房系	排気用	1½	½	1
18	機械室系	〃	4	2	1
19	地階一般系	〃	1½	1	1
20	東側化粧室系	〃	1¾	½	1
21	西側化粧室系	〃	1½	½	1
22	浴室系	〃	1½	½	1
23	発電気室系	〃	3½	2	1
24	暗室系	〃	2½	1	1



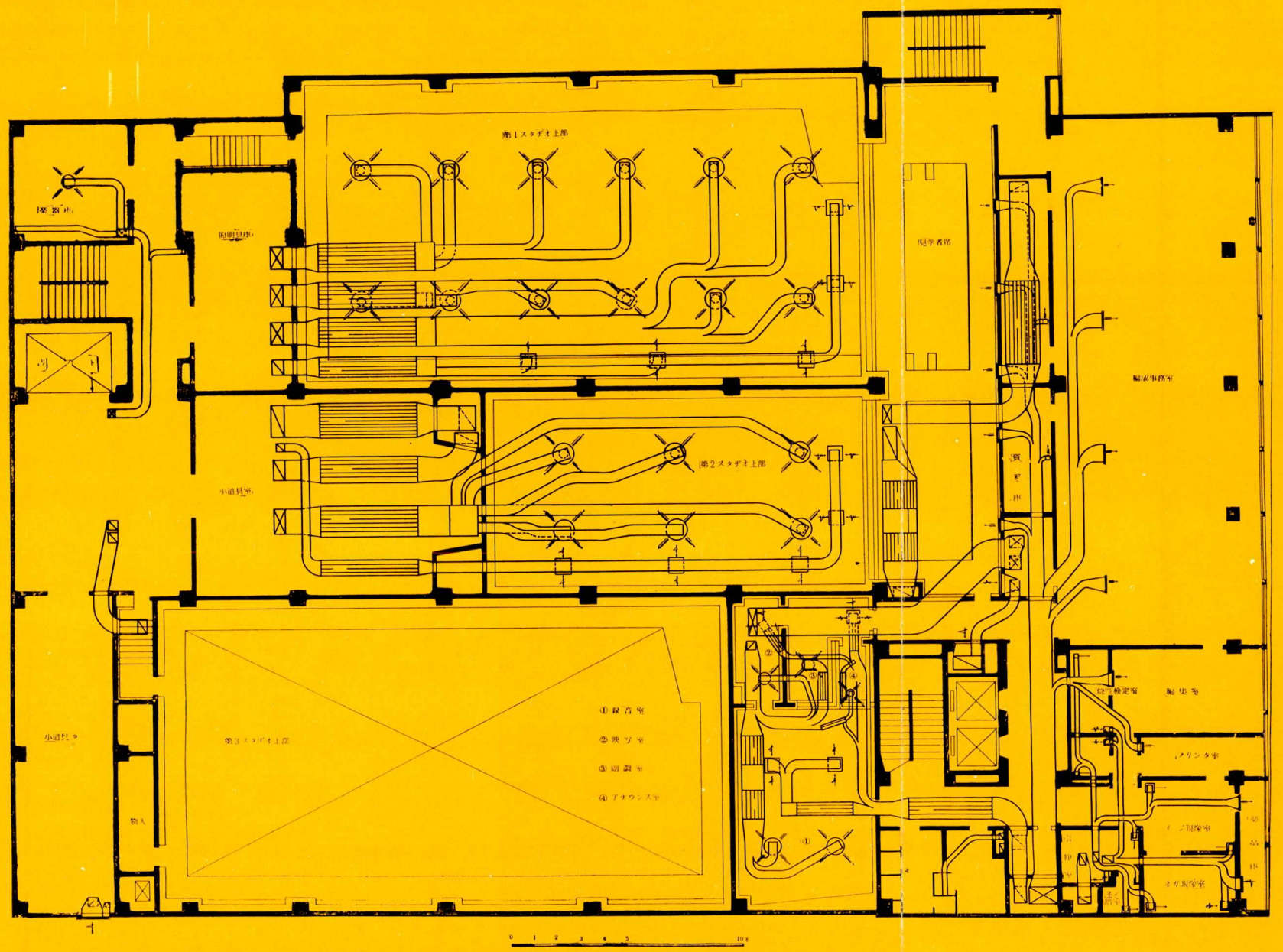


屋　　階

平　面　図



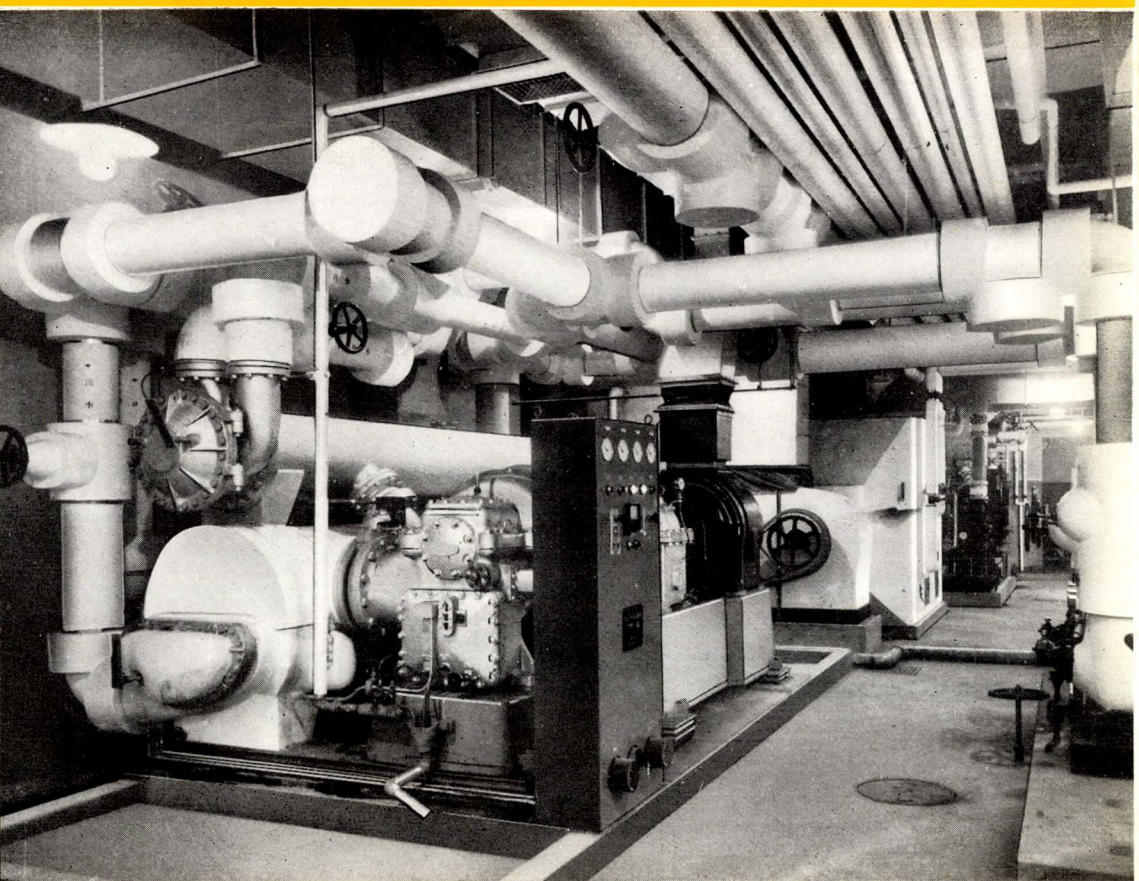
地　　階



三　階　平　面　図

大阪テレビの外観





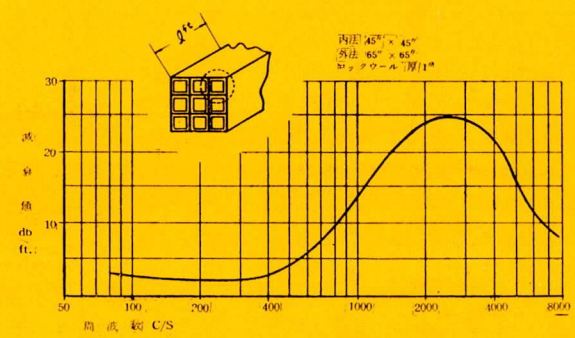
地階冷凍機並ボイラ室

5 ポ ン プ 類

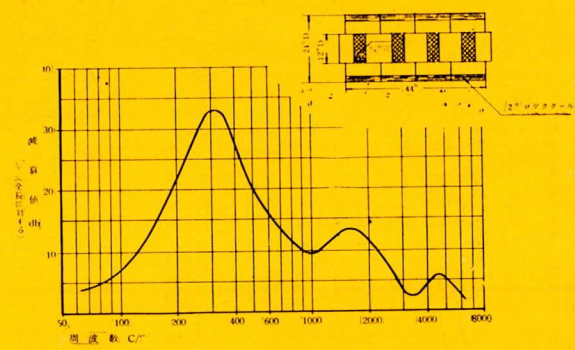
	口径×馬力	台数
冷水循環ポンプ	6″ × 25	1
冷却水循環ポンプ	5″ × 15	1
温水循環ポンプ	5″ × 15	1
温水循環ポンプ	1½″ × ½	1
スプレポンプ	2½″ × 5	3
スプレポンプ	2″ × 3	1
市水揚水ポンプ	2½″ × 10	2
消火ポンプ	3″ × 15	1
圧力槽付ポンプ	1½″ × 3	1
給湯循環ポンプ	2½″ × ½	1
竪型汚水排水ポンプ	2½″ × 3	4
横型排水ポンプ	1½″ × 2	1
オイルギヤポンプ	1″ × 1	1
潜水ポンプ	5″ × 40	1

テレビスタヂオの騒音レベルは30デシベル以下でなければなりません、冷暖房装置により室内の温度湿度が快適に調整されても、吹出口や吸込口から騒音が侵入しては其の機能の発揮が出来ません、施工に当つては神戸大学前川助教授の指導の下に実験研究の結果に基きセル型消音器及びマフラ型消音器を適宜配置しました。

セル型ダクトの音響減衰特性

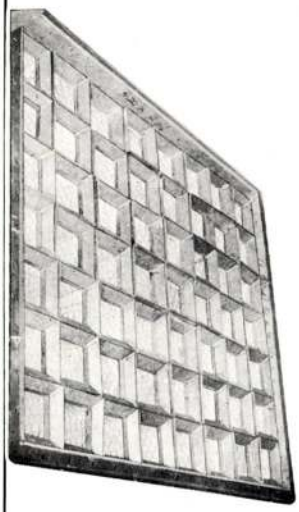


マフラ型ダクト音響減衰特性

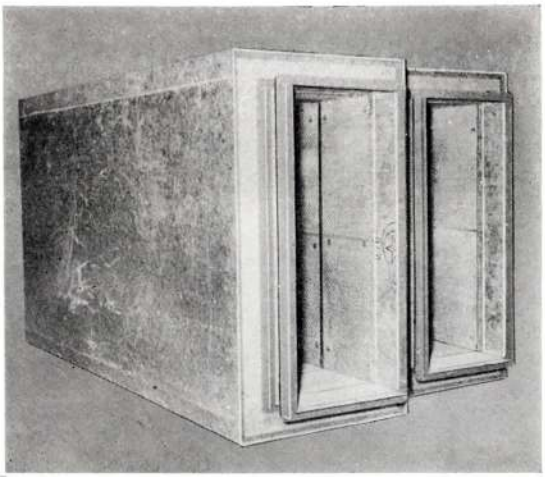


スタヂオ吹出口全景

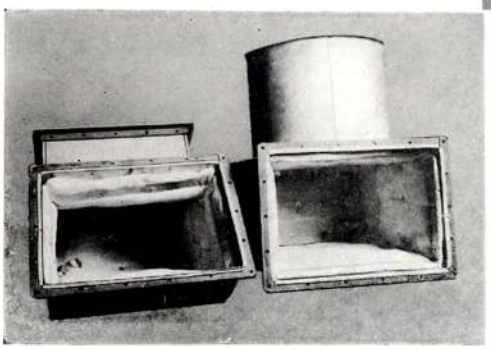




セル型消音器

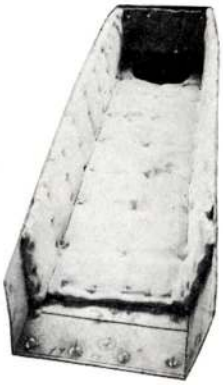


マフラ型消音器



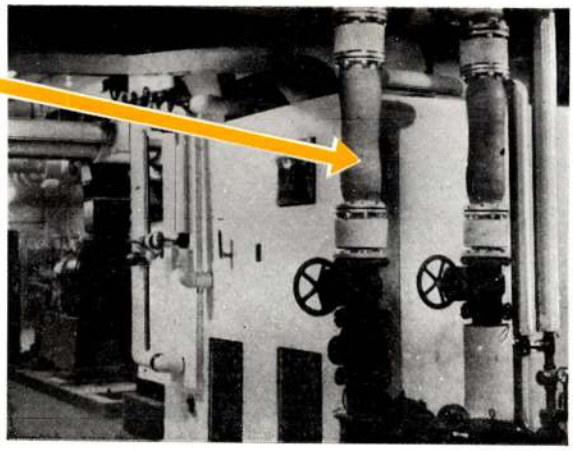
吸音材内貼ダクト

↑ 曲線部　直線部 →



機械運転に伴い発生する振動を建築物に伝播させないため、防振ゴムを用いましたが、機械の重量と強制振動数に応じ、防振ゴムの硬度、形状、数及び配置を精密に計算の上取付けました。又、ポンプ類の機械的振動や流水の衝撃等が配管系統へ伝播する事を防ぐ為にはパイプレスタを用いました。

パイプレスタ



現在施工中の主要工事

東京都	松坂屋上野店南館	冷房換気設備
東京都	小松ストア	冷暖房換気設備
東京都	東宝株式会社本社ビルデイング	衛生設備
東京都	東京貿易会館	衛生設備
松本市	日本銀行松本支店	暖房換気給排水衛生設備
名古屋市	住友銀行名古屋ビルデイング	空気調整設備
名古屋市	新名古屋ビルデイング	衛生設備
名古屋市	名鉄ビルデイング	衛生設備
名古屋市	名古屋観光ホテル	衛生設備
名古屋市	国立名古屋病院	暖房給排水衛生設備
京都市	大阪瓦斯株式会社京都支社	衛生設備
大阪市	住友ビルデイング別館	給排水衛生設備
神戸市	神戸市庁舎	衛生設備
神戸市	明海ビルデイング	冷暖房換気衛生設備
福岡市	福岡宝塚会館	冷暖房換気設備
福岡市	博多日活劇場	冷暖房換気衛生設備

暖房・冷房・水道・衛生工業設備・設計・施工

須賀工業株式会社

大阪市福島区堂島浜通4丁目　電話大阪㊺代表1171・1351番

東京支店	東京都港区芝田村町6丁目	電話東京㊸代表7151
名古屋支店	名古屋市中区材木町1丁目	電話名古屋㉓2780・2784・5453
京都支店	京都市下京区烏丸通松原下ル	電話京都⑤1989・2255
神戸支店	神戸市生田区北長狭通2丁目	電話神戸③代表5101
福岡支店	福岡市千代栄町	電話福岡②代表4735

紫綬褒章に輝く

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

新日本メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍太郎

本　社　東京都品川区二葉町1—441　電話佳原㉘1715

大阪営業所　大阪市城東区中本町529　電話 東 ㊹4765

Zola-Coat

米国特許 No.2591904
日本特許（申請） No.3734—52
英国特許 No.760605



新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・金属・紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に深さと魅力を与える高分子多彩塗料

ゾラコート

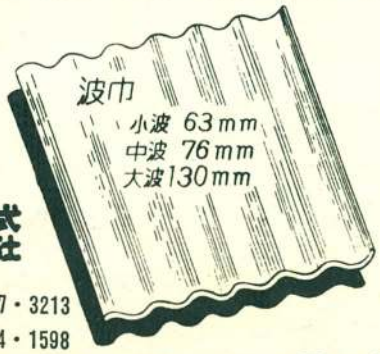
関西ペイント

カタログ御希望の方は大阪市東区伏見町5丁目　当社宣伝課へ

光り 波型ガラス

ファイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板
6尺×2尺4寸（波型）



製造元 大日本硝子工業株式会社

大阪営業所　大阪市北区玉江町2～4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹1597・3213

本　社　東京都中央区銀座7～3（朝 日 ビ ル）電話銀　座㊲2324・1598

日本建築協会優良證明

セメント 増強防水剤



ウォータイトB号

御一報次第型録並仕様書進呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28−1　電話 宝塚 2153

工　場　尼崎市難波本町 1 − 34　電話 大阪(48)1526

名古屋出張所　名古屋市中区春日町16（安藤ビル内）　電話 南 (32)1331

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十一年十二月二十日印刷
昭和三十一年十二月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

エハラ・ターボ冷凍機
ねのくちポンプ



株式會社
荏原製作所

画期的アスファルト防水

勾配別で―
アスタイト（特殊アスファルト 100号・85号・80号・75号・25号）使用
年限仕様書進呈
西アス協組責任施工

西日本アスファルト防水事業協同組合
事務所・大阪市東区淡路町2～53 TEL㉓8887
分室・大阪市西区京町堀上通1～14 TEL㊹1773～5

売価一部金百三十円（送料共）